

Canon

PUB. DIJ-0407-001A

HD Video Camera

XA20

XA25

使用説明書



はじめに

準備

撮影

カメラメイス

再生／編集

接続

静止画

保存／共有

Wi-Fi

メニュー

その他

MP4

HDMI

AVCHD
Progressive

Wi-Fi
CERTIFIED

本機の特長

高画質HD記録システム

291万画素、1/2.84型HD CMOS PROと高画質映像エンジン「DIGIC DV 4」を搭載
有効画素数約291万画素（2136×1362）の1/2.84型単板式CMOSイメージセンサーと映像エンジン「DIGIC DV 4」を搭載。防振機能や低照度での画質に優れ、さまざまな撮影ニーズに応えます。

高画質ワイドズームレンズ

新開発のコンパクト光学20倍ズームレンズを搭載。35mm換算でワイド26.8mm *からと多様な撮影シーンに応えます。

* 手ブレ補正の「ダイナミック」使用時は、28.8mmになります。

優れた操作性と汎用性

機動力を発揮する小型ボディ
業務用ハンドヘルドカメラとして、高性能を小型、軽量ボディに凝縮。機動力が求められる現場で活躍します。

選べる撮影スタイル、優れた収納性
撮影シーンに合わせてスタイルが選べる、着脱式ハンドルを別売で用意。
装着することで、INPUT端子（マイクのバランス入力）やマイクホルダーなど、オーディオ仕様も拡張できます。

作品づくりに集中できる優れたマニュアル操作性

フォーカスとズームを切り換えできるフォーカス/ズームリングを搭載。よく使う機能を割り当てることができるカスタムボタンとカスタムキー、5個のアサインボタンを搭載することで、操作性を向上させました。

夜間での撮影に威力を発揮する赤外線撮影機能

スイッチの切り換えで素早い赤外線撮影が可能。さらに、別売のハンドルを取り付けることで、夜間の動物の生態撮影などに効果的な赤外線ライトを使って撮影できます。

多彩な動画形式で、長時間撮影と 安心バックアップ機能

AVCHDとMP4の動画形式に対応。2つのカードスロットを搭載し、片方のSDカードの残量がなくなったら自動的に他方のSDカードへ記録したり（リレー記録）、同じ映像を同時に記録したり（同時記録）することができます*。

* 同時記録は、同じ形式または異なる形式でカードに記録することができます。

有機ELパネルとビューファインダー

静電容量方式タッチパネルの有機ELパネルを採用。クリアな画面表示と軽快な操作感覚を実現しています。また、ビューファインダーは、上方約45°までの角度調整ができますので、ローアングル時の操作性を向上させています。

2.4GHz/5GHz対応無線ネットワーク (Wi-Fi対応)

スマートフォンやタブレットなど、ネットワークに接続した機器からリモート操作が可能（Wi-Fi Remote）。端末上のWebブラウザからカメラを遠隔操作できます。5GHzに対応していますので、より安定したWi-Fi接続が可能です。

また、再生時には、撮影した映像をiOS機器からYouTubeやFacebookにアップロード*や、スマートフォンやタブレットなどのWebブラウザで一覧表示（リモートブラウズ）することも可能。アクセスポイントを介して、パソコンなどで映像を再生（メディアサーバー）や映像ファイルをFTPサーバーに転送することもできます。

* iOSアプリMovie Uploaderのインストールが必要です。

使いやすさを向上させる さまざまな機能

- 正確な残量を確認できるインテリジェントリチウムイオンバッテリー。
- GPSレシーバー GP-E2（別売）を接続すると、映像にGPS情報を付加することができます。
- 撮影状況によって、4種類の手ブレ補正を自動で切り換えるマルチシーンIS。
- 横顔に近い状態でも、検出した顔を追尾してフォーカスする顔追尾機能。さらに、顔が検出されている間のみ顔にフォーカスするフェイスオンリー AF機能*を搭載。

* 顔が検出されていないときはマニュアルフォーカスになります。

Contents

本機の特長	2
本書の読みかた	8

はじめに

商品を確認する	10
各部の名称	12
本体の名称	12
ハンドルユニットHDU-1(別売)の名称	17
リモコンWL-D89の名称	18

準備

バッテリーを充電する	20
フェライトコアを取り付ける	20
バッテリーを充電する	20
カメラを準備する	24
別売のハンドルユニットを取り付ける	24
レンズフードとレンズキャップについて	25
ビューファインダーの視度を調整する	26
有機ELパネルを使う	27
グリップベルトを調節する	27
リストストラップ(別売)を取り付ける	28
ショルダーストラップ(別売)を取り付ける	28
リモコンを使う	29
本体を三脚に取り付ける	30
カメラを操作する	31
電源を入れる/切る	31
カメラモードを切り換える	32
タッチパネルで操作する	33
FUNC.(ファンクション) ボタン/ジョイスティックで操作する	34

日付/時刻を合わせる	35
カードを準備する	36
使用可能なSDカード(2013年4月現在)	36
カードを入れる	37
メニューの設定を変える	38
カードを初期化する	40
動画形式を選ぶ	41
記録先を選ぶ	42

撮 影

動画や静止画を撮影する	44
準備する	44
撮影する	45
いま撮ったシーンを確認する(レックレビュー)	51
画質を選ぶ	52
記録方法を選ぶ	55
映像のなめらかさを選ぶ	56
スロー&ファーストモーション記録を行う	57
撮影フレームレートを設定する	57
映画のように撮る	58
ピントを合わせる	60
MF(マニュアルフォーカス)で調整する	60
フォーカス位置をプリセットする	61
ピントの合った被写体の輪郭に色をつける(ピーキング)	62
AF(オートフォーカス)で調整する	64
AF(オートフォーカス)のスピードを選ぶ	64
顔を検出してAFやAEを合わせる(フェイスキャッチ&追尾)	66
フェイスオンリー AF	67
拡大して撮る	68
フォーカス/ズームリングで操作する	68

グリップズーム／ハンドルズーム／リモコンのズームで操作する.....	69	内蔵マイクの周波数特性を変える.....	106
ズームの操作を滑らかにする (ソフトズームコントロール).....	74	内蔵マイクの指向性を切り換える.....	107
画面のズームボタンで操作する.....	75	外部マイク (Φ3.5mm)のアッテネーターを使う.....	108
画面中央を拡大して撮る (デジタルテレコン)..	76	MICローカットを使う.....	109
手ブレをおさえて撮る.....	77	MIC端子入力選択.....	110
ゲインリミットを調整する.....	79	外部マイク (INPUT端子) / 外部ライン入力 (INPUT端子)の音声を選択する.....	111
動きの速いものを撮る / 背景をぼかして撮る..	80	INPUT端子の録音レベルを調整する.....	112
マニュアルで明るさを調整する.....	82	外部マイク (INPUT端子)の入力感度を調整する..	113
明るさを調整する.....	83	外部マイク (INPUT端子)のアッテネーターを使う..	114
明るい部分にタッチして明るさを補正する (ハイライトAE).....	84	ヘッドホンを使う.....	115
強制逆光補正.....	85	ヘッドホンで音声を聞きながら撮影 / 再生する..	115
明るさの目安を表示する (ゼブラパターン)..	86	再生中にヘッドホン音量を調整する....	116
色合いを調整する.....	87	カラーバー / テストトーンを記録する.....	117
場面や目的に合わせて撮る.....	89	カラーバーを記録する.....	117
好みの画質にする.....	91	テストトーンを記録する.....	118
タイムコードを設定する.....	92	ビデオスナップを撮る.....	119
カウントアップ方式を選ぶ.....	92	撮影チャンス逃さない.....	120
ドロップ / ノンドロップフレームを切り換える..	93	画面の表示を切り換える.....	121
ユーザービットを設定する.....	94	表示される内容や切り換わりかた.....	121
任意の16進数を設定する.....	94	赤外線撮影 (INFRARED)を行う.....	122
時刻または日付を設定する.....	94	赤外線撮影を設定する.....	122
ユーザービットを出力する.....	95	別売アクセサリを使う.....	123
音声を記録する.....	96	ワイヤレスマイクロホンWM-V1 (別売)を使う..	123
外部マイク / 外部ライン入力を本機に接続する..	98	GPSレシーバー GP-E2を使う.....	124
内蔵マイク / 外部マイク (Φ3.5mm)の音声を選択する..	99		
場面に合わせて音の設定を選択する (オーディオシーン).....	100		
内蔵マイク / 外部マイク (Φ3.5mm)の録音レベルを調整する.....	102		
内蔵マイクウィンドカットを使う.....	104		
内蔵マイクのアッテネーターを使う....	105		

カスタマイズ

よく使う機能を設定する.....	126
機能を割り当てる.....	126
CUSTOM (カスタム) ボタン / CUSTOM (カスタム) ダイヤルの操作.....	128
アサインボタンの機能を変更する.....	129

機能を変更する.....	130
メニューデータの保存と読み出し.....	131
メニューデータをカードに保存する.....	131
メニューデータをカードから読み込む.....	132

再生／編集

シーンを再生する.....	134
再生する.....	134
映像を写真として切りとる（あとからフォト）..	138
シーンを消す.....	139
ある日のシーン、選んだシーン、すべての シーンをまとめて消す.....	139
再生一時停止中のシーンを消す.....	140
シーンを分割する.....	141
シーンを切りとる.....	142

接 続

外部モニターを接続する.....	144
接続のしかた.....	144
出力端子・出力信号形式を選択する.....	145
HD/SD-SDI端子を使用する.....	145
HDMI OUT端子を使用する.....	145
コンポジット出力端子を使用する.....	147
出力信号形式を選ぶ.....	148
音声出力を選択する.....	149
映像と音声のタイミングを選ぶ（モニター ディレイ）.....	149
音声出力チャンネルを選ぶ.....	150

静止画

写真を見る.....	152
再生中に他の静止画にジャンプする（静止 画ジャンプ）.....	153
インデックス画面を出す.....	154
写真を消す.....	155
再生中の静止画を消す.....	155
ある日の静止画、選んだ静止画、すべての 静止画をまとめて消す.....	155

撮影データの保存／共有

パソコンに保存する.....	158
ビデオ／写真をカードにコピーする.....	160
動画をコピーする.....	160
静止画をコピーする.....	161
MP4形式の動画に変換する.....	164
BDレコーダーなどにダビングする.....	167
ハイビジョン画質のままダビングする..	167
標準画質に変換してダビングする.....	168

Wi-Fi（無線接続）

Wi-Fiでできること.....	172
Wi-Fi機能を使う前に.....	174
スマートフォンをリモコンとして使って操作する..	176
カメラパスワードを設定する.....	176
Wi-Fi Remoteを使用する.....	177
Wi-Fi Remote中の画面表示.....	178
Wi-Fi Remote画面での操作.....	180

Android / iOSのスマートフォンなどのWebブラウザで見る	183
iOS機器からアップロードする	185
パソコンなどで見る	187
パソコンなどに転送する	189
アクセスポイントにWi-Fi接続する	192
必要なものを確認する	192
接続方法を選ぶ	192
WPSで接続する	193
アクセスポイント検索で接続する	194
手動設定で接続する	195
Wi-Fi設定を表示／変更する	197
用語の説明	199

メニュー

FUNC.メニューの紹介	202
撮影時に使う「FUNC.メニュー」	202
再生時に使う「FUNC.メニュー」	203
メニューの紹介	205

その他

画面の見かた	218
撮影時の画面表示	218
再生のときの画面	222
トラブルシューティング	224
まずココを確認しよう！	224
電源	224
撮影中	225
再生中	226

表示やランプ	226
画面や音	227
アクセサリ	228
他機	228
Wi-Fi 接続	229
メッセージが出たら？	230
Wi-Fi 機能使用時	234
安全上のご注意	237
取り扱い上のご注意	240
ビデオカメラ本体	240
バッテリー	242
カード	243
充電式内蔵電池	243
その他のご注意	244
コイン型リチウム電池 (CR2025)	244
日常のお手入れ	245
海外で使う	246
充電する	246
テレビで見る	246
旅行先の日時に合わせる	247
アクセサリ紹介	248
主な仕様	251
XA20 / XA25	251
付属品	254
バッテリーの充電時間／使用時間の目安	255
Full HD 1080について	259
索引	261
保証書とアフターサービス	274
保証書	274
アフターサービス	274
修理について	275
修理に出すまえに	275
修理のお問い合わせは	275

本書の読みかた

画質を選ぶ

録画モード

AVCHDとMP4それぞれで録画モードを設定できます。AVCHDで「28 Mbps / LPCM (59.94P)」または「24 Mbps / LPCM」で撮影すると、音声はリニアPCM(16ビット、48kHz)のチャンネル記録が可能です。

動画形式 AVCHD MP4 カメラモード AUTO M CINEMA

録画モード一覧

動画形式	録画モード	解像度	音声記録形式	
AVCHD	28 Mbps / LPCM (59.94P)	1920 × 1080	リニアPCM	
	28 Mbps (59.94P)		Dolby Digital	
	24 Mbps / LPCM		リニアPCM	
	24 Mbps		Dolby Digital	
	17 Mbps			
5 Mbps	1440 × 1080			
MP4	35 Mbps (59.94P)	1920 × 1080	AAC	
	24 Mbps			
	17 Mbps			
	4 Mbps			1280 × 720
	3 Mbps			640 × 360

1 タッチする

2 録画モードを選ぶ

- ① [MENU] (メニュー) → [] をタッチする。
- ② 上下にドラッグして、「録画モード」をタッチする。
- ③ いずれかをタッチする。

3 タッチする

52

画質を選ぶ

POINT

撮影時間の目安

AVCHD形式	容量	8GB	16GB	32GB	64GB	128GB
録画モード						
28 Mbps / LPCM (59.94P)	35分	18時間15分	2時間30分	5時間05分	10時間10分	
28 Mbps (59.94P)						
24 Mbps / LPCM	40分	18時間25分	2時間55分	5時間55分	11時間10分	
24 Mbps						
17 Mbps	1時間	29時間05分	4時間10分	8時間20分	16時間45分	
5 Mbps	3時間	69時間05分	12時間15分	24時間30分	49時間	
MP4形式						
録画モード						
35 Mbps (59.94P)	30分	18時間	219分	49時間	8時間	
24 Mbps	40分	18時間25分	2時間55分	5時間55分	11時間10分	
17 Mbps	1時間	29時間05分	4時間10分	8時間20分	16時間45分	
4 Mbps	49時間20分	89時間40分	177時間20分	348時間45分	698時間30分	
3 Mbps	58時間40分	110時間25分	221時間55分	443時間55分	887時間55分	

128GBの撮影操作で記録できる時間は、約12時間です。それを越えると自動的に停止します。

撮影

53

POWER(電源)スイッチの位置を示すマーク

- CAMERA MEDIA CAMERAにする
- CAMERA MEDIA MEDIAにする
- CAMERA MEDIA CAMERAかMEDIAにする

モードスイッチやボタンの状態を示すマーク

動画形式 AVCHD MP4

AVCHD形式とMP4形式のどちらの動画に対応するか示すマーク。

カメラモード AUTO M CINEMA

撮影時に選択するモード。**AUTO** (オート)、**M** (マニュアル)、**CINEMA** (シネマ)がある。

コラムのマーク

必ず守っていただきたいこと
 **ご注意**

MEMO 知っておいていただきたいこと

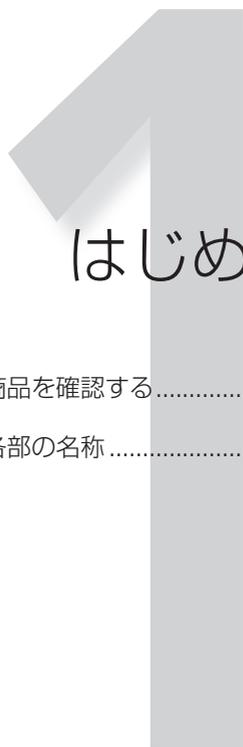
POINT 知っているると便利なこと

次のページに続くことを示すマーク

本文中の表記

-  参照ページを示す
-  参考になるページなどを示す
- 画面 ファインダーの画面、または有機ELパネルの画面のこと
- カード SD/SDHC/SDXCメモリーカードのこと
- カメラモード 動画撮影モードのこと
- メディアモード 再生モードのこと
- Data Import Utility 付属のソフトウェア「Data Import Utility」のこと

- 表紙写真、本書で使用している画面やイラストはA25です。イラストは別売のハンドルユニットを取り付けた状態です。また、作例写真はスチルカメラで撮影したものです。
- 本書では、見やすくするために加工した画面を一部使用しています。



はじめに

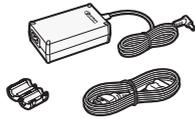
商品を確認する.....	10
各部の名称.....	12

商品を確認する

XA20 / XA25には、次のものが付属しています。ご使用になる前に足りないものはないか確認してください。



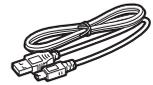
ビデオカメラ本体



コンパクトパワーアダプター
(ACアダプター) CA-570



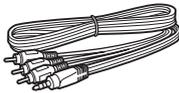
バッテリーパック
BP-820



USBケーブル
IFC-300PCU/S



ハイスピードHDMIケーブル
HTC-100/S



ステレオビデオケーブル
STV-250N



バリア付きレンズフード



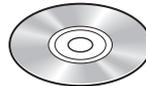
レンズキャップ



リモコン (ワイヤレスコン
トローラー) WL-D89



コイン型リチウム電池
CR2025 (リモコン用)



Data Import Utility
(動画の取り込み用) *1



XA20 / XA25
使用説明書 (本書)

*1 ソフトウェアの説明書 (PDF)が入っています。

使う前に知っておいてください

必ずためし撮りをしてください

映像を撮るときは、必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。万一、ビデオカメラが正常に動作しないときは、「トラブルシューティング」(P.224)をご確認ください。

記録内容の補償はできません

ビデオカメラやSDカードなどの不具合により、記録や再生ができなかった場合であっても、記録内容の補償はご容赦ください。

著作権にご注意ください

録画・録音したビデオは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

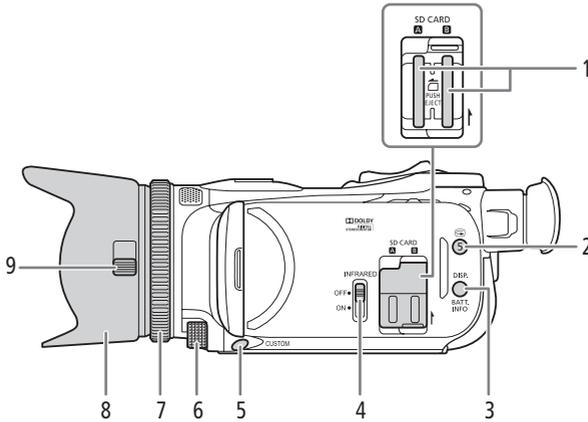
有機ELパネルやビューファインダーの画面について

有機ELパネルやビューファインダーの画面は非常に精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、黒い点があらわれることがあります。また、ビューファインダーの画面には白の点が常時点灯することがあります。これは、故障ではありません。なお、これらの点は記録されません。

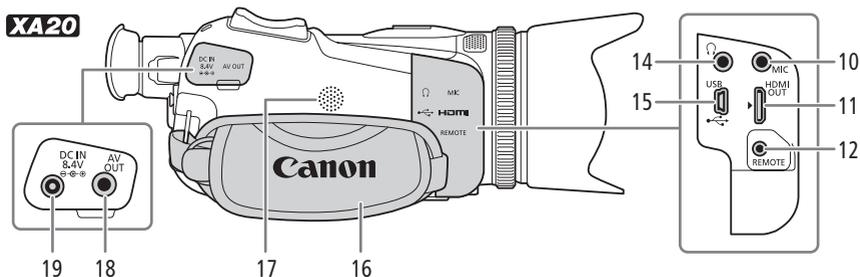
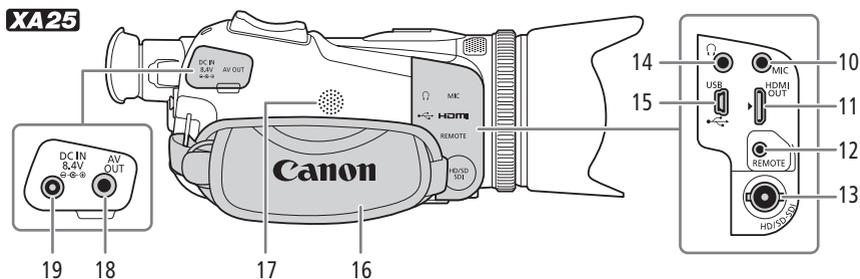
各部の名称

各部の機能と使いかたについては、▶▶に記載されているページをご覧ください。

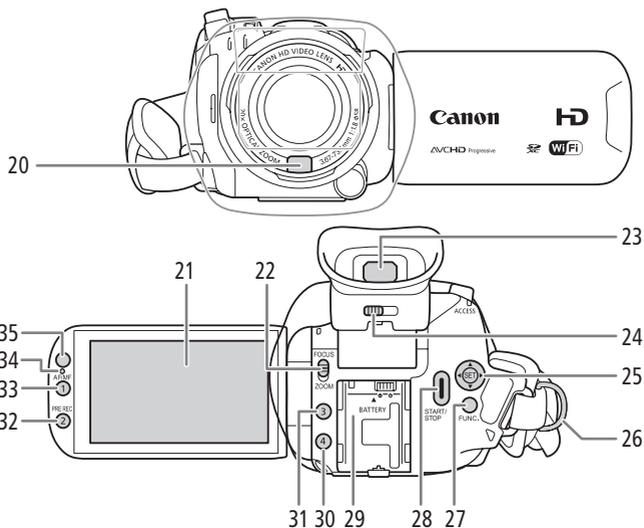
■ 本体の名称



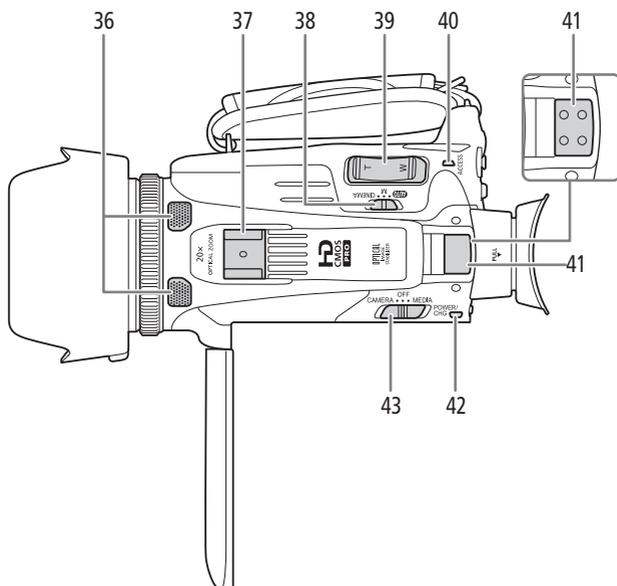
- 1 カードスロット ▶▶ **A / B** ▶▶ 37
- 2  (レックレビュー) / アサイン5ボタン ▶▶ 51
- 3 DISP.(ディスプレイ) ▶▶ 121 / BATT. INFO.(バッテリー情報)ボタン ▶▶ 23
- 4 INFRARED(赤外撮影)切り換えスイッチ ▶▶ 122
- 5 CUSTOM(カスタム)ボタン ▶▶ 126
- 6 CUSTOM(カスタム)ダイヤル ▶▶ 126
- 7 フォーカス/ズームリング ▶▶ 60、68
- 8 レンズフード ▶▶ 25
- 9 レンズバリア開閉スイッチ ▶▶ 44



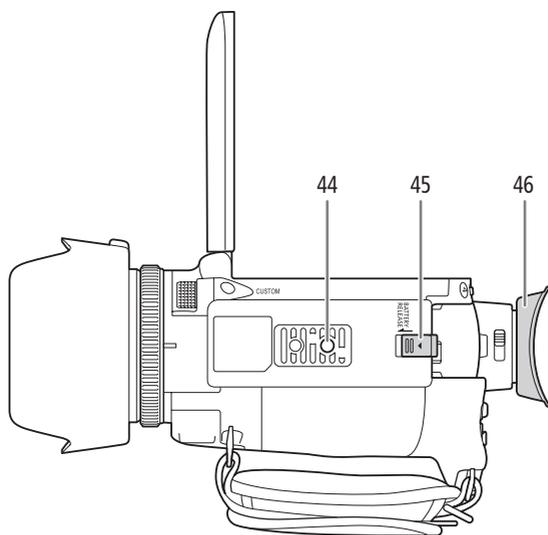
- 10 MIC(マイク)端子 ▶▶ 196、123
- 11 HDMI OUT端子 ▶▶ 144
- 12 REMOTE(リモート)端子
● 市販のリモコンなどを接続する
- 13 **XA25** HD/SD-SDI端子 ▶▶ 144
- 14 Ω(ヘッドホン)端子 ▶▶ 115
- 15 USB端子 ▶▶ 124、158
- 16 グリップベルト ▶▶ 27
- 17 内蔵スピーカー ▶▶ 137
- 18 AV OUT ▶▶ 144
- 19 DC IN端子 ▶▶ 20



- 20 ハイスピードAF用外部センサー ▶▶ 64
- 21 有機ELパネル (タッチパネル) ▶▶ 27、33
- 22 フォーカス/ズームリング切り換えスイッチ ▶▶ 60、68
- 23 ビューファインダー ▶▶ 26
- 24 視度調整レバー ▶▶ 26
- 25 ジョイスティック ▶▶ 34
- 26 ストラップ取り付け部 ▶▶ 28
- 27 FUNC.(ファンクション)ボタン ▶▶ 34
- 28 START/STOP(スタート/ストップ)ボタン ▶▶ 45
- 29 バッテリー装着部 ▶▶ 20
- 30 アサイン4ボタン ▶▶ 129
- 31 アサイン3ボタン ▶▶ 129
- 32 PRE REC(プレREC) /アサイン2ボタン ▶▶ 120、129
- 33 AF/MF切り換え/アサイン1ボタン ▶▶ 60、129
- 34 照度センサー ▶▶ 214
- 35 リモコン受光部 ▶▶ 29



- 36 内蔵マイク ▶▶ 106
- 37 コードシュー／ハンドルユニット*固定ネジ差し込み部 ▶▶ 24
ハンドルユニットHDU-1を取り付けるときに使用します。
- 38 カメラモード切り換えスイッチ ▶▶ 32、45
- 39 グリップズーム ▶▶ 69
- 40 ACCESS(アクセス)ランプ ▶▶ 37
- 41 ハンドルユニット取り付けネジ差し込み部* ▶▶ 24
ハンドルユニットHDU-1を取り付けるときに使用します。ご購入時は、カバーが付いています。ハンドルをご使用になるときは、カバーを外してからハンドルを取り付けてください。
- 42 電源ランプ／CHG(充電)ランプ ▶▶ 20
- 43 POWER(電源)スイッチ ▶▶ 35

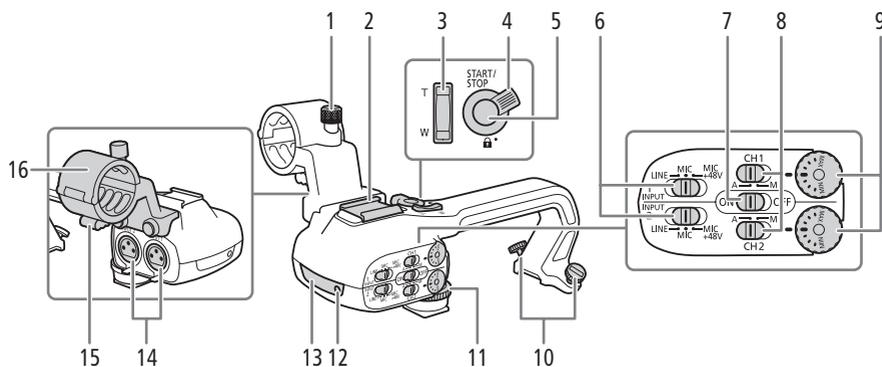


44 三脚ねじ穴 ▶▶ 30

45 BATTERY RELEASE(バッテリー取り外し)スイッチ ▶▶ 22

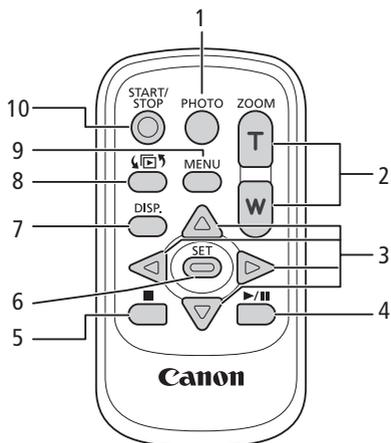
46 アイカップ ▶▶ 26

■ ハンドルユニットHDU-1(別売)の名称



- 1 外部マイク固定ネジ ▶▶ 98
- 2 コールドシュー
● バッテリービデオライト (別売)などを取り付けます。
- 3 ハンドルズーム ▶▶ 72
- 4 ロックレバー ▶▶ 50
- 5 START/STOP(スタート/ストップ)ボタン ▶▶ 46
- 6 INPUT端子感度切り換えスイッチ (INPUT 1/INPUT 2) ▶▶ 111
- 7 INPUT端子入力切り換えスイッチ ▶▶ 99、111
- 8 録音レベル切り換えスイッチ (CH1/CH2)
- 9 録音レベル調整つまみ (CH1/CH2) ▶▶ 112
- 10 ハンドルユニット取り付けネジ ▶▶ 24
- 11 ハンドルユニット固定ネジ ▶▶ 24
- 12 タリールンプ ▶▶ 46
- 13 赤外ライト ▶▶ 122
- 14 INPUT端子 (INPUT 1/INPUT 2) ▶▶ 96
- 15 ケーブルクランプ ▶▶ 98
- 16 外部マイクホルダー ▶▶ 98

■ リモコン WL-D89の名称



- 1 PHOTO(フォト)ボタン ▶▶ 46
- 2 ZOOM(ズーム)ボタン ▶▶ 68
- 3 ▲/▼/◀/▶ ボタン
- 4 ▶/⏸(再生/一時停止)ボタン ▶▶ 136
- 5 ■(停止)ボタン ▶▶ 136
- 6 SET(設定)ボタン
- 7 DISP.(ディスプレイ)ボタン ▶▶ 121
- 8 ◀▶(インデックス選択)ボタン ▶▶ 135
- 9 MENU(メニュー)ボタン ▶▶ 38
- 10 START/STOP(スタート/ストップ)ボタン ▶▶ 45

準備

バッテリーを充電する	20
カメラを準備する	24
カメラを操作する	31
日付／時刻を合わせる	35
カードを準備する	36
カードを初期化する	40
メニューの設定を変える	38
記録形式を選ぶ	41
記録先を選ぶ	42

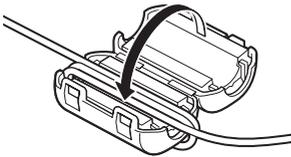
バッテリーを充電する

本機はバッテリーパックを取り付けるか、コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）をつないで使用できます。

はじめてお使いになるときは、バッテリーパックを充電してから使います。

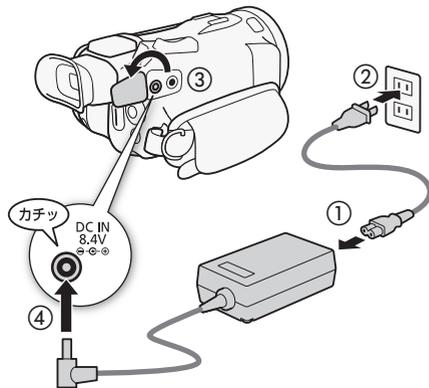
■ フェラライトコアを取り付ける

コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）を使用するまえに、フェラライトコアを取り付けてください。フェラライトコアを取り付けることで、発生するノイズを低減できます。



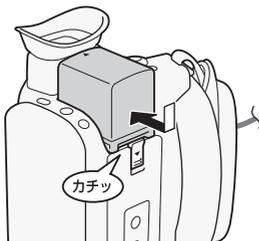
- 1 コンパクトパワーアダプターのプラグの端（ビデオカメラに接続しているプラグ）から約6cmの位置で、フェラライトコアを取り付ける。
- 2 ケーブルを中心に通して、フェラライトコアに1回巻きつけて、フェライトコアを閉じる。

■ バッテリーを充電する



- 1 コンセントにつなぐ

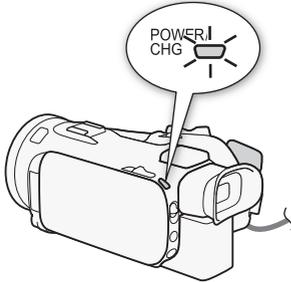
- 2 バッテリーを取り付ける



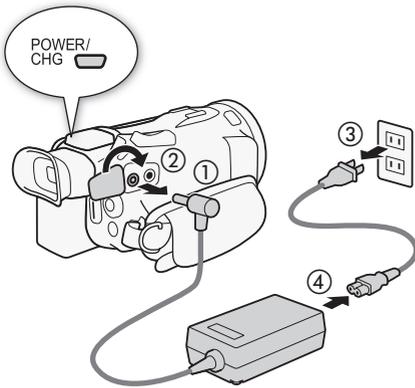
3 電源OFFで充電開始

赤く点灯

点滅しているときは、「トラブルシューティング」の「表示やランプ」(□ 226)をご覧ください。

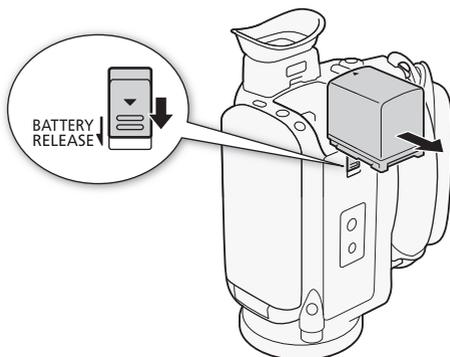


4 点灯→消灯で充電終わり



バッテリーを取り外すとき

バッテリー取り外しスイッチを矢印の方向に押し取り外す。



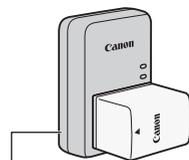
ご注意

電源プラグを抜き差しするときは、まず電源を切って、電源ランプが消えていることを確認してください。撮影したデータが破損する恐れがあります。



MEMO

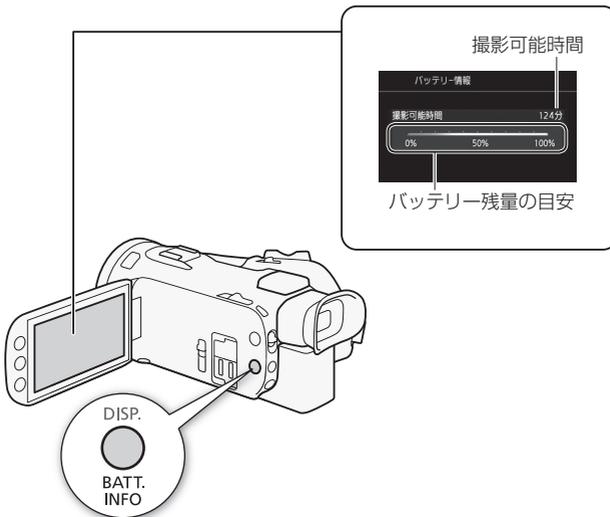
- 10℃～30℃の場所で充電することをおすすめします。バッテリーや周囲の温度が約0℃～40℃（使用温度）の範囲外の場合は、充電できません。
- 充電するときは電源を切ってください。電源が入っているときは充電できません。
- 充電中にコンセントまたはDC IN端子からプラグを抜いたときは、再び接続する前にCHG（充電）ランプの消灯を確認してください。
- バッテリー残量が気になるときは、電源プラグをコンセントにつないだままお使いください。
- バッテリーをフル充電したときの使用時間は255～258ページをご覧ください。
- フル充電したバッテリーも少しずつ放電します。使用直前に充電することをおすすめします。
- 撮影可能時間をより正しく表示するために、ご購入直後にバッテリーを初めて使うときは、一度充電完了まで充電してから使い切ってください。
- 付属のバッテリー BP-820の充電時間は約275分です。なお、周囲の温度や充電状態によって異なります。
- 別売のバッテリーチャージャー CG-800Dを使うと約190分で充電できます。詳しくはバッテリーチャージャーの使用説明書をご覧ください。
- バッテリーの取り扱いについては、242ページをご覧ください。



バッテリーチャージャー
CG-800D（別売）

POINT バッテリーの残量を確認するには

電源OFFのときにBATT.INFOボタンを押すと、バッテリーの残量と撮影可能時間が5秒間表示されます。ただしバッテリーが消耗していると表示されないことがあります。



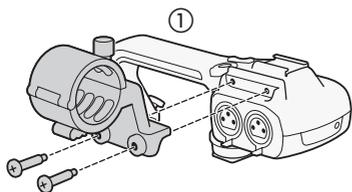
カメラを準備する

ここではハンドルユニットHDU-1(別売)、レンズフードの取り付け、ビューファインダーや有機ELパネルの調整、グリップベルトやストラップの調整など、はじめに行うカメラの準備について説明します。取り付ける際は、落下したりしないように、机などの安定した所で取り付けてください。

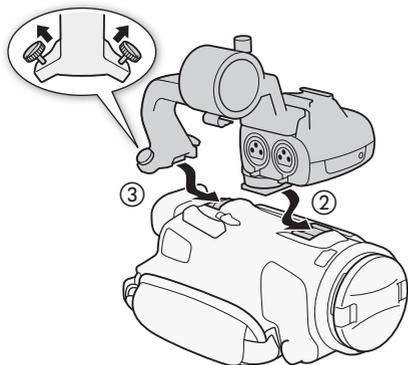
■ 別売のハンドルユニットを取り付ける

INPUT端子(□96)、赤外ライト(□122)、タリーランプ(□214)を使用するときは、ハンドルユニットを取り付けてください。

- 1 付属のネジでマイクホルダーをハンドルに取り付ける(①)



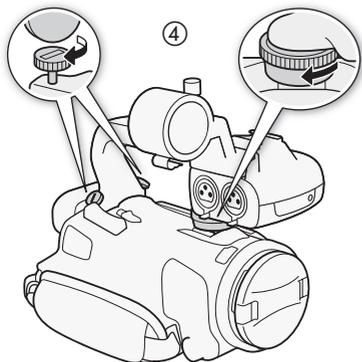
- 2 ネジを回してあらかじめカバーを外してからハンドルを取り付けてください。



ハンドルユニットを後ろから前へスライドさせ、ハンドルユニット固定ネジ差し込み部(②)に合わせる。次にハンドルユニット取り付けネジ差し込み部(③)に合わせる。

- ハンドルユニット取り付けネジは、持ち上げた状態でスライドさせてください。

- 3 それぞれのネジを回してしっかり固定する(④)



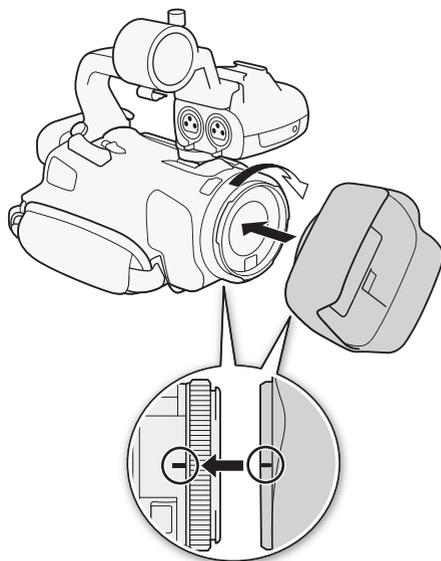
- 取り付けネジはコインなどでしっかり締めてください。

■ レンズフードとレンズキャップについて

撮影時はレンズフードを取り付けてください。ゴーストやフレアなどの低減に効果的です。また、レンズフードのバリアを閉じることで、レンズに指紋などの汚れが付きにくくなります。

レンズキャップはビデオカメラの保管や持ち運びの際にご使用ください。

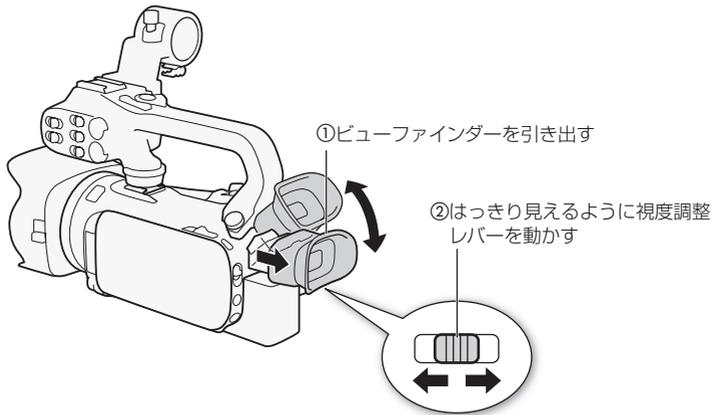
レンズキャップが付いていると、フードを取り付けることができません。レンズキャップを外してから、レンズフードを取り付けてください。



- 1 レンズキャップを外す。
- 2 レンズ先端部にフードをはめ込み目印が真下に来るように取り付け (①)、時計方向にカチッと音がして止まるまで回す (②)
 - フードの先端を軽く持って取り付けてください。強く握ると変形して、取り付け/取り外しにくくなります。取り外すときは、フードを矢印の反対方向に回してください。

■ ビューファインダーの視度を調整する

ビューファインダーの映像がはっきり見えるように、視力に合わせて視度を調整します。電源を入れ(□ 45)、視度調整レバーを左右に動かして調整してください。また、ビューファインダーは、角度を調整できます。



MEMO 必ずアイカップを装着した状態でご使用ください。



眼鏡装着時、アイカップのペロ部が邪魔になる場合は➡部を押して、折り返してご使用ください。

POINT 画面を相手に見せながら撮る

ビューファインダーを表示したまま、有機ELパネルをレンズ側に回転させると、相手に画面を見せながら撮影できます。

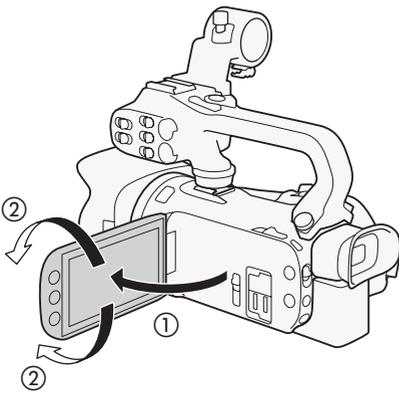
どのように映像が撮れているのか、お互いに確認ができて、より自由な撮影スタイルが楽しめます。

- MEMO**
- 画面やビューファインダーの明るさを調整しても、記録される映像の明るさには影響しません。
 - 画面を明るくすると、バッテリーの使用時間が短くなります。
 - 画面やビューファインダーの明るさは、メニューの「有機ELパネル明るさ」、「VF明るさ」(□ 214)で調整できます。また、「有機ELパネル明るさ」はDISP./BATT. INFOボタン(□ 12)を2秒以上押し続けて切り換えることができます。
 - 有機ELパネル/ビューファインダーの取り扱いについては240ページを、お手入れについては245ページをご覧ください。

■ 有機ELパネルを使う

有機ELパネルを開く

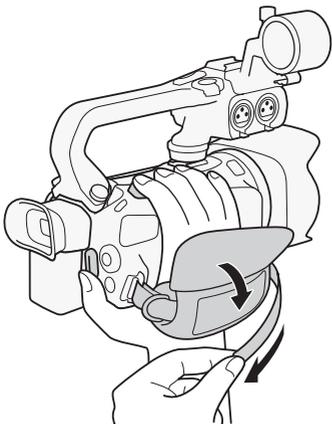
- 1 有機ELパネルを手前に引き出し、見やすい位置まで回転させる



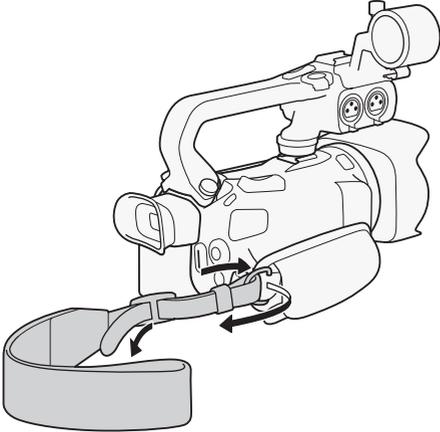
MEMO 有機ELパネルを回転させた際、画面に一瞬ノイズが出ることがありますが、故障ではありません。

■ グリップベルトを調節する

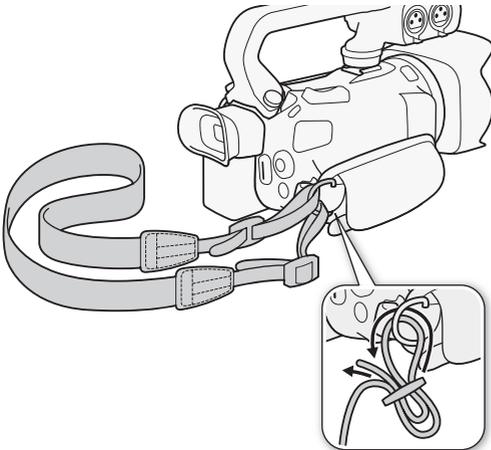
親指がスタート/ストップボタンに、人さし指がグリップズームに、ちょうど合うようにベルトの長さを調節します。



■ リストストラップ (別売) を取り付ける

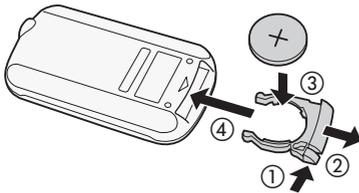


■ ショルダーストラップ (別売) を取り付ける



■ リモコンを使う

電池を入れる



- 1 ツマミを押して (①) 引き抜く (②)
- 2 +側を上にして付属の電池を入れる (③)
- 3 リモコンに取り付ける (④)

リモコンを使って操作する



リモコン受光部に向けて、リモコンのボタンを押す。

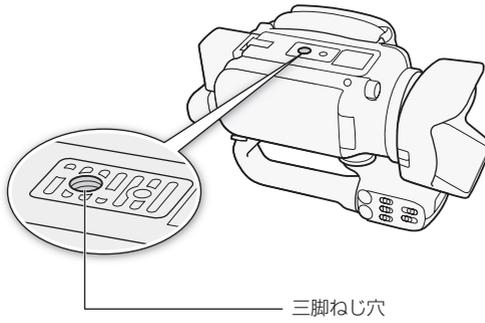


MEMO

- リモコンのボタンを押しても動作しない、本体に近づかないと動作しないなどのときは、電池を交換してください。
- リモコン受光部に直射日光や照明などの強い光が当たっていると、正常に動作しないことがあります。

■ 本体を三脚に取り付ける

取り付けネジの長さが6.5mm以下の三脚を取り付けることができます。

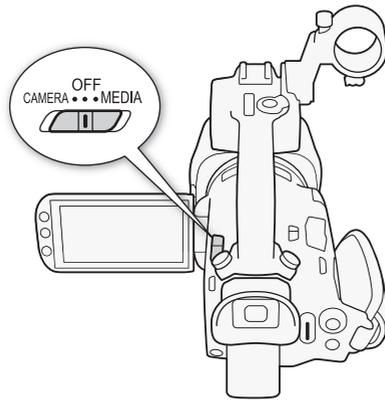


カメラを操作する

ここでは基本的なカメラの操作について説明します。

■ 電源を入れる／切る

本機には、撮影用のカメラモードと再生用のメディアモードとがあり、電源を入れるときに選択します。POWER(電源)スイッチを「CAMERA」にして電源を入れるとカメラモードに、「MEDIA」にして電源を入れるとメディアモードになります。



カメラモードで起動するとき

POWER(電源)スイッチをCAMERAにする



メディアモードで起動するとき

POWER(電源)スイッチをMEDIAにする

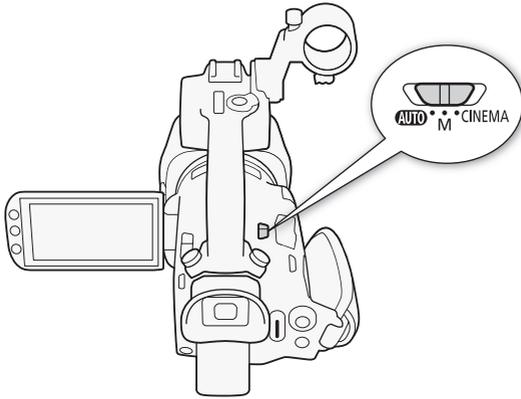


電源を切るとき

POWER(電源)スイッチをOFFにする

■ カメラモードを切り換える

カメラモード切り換えスイッチで撮影時のモードを切り換えます。



AUTO (オート)モード

ビデオカメラまかせで、撮りたい状況に合わせた動画を撮影できます (45)。



M (マニュアル)モード

ピント (フォーカス) や露出など、調整したい機能を自分で設定して撮影できます (49)。



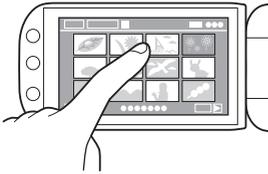
CINEMA (シネマ)モード

映像の色合いや雰囲気を変えて、映画のワンシーンのように撮影できます (58)。

■ タッチパネルで操作する

有機ELパネル（タッチパネル）を直接タッチして直観的に操作できます。

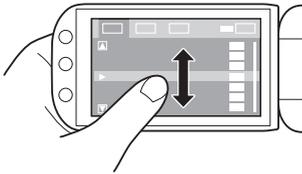
タッチ



画面に表示される項目やボタンなどを指で押します。

- シーン（動画）の再生、項目の選択などに使います。

ドラッグ



画面を押したまま上下または左右に指を移動します。

- 指の動きに合わせて画面の表示が変わります。画面スクロールやメニュー操作などに使います。
- 画面によっては、表示される三角マークのボタンをタッチして動かすこともできます。

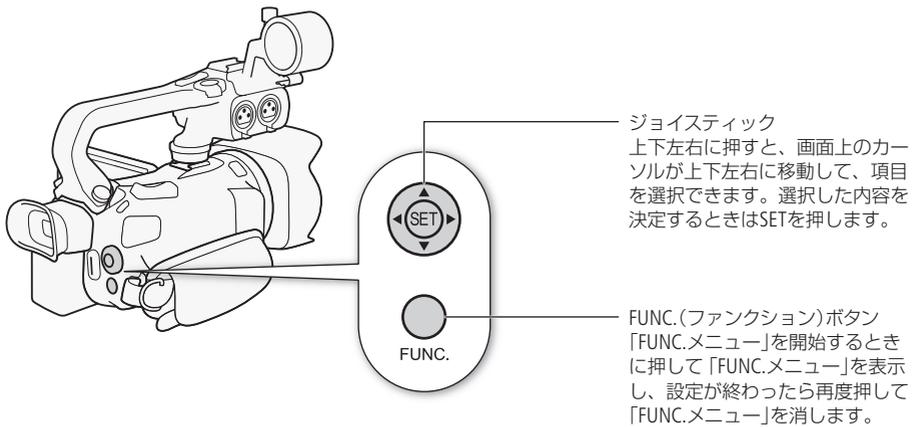


❗ **ご注意** タッチパネルは静電容量方式です。次の場合はタッチパネルが正常に動作しないことがあります。

- 爪先やボールペンなどがったもので操作をしたとき。
- ぬれた手や手袋をしたままで操作をしたとき。
- 強く押したまま擦る操作をしたとき。
- 市販の保護シートやシールなどを貼った上から操作をしたとき。

■ FUNC.(ファンクション)ボタン/ジョイスティックで操作する

タッチパネルを使わず、FUNC.(ファンクション)ボタンとジョイスティックを使って、本機を操作できます。



日付／時刻を合わせる

CAMERA MEDIA

はじめてお使いになるときは、日付、時刻を設定する画面が表示されます。時刻は、お住まいの地域と旅先の地域の2か所を設定できます。海外旅行先の日時を指定しておく、現地時間で記録できます(□ 247)。

動画形式 AVCHD MP4 カメラモード AUTO M CINEMA

1 FUNC.メニューを表示させる



- [FUNC.]をタッチまたはFUNC.ボタン(□ 14)を押す。
- メニュー操作モードになり、画面にFUNC.メニューが表示される。

2 「日付/時刻」を選ぶ



タッチパネルで操作するとき

- ① [MENU](メニュー)→をタッチする。
- ② 上下にドラッグして「日付/時刻」をタッチする。



ジョイスティックで操作するとき

- ① ジョイスティックを上下左右に押し、[MENU](メニュー)を選んでSETを押す。
- ② ジョイスティックを左右に押ししてを選ぶ。
- ③ ジョイスティックを上下に押しして「日付/時刻」を選んでSETを押す。

3 日時を設定する



タッチパネルで操作するとき

- ① 項目(年月日時分)をタッチし、▲/▼をタッチして設定する。
 - この操作を繰り返して日時を設定する。
- ② 必要に応じて、日時スタイルを設定する。
 - 使用するスタイルをタッチして選ぶ。
- ③ [OK]をタッチする。



ジョイスティックで操作するとき

- ① ジョイスティックを上下に押しして「年」の数字を選ぶ。
 - ジョイスティックを右に押しと、カーソルが「月」に移動する。
- ② ①の操作を繰り返して日付/時刻の設定をする。
 - ジョイスティックを上下左右に押しして「OK」を選びSETを押す。



MEMO

- 日時設定は、メニューの「日付/時刻」で変更できます。また、地域とサマータイムをメニューの「エリア/サマータイム」で設定できます(□ 212, 247)。
- 本機を約3か月使わないと、内蔵の充電式電池が放電して、日時の設定が解除されることがあります。その場合は、充電してから設定し直してください(□ 243)。

カードを準備する

本機では、動画や静止画をSDカードに記録します（下表）。SDスピードクラス4、6、10のカードの使用をおすすめします。*1

■ 使用可能なSDカード（2013年4月現在）

メモリーカードのタイプ	 SDメモリーカード、  SDHCメモリーカード、  SDXCメモリーカード
スピードクラス*2	SDスピードクラス  、  、  、 
容量	128 MB以上*3

*1 「録画モード」（□□ 52）を「28 Mbps」または「35 Mbps」に設定しているときは、SDスピードクラス6、10のカードの使用をおすすめします。また、「Slow & Fastモーション記録」（□□ 57）で撮影するときは、クラス10のカードの使用をおすすめします。

*2 SDスピードクラスに対応していないSDメモリーカードや、スピードクラス2のSDメモリーカードを使う場合、カードによっては動画を記録できないことがあります。

*3 容量が64 MB以下のSDメモリーカードには、動画を記録できません。

動画記録時の動作確認済みメモリーカード

次のメーカー製のSD / SDHC / SDXCメモリーカードについて、動画記録時の動作を確認しています。

- Panasonic
- TOSHIBA
- SanDisk

● ご注意 SDXCメモリーカードをお使いになるときは

SDXCメモリーカードに対応した機器でのみ使用できます。SDXCに対応する、レコーダー、パソコンまたはカードリーダー/ライターなどをご使用ください。対応状況については、パソコン、OSまたはカードのメーカーにお問い合わせください。

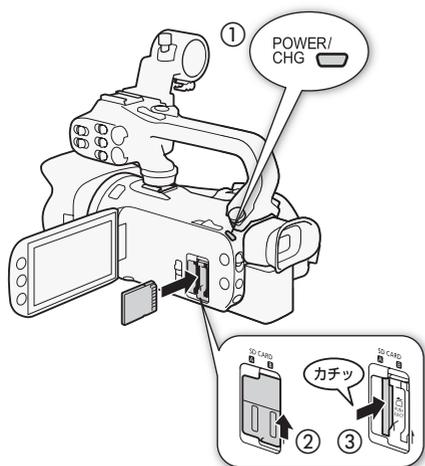
- SDXCメモリーカードに対応していないOSで使用すると、カードの初期化を促すメッセージが表示されることがあります。初期化するとデータが失われますので、キャンセルしてください。
- 撮影や編集を繰り返しているカードの場合、データの書き込み速度が低下し、記録が停止することがあります。あらかじめカードの動画や静止画を保存してから、本機でカードを初期化してください。

MEMO SDスピードクラスとは？

メモリーカードのデータ記録時の最低速度を保証する規格です。ご購入の際は、スピードクラスのマークを確認してください。

■ カードを入れる

はじめて使用するときには、初期化してからお使いください (40)。



- 1 電源をOFFにする (①)
- 2 カードカバーを開ける (②)
- 3 カードのラベル面をレンズ側に向けて、カチッと音がするまで奥までしっかり入れる (③)

- カードスロット **A** と **B** いずれかに一枚ずつ入れることもできる。

カードを出すとき

カードの端を押して、カードが出てきたら抜く。

- 4 カードカバーを閉じる
 - カードが正しく入っていない状態で、カバーを無理に閉めない。



● ご注意

- アクセスランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
 - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
 - カードを取り出さない。
- カードの出し入れは、本体の電源を切ってから行ってください。電源を切らずにカードを出し入れすると、故障の原因となることがあります。
- カードには表裏の区別があります。カードを裏返しに入れると、本機に不具合が発生することがあります。操作3のような正しい向きで入れてください。



MEMO 誤ってデータを消さないために



誤消去防止ツマミ

カードの誤消去防止ツマミを「LOCK」側にする、と、データを保護できます。

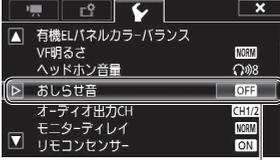
メニューの設定を変える

CAMERA MEDIA

本機さまざまな機能をご購入時の状態からメニューで変更できます。ここではタッチパネルやジョイスティックを使って行うメニュー設定の基本操作について説明しますので、本書の各項目で説明されているメニュー設定を操作するときの参考にしてください。次ページ以降、本書では主にタッチパネルでの操作を説明しています。メニューの種類については「メニューの紹介」(P.205)をご覧ください。

動画形式 **AVCHD MP4** カメラモード **AUTO M CINEMA**

例 「おしらせ音」を設定する

	<p>1 FUNC.メニューを表示させる</p> <p>FUNC. をタッチ、またはFUNC.ボタン (P.14) を押す。</p> <ul style="list-style-type: none">● メニュー操作モードになり、画面にFUNC.メニューが表示される。	
 	<p>2 項目を選ぶ</p> <p>タッチパネルで操作するとき MENU (メニュー) →  をタッチする。</p> <p>ジョイスティックで操作するとき</p> <ol style="list-style-type: none">① ジョイスティックを上下左右に押して、MENU (メニュー) を選んでSETを押す。② ジョイスティックを左右に押して  を選ぶ。	
	<p>3 機能を選ぶ</p> <p>タッチパネルで操作するとき</p> <ol style="list-style-type: none">① 上下にドラッグして、「お知らせ音」をオレンジ色のバーに合わせる。● 左端の△または▽にタッチしてスクロールさせることもできる。● 画面の機能名をタッチしても機能を選べる。自動的にオレンジのバーまでスクロールされる。 <p>②  をタッチする。</p> <p>ジョイスティックで操作するとき ジョイスティックを上下に押して、「お知らせ音」を選んでSETを押す。</p>	



4 設定内容を選ぶ

「 大」または「 小」を選ぶと、本機の操作に応じて音が鳴る。

タッチパネルで操作するとき

「 大」または「 小」をタッチする。

ジョイスティックで操作するとき

ジョイスティックを上下に押し、「 大」または「 小」を選んでSETを押す。



5 メニューを終了する

タッチパネルで操作するとき

Xをタッチする。

ジョイスティックで操作するとき

ジョイスティックを上下左右に押し、**X**を選んでSETを押す。



MEMO

- リモコンのMENUボタンを押してもメニューを表示できません。
- **X**をタッチしたり、FUNC.ボタンを押したりすると、メニューはいつでも終了します。
- 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、灰色で表示されます。

カードを初期化する

CAMERA MEDIA

カードをはじめて使用するときや、カードに記録した動画/静止画などすべての情報を消すときに初期化します。初期化には「初期化」と「完全初期化」があり、データを完全に抹消する必要があるときは「完全初期化」を選びます。

動画形式 AVCHD MP4 カメラモード AUTO M CINEMA

1 コンパクトパワーアダプター (ACアダプター)をつなぐ

- 初期化中は取り外さない。

FUNC. 2 タッチする

メディアモードのときは、この操作は不要。

MENU 3 初期化するカードを選ぶ



- ① [MENU] (メニュー) → [] → 「初期化 [SD]」をタッチする。
- ② 「[A] カードA」または「[B] カードB」をタッチする。

4 初期化を選ぶ

画面例：カードAの場合

- ① 「初期化する」をタッチする。

データを完全に消去するとき
「完全初期化」をタッチする。

- ② 「はい」をタッチする。

完全初期化を中止するとき

「中止」をタッチする。カードはそのまま使用できるが、データはすべて消える。

- ③ 「OK」をタッチする。



× 5 タッチする



ご注意

- 初期化すると、すべての情報が消え、元に戻せません。残しておきたい動画や静止画がある場合は、パソコンやBD(ブルーレイディスク)などにバックアップ (□ 158、167) してから初期化してください。

動画形式を選ぶ

CAMERA MEDIA

本機ではAVCHD形式、MP4形式の2つの動画形式で動画を記録できます。

MP4形式の場合、以下を行うことができます。

- ・ iPhoneなどスマートフォンでの再生
- ・ YouTubeやFacebookへのアップロード

動画形式 **AVCHD MP4** カメラモード **AUTO M CINEMA**

FUNC.

1 タッチする

MENU



2 動画形式を選ぶ

- ① [MENU] (メニュー) → [] をタッチする。
- ② 「動画形式」をタッチする。
- ③ 「AVCHD AVCHD」または「MP4 MP4」を選ぶ。
- ④ ↵ をタッチする。



×

3 タッチする

- 選択した動画形式のアイコンが画面に表示される。

記録先を選ぶ

CAMERA MEDIA

動画や静止画の記録先を選びます。

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC.

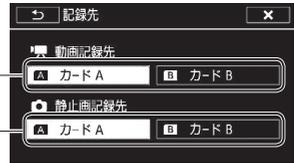
1 タッチする

MENU



2 動画または静止画の記録先を選ぶ

- ① MENU (メニュー) → をタッチする。
- ② 「記録先」をタッチする。
- ③ 「 動画記録先」と「 静止画記録先」をそれぞれ「 カードA」または「 カードB」を選んでタッチする。
- ④ をタッチする。



×

3 タッチする

- 「動画記録先」で選択した記録先のアイコンが画面に表示される。

撮 影

動画や静止画を撮影する	44	色合いを調整する	87
画質を選ぶ	52	場面や目的に合わせて撮る	89
記録方法を選ぶ	55	好みの画質にする	91
映像のなめらかさを選ぶ	56	タイムコードを設定する	92
スロー&ファースト モーション記録を行う	57	ユーザービットを設定する	94
映画のように撮る	58	音声を記録する	96
ピントを合わせる	60	ヘッドホンを使う	115
拡大して撮る	68	カラーバー／テストトーンを 記録する	117
手ブレをおさえて撮る	77	ビデオスナップを撮る	119
ゲインリミットを調整する	79	撮影チャンスを逃さない	120
動きの速いものを撮る／ 背景をぼかして撮る	80	画面の表示を切り換える	121
マニュアルで明るさを調整する	82	赤外撮影を行う	122
明るさを調整する	83	別売アクセサリーを使う	123

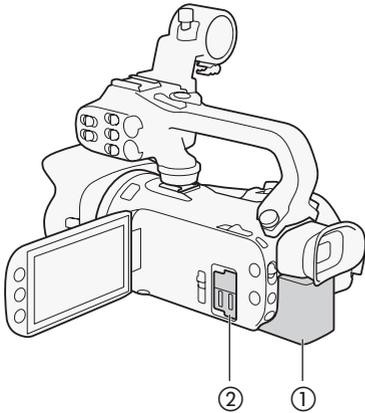
動画や静止画を撮影する

CAMERA MEDIA

ここでは基本的な撮影について説明します。音声の記録については、96ページをご覧ください。

動画形式 AVCHD MP4 カメラモード AUTO M CINEMA

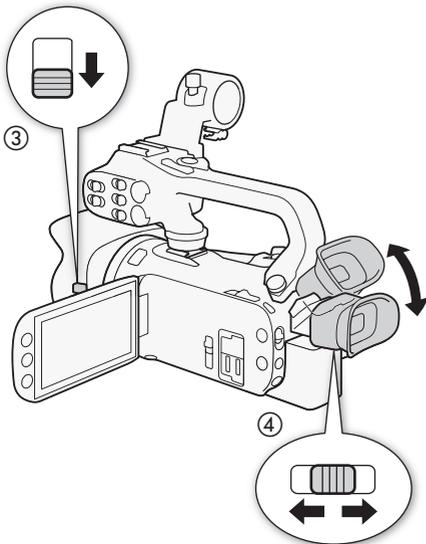
■ 準備する



1 充電したバッテリーパックを取り付ける (①)

2 SDカードを入れる (②)

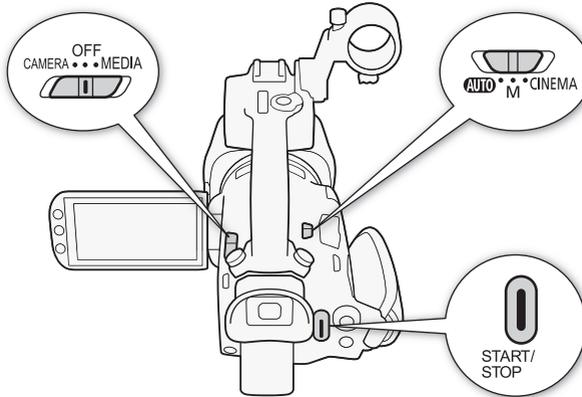
- 「同時記録」「リレー記録」(P.55)を行うときは、カードを2枚入れる。



3 レンズバリア開閉スイッチを下げて、レンズバリアを開ける (③)

4 ビューファインダーを使用するときは、ビューファインダーを引き出して、視度や角度を調整する (④) (P.26)

■ 撮影する



AUTO (オートモード)

このモードでは、ビデオカメラにすべておまかせで気軽に撮影できます。



1 **AUTO** にする

- モードスイッチを「AUTO」側にする (□ 32)。



2 **POWER**(電源)スイッチを「CAMERA」にする

- 電源ランプが緑色に点灯。



START/
STOP

3 START/STOP(スタート/ストップ)ボタンを押す

- 撮影が始まる。ハンドルユニットHDU-1(別売)を装着しているときは、タリーランプが点灯し、画面に●が表示される。
- ハンドルのSTART/STOPボタンを押しても撮影開始できる。
- リモコンの場合、リモコンのSTART/STOPボタンを押す(□ 18)。



静止画を撮るとき

PHOTOボタンをタッチする

- 画面右上に📷と記録先のアイコンが表示される。記録先は、メニューの「記録先」の「静止画」で選んだカードとなる。
- リモコンの場合、リモコンのPHOTOボタンを押す(□ 18)。

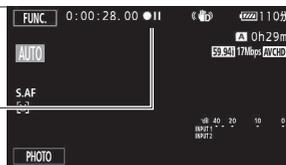


START/
STOP

4 撮影を停止するとき もう一度START/STOP(スタート/ストップ)ボタンを押す

- 画面の●が●●●に変わる。
- 1シーン*の動画が記録され、撮影が一時停止する。ハンドルユニットのタリーランプは消灯する。

* 本書では、一回の撮影操作で記録された動画を「シーン」と呼びます。



静止画を撮るとき

PHOTOボタンをタッチする

- 画面下部に緑色の○と、画面右上に、📷と記録先のアイコンが表示される。記録先は、メニューの「記録先」の「静止画」で選んだカードとなる。
- リモコンの場合、リモコンのPHOTOボタンを押す(□ 18)。

5 レンズバリアを閉じて、電源をOFFにする

- ① レンズバリア開閉スイッチを上げて、レンズバリアを閉じる。
- ② ACCESSランプが消えていることを確認する。
- ③ POWER(電源)スイッチを「OFF」にする。
- ④ 有機ELパネルを垂直にしてから閉じる。ビューファインダーを引き出しているときは元の位置に戻す。

POINT こだわりオートの自動設定機能

ビデオカメラはシーンに応じて、ピント合わせや被写体の明るさ、色合い、手ブレ補正、画質が最適になるように自動的に調整します。判別した被写体やシーンに応じて、画面に次のようなマークが出ます。

背景 被写体	明るい (灰色)	青空 (水色)	鮮やかな色 (緑/黄/赤色)	夕景 (オレンジ色)
静止した人物				—
動いている人物				—
風景など、人物 以外の被写体				
近くの被写体	/ *	/ *	/ *	—

()は逆光下の場合。

背景 被写体	暗い(紺色)	
	スポットライト	夜景
静止した人物		—
動いている人物		—
風景など、人物 以外の被写体		
近くの被写体	/ *	—

* 望遠端付近にズームして被写体に近づくと、自動的にテレマクロが有効になります。テレマクロを使うと背景がぼけるので、被写体を強調したシーンにすることができます。



POINT マルチシーンISのマークについて

AUTO (オート) モードのときは、撮影状況によって自動的に設定された手ブレ補正に合わせて、マークの表示が変わります。**M** (マニュアル) モードの手ブレ補正については「手ブレをおさえて撮る」(P.77)をご覧ください。

表示されるマーク	撮影状況
(ダイナミック)	ズームの広角側で撮影しているとき ズームの望遠側で、カメラを左右に動かして被写体を追いかけて撮影しているとき
(パワードIS)*	ズームの望遠側で、静止して撮影しているとき
(マクロIS)	近くの被写体を撮影しているとき
(三脚モード)	三脚装着時など、静止して撮影しているとき

* (パワードIS)は、**[MENU]** (メニュー) → **[P.77]** の「マルチシーンIS」で「パワードISあり」または「パワードISなし」を選択できます。

M(マニュアル)モード

このモードではピント(フォーカス)や露出など、自分で設定して撮影できます。

1 **M**にする

- モードスイッチを「**M**」側にする。



2 POWER(電源)スイッチを「CAMERA」にする

- 電源ランプが緑色に点灯。

3 動画／静止画を撮影する

- 操作のしかたは **AUTO**(オート)モードと同じ(□46)。



● **注意**

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
 - カードカバーを開けない。
 - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
 - カメラモードスイッチを切り換えない。
- 万一のデータ破損に備えて、撮影したデータは必ずバックアップしてください。データ破損の場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。



MEMO

- 別売のハンドルユニットのSTART/STOPボタンには、誤操作防止用のロックレバーがあります。使用しないときや撮影状態を保持したいときは、ロックレバーを🔒側にしてください。レバーを元の位置に戻すとロックは解除されます。
- **MENU**(メニュー) → **☑**の「記録コマンド」を「入」にして本機とHD/SD-SDI (**XA25**) または、HDMI記録コマンド対応機器をHD/SD-SDI端子 (**XA25**) やHDMI OUT端子でつなぐと、本機の撮影／撮影一時停止操作(START/STOPボタンの操作) と連動して、他機の記録／記録一時停止を行うことができます。
- 撮影中にリレー記録(☑ 55)が発生すると、撮影された映像はそれぞれ別々のシーンとして記録されます。撮影された映像は、付属のData Import Utilityで結合して1つのファイルとしてパソコンに取り込むことができます(☑ 158)。
- シーン内の映像ファイル(ストリーム)は、約4GBに分割して記録されます(本機で再生したときは、連続して再生されます)。分割されたファイルは、付属のソフトウェアData Import Utilityで結合して1つのファイルとしてパソコンに取り込むことができます(☑ 158)。
- 画面に光が当たって映像がよく見えないときは、ビューファインダーを使うか画面の明るさを調節してください(☑ 214)。

「こだわりオート」のシーン判別について

シーンによっては、実際のシーンと異なるマークが出る場合があります。特に背景がオレンジ色や青色の壁などのときは、☀や「青空」のマーク類が出て、適切な色合いで撮影できないことがあります。そのときは**M**(マニュアル)モードで撮影することをおすすめします。

静止画について

- **AUTO**(オート)モードまたは**M**(マニュアル)モードで、動画を撮影中または撮影一時停止中に、静止画を記録できます(☑ 46)。静止画のサイズと、1GBのメモリーカードに記録できるおおよその静止画枚数は以下の通りです。ただし、撮影条件や被写体により記録できる枚数は異なります。

動画形式	録画モード	静止画サイズ	記録可能枚数
AVCHD	すべて	1920x1080	660枚
MP4	35 Mbps, 24 Mbps, 17 Mbps	1920x1080	660枚
	4 Mbps	1280x720	1490枚
	3 Mbps	640x360	5800枚

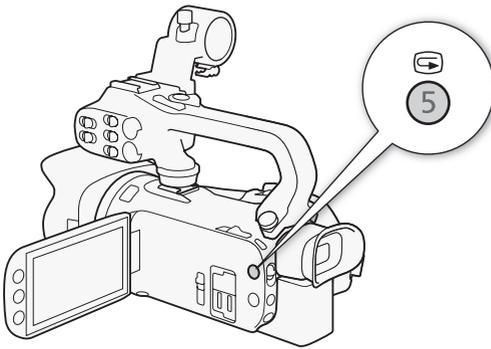
- 撮影した映像から、気に入った場面を静止画として切りとることもできます(あとからフォト)(☑ 138)。

画面を閉じて撮影する

- 三脚に取り付けて長時間撮影する場合は、画面を閉じてビューファインダーで撮影するとバッテリーの持ちが良くなります(☑ 26、255 ~ 258)。

■ いま撮ったシーンを確認する（レックレビュー）

直前に撮ったシーンを再生して、録画状態をチェックすることができます。このとき、音声は再生されません。初期設定ではアサインボタン5(□ 12)に割り当てられていますので、アサインボタン5を押して操作します。



撮影が終了したあと、（レックレビュー）ボタンを押す。

- 直前に撮ったシーンの最後の4秒間が再生される。

画質を選ぶ

CAMERA MEDIA

録画モード

AVCHDとMP4それぞれで録画モードを設定できます。AVCHDで「28 Mbps LPCM (59.94P)」または「24 Mbps LPCM」で撮影すると、音声はリニアPCM(16ビット、48kHz)の2チャンネル記録が可能です。また、録画モード(□ 52)の「3Mbps」は、速報用データとして活用。FTPファイル転送機能を使い撮影後すぐにファイルを転送して編集可能です。

動画形式 AVCHD MP4 カメラモード AUTO M CINEMA

録画モード一覧

動画形式	録画モード	解像度	音声記録形式
AVCHD	28 Mbps LPCM (59.94P)	1920 x 1080	リニアPCM
	28 Mbps (59.94P)		Dolby Digital
	24 Mbps LPCM		リニアPCM
	24 Mbps		Dolby Digital
	17 Mbps		
	5 Mbps		
MP4	35 Mbps (59.94P)	1920 x 1080	AAC
	24 Mbps		
	17 Mbps		
	4 Mbps	1280 x 720	
	3 Mbps	640 x 360	

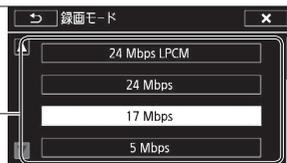
FUNC.

1 タッチする

MENU

2 録画モードを選ぶ

- ① MENU (メニュー) →  をタッチする。
- ② 「録画モード」をタッチする。
- ③ いずれかをタッチする。



×

3 タッチする

POINT

録画時間の目安

AVCHD形式

録画モード \ 容量	8GB	16GB	32GB	64GB	128GB
28 Mbps LPCM (59.94P) 28 Mbps (59.94P)	35分	1時間15分	2時間30分	5時間05分	10時間10分
24 Mbps LPCM 24 Mbps	40分	1時間25分	2時間55分	5時間55分	11時間55分
17 Mbps	1時間	2時間05分	4時間10分	8時間20分	16時間45分
5 Mbps	3時間	6時間05分	12時間15分	24時間30分	49時間

MP4形式

録画モード \ 容量	8GB	16GB	32GB	64GB	128GB
35 Mbps (59.94P)	30分	1時間	2時間	4時間	8時間
24 Mbps	40分	1時間25分	2時間55分	5時間55分	11時間55分
17 Mbps	1時間	2時間05分	4時間10分	8時間20分	16時間45分
4 Mbps	4時間20分	8時間40分	17時間20分	34時間45分	69時間30分
3 Mbps	5時間40分	11時間25分	22時間55分	45時間55分	91時間55分

1回の撮影操作で記録できる時間は、約12時間です。それを越えると自動的に停止します。



MEMO

- お使いのスマートフォンや機器によっては再生できない場合があります(☐ 183)。
- 28 Mbpsモード(AVCHD)の動画を使って、AVCHD規格のDVDを作成することはできません。AVCHD Ver.2.0に準拠したBD(ブルーレイディスク)レコーダーへのダビングはできます。
- 以下のMP4形式のシーンは、他の機器では複数のファイルとして認識されます。
 - データ容量が4GBを超えるもの。
 - 録画モードが35Mbpsで30分以上のもの、または35Mbps以外で1時間以上のもの。

「28 Mbps」(AVCHD)、「35Mbps」(MP4)について

- 「28 Mbps」や「35Mbps」で記録した動画はテレビによっては再生できない場合があります。
- 「28 Mbps」や「35Mbps」にしているときは「同時記録」できません。
- カメラモードを「シネマ」にしているときは「28 Mbps」と「35Mbps」に設定できません。
- 録画時間は撮影する被写体によって変化します。被写体に合わせて自動で画質を調整するVBR(Variable BitRate)方式を採用しているためです。

記録方法を選ぶ

CAMERA MEDIA

同時記録／リレー記録

「同時記録」では、記録先に指定していないカードに、同時に映像を記録します。同じ動画形式や、異なる動画形式、または、異なる画像サイズで記録し、映像をバックアップできます。「リレー記録」では記録先に指定したカードがいっぱいになったら、自動でもう一方のカードに切り換えて撮影を継続できます。記録先に設定したカードのみ記録するときは「通常記録」を選びます。

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

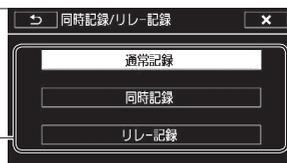
撮
影

FUNC. 1 タッチする

MENU 2 同時記録またはリレー記録を選ぶ



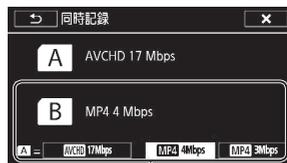
- ① MENU (メニュー) → [MENU] をタッチする。
- ② 「同時記録／リレー記録」をタッチする。
- ③ いずれかをタッチする。



同時記録を選んだとき

例：「記録先」をカードA、「録画モード」をAVCHDの「17 Mbps」に設定しているとき

この場合は、カードBにMP4 (4 Mbps) で記録する。



× 3 タッチする



MEMO

- リレー記録で分割されたファイルは付属のData Import Utilityを使用すると、結合して1つのファイルとしてパソコンに取り込めます。「リレー記録」は、カードAからカードB、または、カードBからカードAの1回のみ記録可能です。
- 以下の場合は同時記録できません。
 - 録画モードを「28 Mbps LPCM (59.94P)」、「28 Mbps (59.94P)」、「35Mbps(59.94P)」にしているとき。
 - カメラモードを「シネマ」にしているとき。

映像のなめらかさを選ぶ

CAMERA MEDIA

フレームレート

1秒間に記録されるコマの数（フレームレート）を設定できます。フレームレートによって、記録される動画のなめらかさが変わります。AVCHD形式では、通常は **59.94i** 59.94i を選びます。録画モードが 28 Mbps LPCM (59.94P) / 28 Mbps (59.94P) (AVCHD)、35 Mbps (59.94P) (MP4) のときには、フレームレートが同時に設定されますので、「フレームレート」設定画面では設定できません。

動画形式 **AVCHD MP4** カメラモード **AUTO M CINEMA**

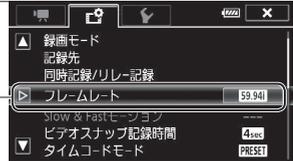
FUNC.

1 タッチする

MENU

2 フレームレートを選ぶ

- ① **MENU** (メニュー) → **🔒** をタッチする。
- ② 上下にドラッグして、「フレームレート」をタッチする。
- ③ いずれかをタッチする。



AVCHD動画形式

59.94i 59.94i

テレビ信号と同じように記録する（59.94フィールドインターレース）。

PF29.97 PF29.97

映像を29.97コマ/秒で撮影、59.94iに変換して記録する。インターネットで映像を公開するときなどに便利。

23.98P 23.98P

(23.98プログレッシブ記録) 映像を23.98コマ/秒で撮影、記録する。

MP4動画形式

29.97P 29.97P

映像を29.97コマ/秒で撮影して記録する。

23.98P 23.98P

映像を23.98コマ/秒で撮影して記録する。

×

3 タッチする



MEMO

M (マニュアル) モードと **CINEMA** (シネマ) モードで個別に設定できます。ご購入時は「59.94i」に設定されています。MP4記録のときは「29.97P」に設定されています。

スロー&ファーストモーション記録を行う

CAMERA MEDIA

Slow & Fastモーション記録

「記録形式」を「MP4」に設定しているとき、再生時と異なるフレームレートを設定して撮影できます。再生時よりも高いフレームレートで撮影して、再生するとスローモーション効果になります。再生時よりも低いフレームレートで撮影して、再生するとファーストモーション効果になります。なお、記録中、音声は記録されません。

動画形式 AVCHD MP4 カメラモード AUTO M CINEMA

撮
影

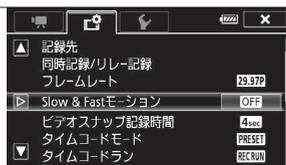
撮影フレームレートを設定する

1 タッチする

2 撮影フレームレートを設定する



- ① [MENU] (メニュー) → をタッチする。
- ② 上下にドラッグして、「Slow & Fastモーション」をタッチする。
- ③ いずれかの撮影フレームレートをタッチする。
 - 「録画モード」 / 「フレームレート」の設定によって、以下の撮影フレームレートの選択ができる。



録画モード	フレームレート	撮影フレームレート
35 Mbps (59.94P)		29.97P、23.98P
24 Mbps, 17 Mbps	29.97P	59.94P、23.98P
24 Mbps, 17 Mbps	23.98P	59.94P、29.97P

3 タッチする



MEMO

- 「同時記録」、「リレー記録」、「PRE REC」、「ビデオスナップ」、「カラーバー」、「フェイスキャッチ&追尾」と同時に使用することはできません。
- スロー&ファーストモーション記録モードで撮影中に静止画は撮影できません。
- スロー&ファーストモーション記録モード中のタイムコードは「Rec Run」または「Regen.」で記録され、記録フレーム数ずつ歩進します。「Free Run」に設定している状態でスロー&ファーストモーション記録モードにすると、強制的に「Rec Run」に設定され、「スロー&ファーストモーション」を「切」にすると、元のカウントアップ方式に戻ります。
- 撮影フレームの値が小さいと、記録停止に約1秒程度の時間がかかることがあります。
- 1回の撮影操作で記録できる時間は、再生時間における約12時間です。それを越えると自動的に停止します。
例) フレームレート29.97P、Slow&Fastモーション記録59.94Pの場合、記録時間6時間(再生時間12時間)。

映画のように撮る

CAMERA MEDIA

シネマモード／シネマルックフィルター

お好みのシネマルックフィルターを選んで撮影すると、映像の色合いや雰囲気を変えて、映画のワンシーンのように撮影できます。MP4形式の動画に変換するときにはシネマルックフィルターを使うこともできます (□ 164)。

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA



1 CINEMAにする

FILTER 1

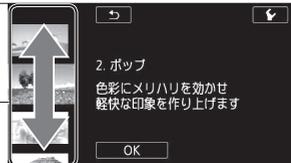
2 タッチする



3 シネマルックフィルターを選ぶ

上下にドラッグして、いずれかのフィルターを選ぶ。

- 画面の表示が、選んだフィルターの色合いに変わる。



4 効果の強さを選ぶ

シネマスタンダードの場合

- ① 左向き矢印アイコンをタッチする。
- ② 「ON」をタッチする。
- ③ 調整する項目名を選びタッチする。

色の濃さ : -2(薄い) ~ +2(濃い)
ソフトフィルター : OFF, 1~3
キー : L, M, H
コントラスト : -2(弱い) ~ +2(強い)

- ④ 調整が終わったら右向き矢印アイコンをタッチする。

シネマスタンダード以外の場合

- ① 左向き矢印アイコンをタッチする。
- ② 「L」(弱)、「M」(中)、「H」(強)のいずれかをタッチする。
- ③ 右向き矢印アイコンをタッチする。

OK

5 タッチする

POINT シネマリックフィルターの一覧

1 シネマスタンダード

映画のような基本画質。



2 ポップ

色彩にメリハリをきかせ軽快な印象に。



3 ファンタジー

まるで夢の中にいるかのような柔らかな幻想世界。



4 クール

見慣れたシーンをシャープで未来的なイメージに。



5 ノスタルジック

渋い発色と引き締まる画で、昔の映画のように。



6 セピア

何気ない日常の印象から懐かしい記憶の世界へ。



7 オールドムービー

画面に揺れや傷、明滅をつけて映画館のように。



8 メモリー

はるか昔に出会った場面のように。



9 ダイナミックモノクローム

黒と白の階調を際立たせ、力強い臨場感に。



MEMO

● カメラモードを「シネマ」にしているときは以下のことができません。

- 静止画の記録
- 同時記録
- 「28 Mbps LPCM (59.94P)」、「28 Mbps (59.94P)」、「35Mbps」(録画モード)での記録。

ピントを合わせる

CAMERA MEDIA

フォーカス

本機の、マニュアルフォーカスではフォーカスプリセットができます。オートフォーカスでは、フェイスオンリー AFができます。

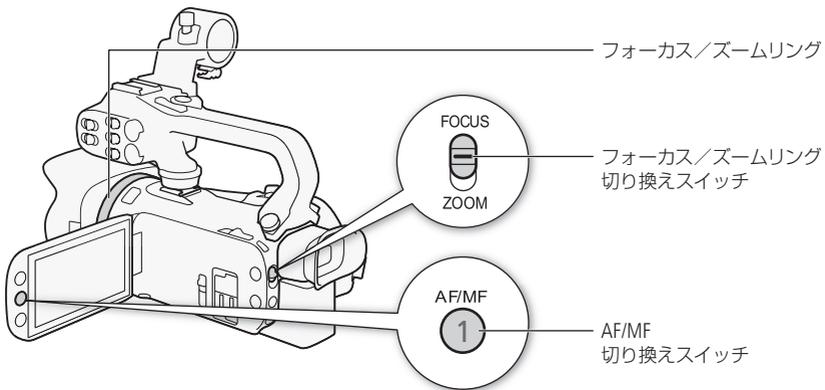
MF(マニュアルフォーカス)で調整する

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

フォーカス/ズームリングを回して、手動でフォーカス調整を行います。フォーカス/ズームリングの回転速度に応じてフォーカスが移動します。フォーカス/ズームリングの操作方向、感度をメニューで設定することができます (P.215)。

FUNC.メニューまたはAF/MF切り換えボタンを使ってマニュアルフォーカスに設定します。



1 フォーカス/ズームリング切り換えスイッチをFOCUSにする

FUNC.

2 タッチする

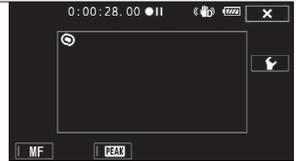
AF/MF切り換えボタンで設定するとき

AF/MF切り換えボタンを押す。

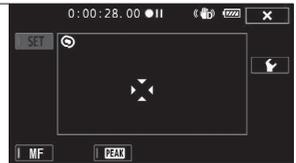
- マニュアルフォーカスのときは画面にMFが表示される (操作5へ)。



- 3 フォーカスを選ぶ
 ● (フォーカス)をタッチする。



- MF 4 MFをタッチする
 画面の枠内の、ピントを合わせたい被写体をタッチすると、タッチした場所に、が点滅して、ピントが自動で調整された後にマニュアルフォーカスになる。



- 5 必要に応じてフォーカス／ズームリングを操作して、フォーカスを合わせる
- メニューの「フォーカスアシスト」を「入」に設定しているときは、フォーカス／ズームリングを回すと画面の中央が拡大され、くっきりと表示される。操作中は、操作方向の目安として被写体との距離表示が数秒間出る。

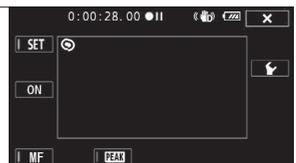
■ フォーカス位置をプリセットする

FUNCメニューでマニュアルフォーカスにしたときは、プリセットしたフォーカス位置に、フォーカスを合わせます。フォーカスを合わせるスピードはメニューで3段階から選択できます (□ 215)。

フォーカス位置をプリセットする

- 1 マニュアルフォーカスにする
- 「MF(マニュアルフォーカス)で調整する」の操作1～5を行う。

- SET 2 タッチする
- タッチしたときのフォーカス位置がプリセットされる。



プリセットしたフォーカス位置に戻る

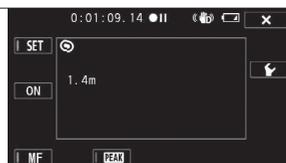
ON

1 タッチする

- フォーカスがプリセットした位置に合って固定される。

プリセット位置をキャンセルするとき

SET をタッチする



MEMO

- 電源を切るとプリセットしたフォーカス位置はキャンセルされます。なお、オートモードではフォーカスプリセット機能が無効になります。
- マニュアルフォーカスで、ズームしていないときに **ON** がタッチできます。

■ ピントの合った被写体の輪郭に色をつける (ピーキング)

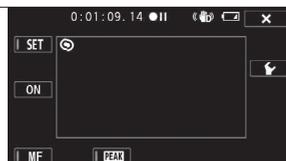
FUNCメニューでマニュアルフォーカスにしたときは、ピント合わせをしやすくするために、ピントの合った被写体の輪郭に色をつけて表示できます。また、画面を白黒に変えて輪郭につける色 (ピーキング色) をさらに強調することもできます。なお、色は「レッド」、「ブルー」、「イエロー」の3色から選択できます。

1 ピーキングを選ぶ

- 60ページの操作3までを行う。

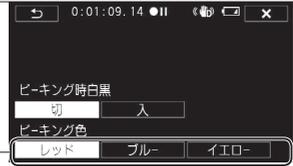


2 タッチする



3 ピーキング色を選ぶ

- ① いずれかをタッチする。
- ②  をタッチする。



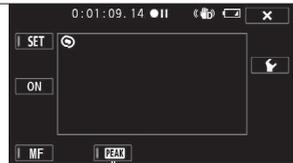
PEAK

4 ピーキング色を表示する

- PEAK をタッチする。
- ピントの合った被写体の輪郭に色が表示される。

「ピーキング時白黒」を入にしたとき
画面が白黒になり、ピーキング色がさらに強調される。

ピーキングを使わないとき
もう一度 PEAK をタッチする。



×

5 タッチする



MEMO ピーキングを表示しても、記録される映像に影響はありません。

■ AF(オートフォーカス)で調整する

動画形式 **AVCHD MP4** カメラモード **AUTO M CINEMA**

オートフォーカスは、画面の中央部にある被写体にピントが合うように、フォーカスを常に自動調整します。自動的にピント合わせが可能なのは1cm(ワイド端、レンズ先端から)～∞(無限遠)または60cm(ズーム全域、レンズ先端から)です。

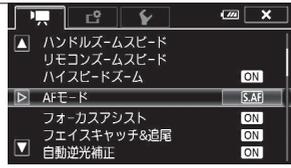
AF/MF  1 AF/MF切り換えボタンを押す

■ AF(オートフォーカス)のスピードを選ぶ

FUNC. 1 タッチする

MENU 2 AFモードを選ぶ

- ① **MENU**(メニュー)をタッチする。
- ② 上下にドラッグして、「AFモード」をタッチする。
- ③ いずれかをタッチする。



SAF (ハイスピードAF)	もっとも高速でAF動作を行います。高輝度、夜景などでも効果的です。外部センサーを併用します。
MAF (ミディアムスピードAF)	ハイスピードAFに比べてより滑らかな動作を行います。外部センサーを併用します。
AF (ノーマルAF)	安定したAF動作を行います。

X 3 タッチする

MEMO

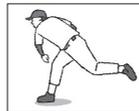
- 晴れた日の屋外など明るいシーンを撮影するときは、絞りが絞り込まれ、小絞りによるボケが生じます。このボケは、テレ側よりワイド側の方が目立ちます(被写体が小さく撮影されるため)。このときは、撮影モードの「**P**(プログラムAE)」「**Tv**(シャッター優先AE)」「**Av**(絞り優先AE)」「**M**(マニュアル露出)」で、NDフィルターを「オート」にしてください(□ 207)。
- 別売のコンバージョンレンズを装着して、メニューの「コンバージョンレンズ」を「TL-H58」または「WA-H58」に設定すると、「ハイスピードAF」、「ミディアムスピードAF」は使用できません。
- フレームレートを「PF29.97」または「23.98P」に設定していると、「59.94P」や「59.94i」よりもフォーカスが合うまで若干時間がかかります。
- 暗い室内などで撮影するときは、絞りが開き、ピントの合う範囲が非常に狭くなります。このため、特に奥行きのある被写体を撮影すると、全体にボケたような画像に見えることがあります。
- オートフォーカス中でもフォーカス/ズームリングを回すと、操作している間だけマニュアルフォーカスになります。操作をやめるとオートフォーカスに戻ります。ガラス越しに撮影するときなどに便利です。
- 撮影モードが「打上げ花火」に設定されている場合、ピントは∞(無限遠)で固定となります。

POINT

自動でピントが合いにくいときはどんなとき？



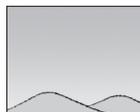
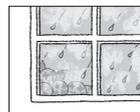
強い光が反射



動きが速い



夜景

画面の中央に明暗の
差がない水滴が付いている
ガラス越しの撮影

■ 顔を検出してAFやAEを合わせる（フェイスキャッチ&追尾）

人物の顔を検出して、自動的にピントや明るさを調整します。主な被写体を変えたいときは、その人物の顔をタッチします。人物以外にもペットなどの動いている被写体を主な被写体にできます（追尾）。被写体を選ぶときはタッチパネルで操作してください。

FUNC. 1 タッチする

MENU 2 フェイスキャッチ&追尾を選ぶ

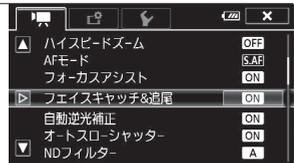
ON
×

- ① MENU (メニュー) をタッチする。
- ② 上下にドラッグして、「フェイスキャッチ&追尾」をタッチする。
- ③ ON (入) をタッチする。

解除するとき

OFF (切) をタッチする。

- ④ × をタッチする。



3 カメラを人物に向ける

- 主な被写体と判断した顔に白い枠、その他の顔にグレーの枠が表示される。

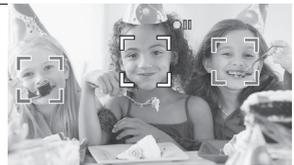
特定の人やペットを選ぶとき

特定の人物をタッチする。

- タッチした被写体に白い2重枠が出る。
- 被写体が動くと、自動で枠も一緒に動く。

解除するとき

[解除] をタッチする。



■ フェイスオンリー AF

検出した顔に対して、自動的にピントや明るさを調整します。顔がない場合はマニュアルフォーカスになります。アサインボタンに「フェイスオンリー AF」を割り当てると、アサインボタンを押して「フェイスオンリー AF」のON/OFFを切り換えられます(□ 129)。「フェイスオンリー AF」を「ON」にすると  が表示されます。「フェイスオンリー AF」は、AFモードがオートフォーカスのときのみ有効です。



MEMO

- 人物以外の被写体を、誤って顔として検出することがあります。その場合は「フェイスキャッチ&追尾」を「OFF」にしてください。
- 「フェイスキャッチ&追尾」を「ON」にしているとき、シャッタースピードは1/30秒以上*に設定されます。
 - * メニューの「フレームレート」を「23.98P」にしているときは、1/24秒以上。
- 被写体の特徴的な部分(色など)をタッチすると追尾しやすくなります。なお、タッチした被写体と特徴が似ている被写体が周囲にあると、別の被写体を追尾することがあります。そのときは、もう一度被写体をタッチしてください。

顔が検出されない主な例

- 顔が画面全体に対して、極端に小さいまたは大きい、暗いまたは明るいとき。
- 顔が横や斜めを向いていたり、顔の一部が隠れたりしているとき。

フェイスキャッチ&追尾、フェイスオンリー AFが使用できない場合

- FUNC.メニューの撮影モードを「夜景」、「ローライト」、「打上げ花火」に設定しているとき。
- シャッタースピードを1/30秒未満*にしているとき。
 - * メニューの「フレームレート」を「23.98P」にしているときは、1/24秒未満。
- デジタルズームで80倍を超えて拡大しているとき。

タッチ追尾が働かない場合

- 被写体が大きすぎるとき。
- 被写体が画面上で非常に小さいとき。
- 被写体と背景が似ているとき。
- 被写体のコントラストがないとき。
- 高速で動く被写体を撮影するとき。
- 暗い室内などで撮影するとき。

拡大して撮る

CAMERA MEDIA

ズーム

ズームは、フォーカス／ズームリング、グリップズーム、ハンドルズーム*1、画面上のズームボタン、またはリモコンで操作します。光学ズームで20倍まで拡大でき、デジタルズーム*2を使うと400倍まで拡大できます (□ 207)。

*1 別売のハンドルユニット装着時のみ

*2 デジタルズームは **AUTO** (オート) モードやメニューの「コンバージョンレンズ」で「WA-H58」を設定しているときは使えません。

動画形式 **AVCHD MP4**

カメラモード **AUTO M CINEMA**

■ フォーカス／ズームリングで操作する



1 フォーカス／ズームリング切り換えスイッチをZOOM(ズーム)にする



2 フォーカス／ズームリングを回して調整する

- ズームスピードは、フォーカス／ズームリングをゆっくり回すと低速になり、早く回すと高速になります。
- ズーム操作を行うと、ズーム位置の目安となるズームバーが画面に表示されます。

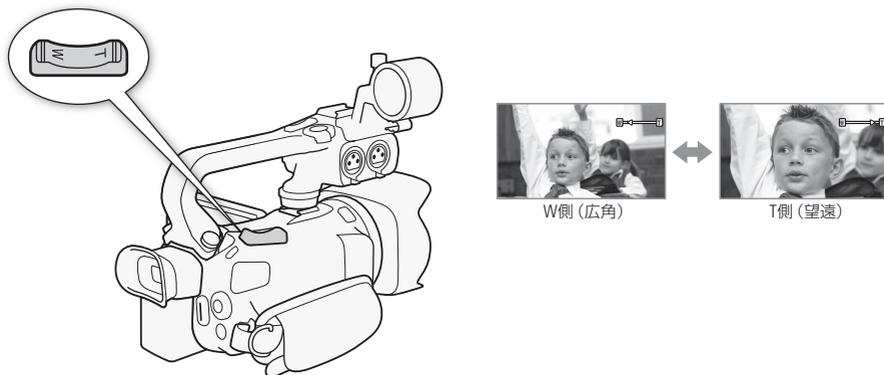


MEMO

フォーカス／ズームリングをすばやく操作すると、レンズの移動が追いつかなくなることがあります。このとき、フォーカス／ズームリングの操作終了より遅れてレンズの移動が完了します。

■ グリップズーム／ハンドルズーム／リモコンのズームで操作する

グリップズームで操作する



広角にするときは**W**（ワイド）側を押し、望遠にするときは**T**（テレ）側を押します。グリップズームの押しかた（操作量）に応じてズーム速度が変わる「可変速」と、一定の速度でズームする「固定速」とを切り換えることができ、ズームスピードは「ズームスピードレベル」との組み合わせで決まります。ズームスピードレベルを「ハイ」にすると、ズーム音が大きくなることもあり、ズーム音が記録されることがあります。

グリップズーム操作のズームスピードを設定する

グリップズーム スピードの設定	Constantスピード の設定（16段階）	ズームスピードレベルの設定とワイド端→テレ端の時間		
		ロー	ミドル	ハイ
VAR （可変速）	ズームの押しかたによって可変	約4.0秒～約4分45秒	約2.5秒～約3分	約1.9秒*～約1分
CONST （固定速）	速度1（最低速）	約4分45秒	約3分	約1分
	速度16（最高速）	約4.0秒	約2.5秒	約1.9秒*

* ズームスピードが約1.9秒のときは、ズーム中にオートフォーカスが合いにくくなることがあります。

FUNC.

1 タッチする

MENU



2 ズームスピードレベルを設定する

- ① **MENU** (メニュー) をタッチする。
- ② 上下にドラッグして「ズームスピードレベル」をタッチする。
- ③ 「**ハイ**」、「**ミドル**」、「**ロー**」のいずれかをタッチする。
- ④ **戻る** をタッチする。



3 **VAR** (可変速) または **CONST** (固定速) を設定する

- ① 上下にドラッグして「グリップズームスピード」をタッチする。
- ② **VAR** または **CONST** をタッチする。

4 **CONST** (固定速) の場合 ズームの速度を設定する

- ① **下** または **上** をタッチして設定する。
 - メーターを左右にドラッグして選ぶこともできる。
- ② **×** をタッチする。



MEMO

「ハイスピードズーム」(71)を「入」にすると、撮影一時停止状態でのズームは、「ハイ」になります。(ただし、「ズームスピード」を「可変速」に設定したときのみ)。また撮影一時停止中にプレREC(120)を「ON」に設定していると「ズームスピードレベル」で選んだ速度になります。

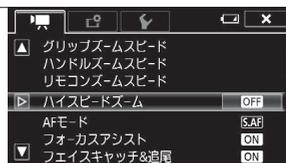
ハイスピードズーム

撮影一時停止中のズームスピードレベルを「ハイ」にする機能。グリップズームスピードが「可変速」のときに有効です。撮影中は「ズームスピードレベル」で選んだ速度になります。

FUNC. 1 タッチする

MENU 2 ハイスピードズームを選ぶ

- ① **MENU** (メニュー) → 「ハイスピードズーム」をタッチする。
- ② ハイスピードズームを使うとき「**ON** (入)」を選ぶ。
- ③ **↶** をタッチする。

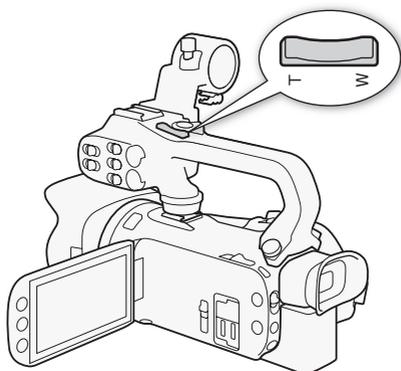


× 3 タッチする



MEMO 外部マイクを使って撮影するとき、ズーム音が記録されることがあります。

ハンドルズームで操作する



広角にするときは**W** (ワイド側) を押し、望遠にするときは**T** (テレ側) を押します。ズームのしかたは「固定速」で、ズームスピードは「ズームスピードレベル」との組み合わせで決まります。ハンドルズームを使用するときは、あらかじめハンドルユニットHDU-1(別売)を取り付けてください(□ 24)。

ハンドルズーム操作のズームスピードを設定する

	Constantスピードの設定 (16段階)	ズームスピードレベルの設定とワイド端→テレ端の時間		
		ロー	ミドル	ハイ
CONST (固定速)	速度1(最低速)	約4分45秒	約3分	約1分
	速度16(最高速)	約4.0秒	約2.5秒	約1.9秒*

* ズームスピードが約1.9秒のときは、ズーム中にオートフォーカスが合いにくくなる場合があります。

リモコンで操作する

付属のリモコンの場合、リモコンのZOOMボタン(□ 18)で操作します。ズームのしかたは「固定速」です。

リモコン操作のズームスピードを設定する

付属のリモコンのズームスピードを切り換えるときは、次の設定を行います。

リモコンズームスピードの設定	ズームスピードレベルの設定とワイド端→テレ端の時間		
	ロー	ミドル	ハイ
速度1(最低速)	約4分45秒	約3分	約1分
速度16(最高速)	約4.0秒	約2.5秒	約1.9秒*

* ズームスピードが約1.9秒のときは、ズーム中にオートフォーカスが合いにくくなることがあります。

FUNC. 1 タッチする

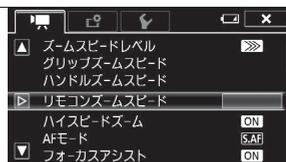
MENU 2 ズームスピードレベルを設定する



- ① [MENU] (メニュー) をタッチする。
- ② 上下にドラッグして「ズームスピードレベル」をタッチする。
- ③ 「ハイ」、「ミドル」、「ロー」のいずれかをタッチする。
- ④ ②のアイコンをタッチする。

3 ズームの速度を設定する

- ① 上下にドラッグして「リモコンズームスピード」をタッチする。
- ② [下向き矢印] または [上向き矢印] をタッチして設定する。
 - メーターを左右にドラッグして選ぶこともできる。
- ③ [X] をタッチする。



■ ズームの操作を滑らかにする (ソフトズームコントロール)

ズームスタート時の加速、ズームストップ時の減速を緩やかにします。

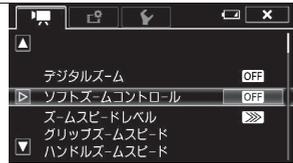
FUNC.

1 タッチする

MENU

2 設定を選ぶ

- ① **MENU** (メニュー) をタッチする。
- ② 上下にドラッグして、「ソフトズームコントロール」をタッチする。
- ③ いずれかをタッチする。



START (スタート)	スタート時のみ有効にする
STOP (ストップ)	ストップ時のみ有効にする
START STOP (スタート&ストップ)	スタート/ストップ時有効にする

×

3 タッチする

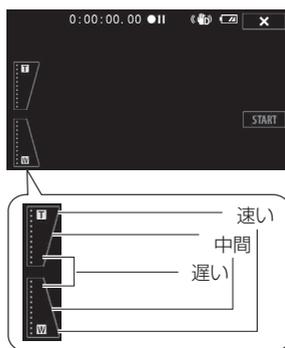
■ 画面のズームボタンで操作する

FUNC.

1 タッチする

2 ズームを選ぶ

- ① 上下にドラッグして、「ZOOM」(ズーム)をタッチする。
 - ズーム画面が出る。
- ② 画面上のズームボタン「**T**」または「**W**」をタッチして、ズーム操作をする。



- ズームのスピードは、タッチする場所によって、「速い」、「中間」、「遅い」を選べる。

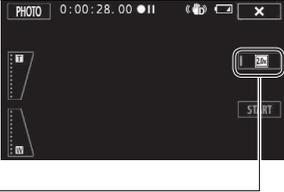
×

3 タッチする

■ 画面中央を拡大して撮る（デジタルテレコン）

ズーム画面で **ZOOM** をタッチすると、焦点距離を2倍にして撮影できます。

動画形式 **AVCHD MP4** カメラモード **AUTO M CINEMA**

<p>FUNC.</p>	<p>1 タッチする</p>	
<p>MENU</p> <p>X</p> <p>ZOOM</p>	<p>2 デジタルテレコンを選ぶ</p> <ol style="list-style-type: none"> ① MENU（メニュー）をタッチする。 ② 「デジタルズーム」をタッチする。 ③ 「ZOOM デジタルテレコン」をタッチする。 ④ Xをタッチする。 	
<p>FUNC.</p>	<p>3 タッチする</p>	
<p>ZOOM</p>	<p>4 デジタルテレコンを有効にする</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 上下にドラッグして、「ZOOM」（ズーム）をタッチする。 ② ZOOM（デジタルテレコン）をタッチする。 <ul style="list-style-type: none"> ● 画面の中央が拡大される。 <p>解除するとき もう一度 ZOOM をタッチする。</p>	
<p>X</p>	<p>5 タッチする</p>	



MEMO

- 別売のテレコンバーターをあわせて使用すると、さらに拡大した映像を記録できます。
- 撮影中や、メニューの「コンバージョンレンズ」で「WA-H58」を選択しているときは設定できません。
- 映像をデジタル処理するため、ズーム全域で映像が粗くなります。

手ブレをおさえて撮る

CAMERA MEDIA

手ブレ補正

手ブレの少ない安定した映像を撮影できます。撮影のしかたによって補正方式を選べます。

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC.

1 タッチする



2 手ブレ補正を選ぶ

- ① 上下にドラッグして、 (手ブレ補正) をタッチする。
- ② いずれかをタッチする。



ダイナミック

歩きながら撮影するときなどの大きな手ブレを補正。ズームを広角側にするほど効果が大きい。

スタンダード

静止して手持ちで撮影するときなどの比較的小さな手ブレを補正。自然な映像が撮影できる。

切

三脚などを使って撮影するとき。

×

3 タッチする

撮
影



MEMO 「ダイナミック」設定時と「スタンダード」「切」設定時とでは、ワイド端での撮影画角が変わります。

POINT 望遠撮影時の大きな手ブレをおさえる (パワードIS)

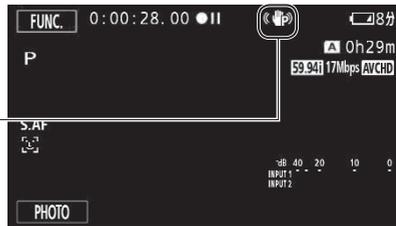
パワードISを使うと、手ブレ補正を強化することができます。静止して撮影するときに、ズームを望遠側にするほど効果的です。画面に左手をそえると、より安定して撮影できます。

パワードISを使うときは、アサインボタン (□ 129) に「パワードIS」を割り当てて操作します。

「パワードIS」を割り当てたアサインボタン*を押し続ける。

- 押し続けている間、画面にが出る。

* 「パワードIS」を割り当てたアサインボタンの操作のしかたは、メニューの「パワードISボタン」で選べます (□ 215)。



MEMO

- 手ブレが大きすぎると、補正しきれないことがあります。
- カメラを左右や上下に動かして撮るときは、手ブレ補正を「ダイナミック」または「スタンダード」にすることをおすすめします。
- 手ブレ補正を「切」に設定している場合でも、「パワードIS」を割り当てたアサインボタン (□ 129) の操作によりパワードISは有効になります。

ゲインリミットを調整する

CAMERA MEDIA

AGCリミット

被写体の明るさに応じて映像アンプのゲインの上限を設定できます。

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC.

1 タッチする

AGC
M

2 AGCリミットを選ぶ

AGC (AGCリミット) → M (マニュアル) をタッチする。

- MがONになり、メーターが出る。



3 感度の上限を選ぶ



◀ または ▶ をタッチして、感度を選ぶ。

- メーターを左右にドラッグして選ぶこともできる。
- 数値を小さくする程、感度の上限が低くなる。

感度の上限を解除するとき

A (オート) をタッチする。



×

4 タッチする



MEMO AGCリミットが使用できない場合

- 撮影モードが「マニュアル露出」または「SCN」のとき
- 露出がM (マニュアル) のとき (□ 83)。
- 赤外撮影を設定しているとき (□ 122)。
- AGCリミット設定中は、画面に感度の上限値 (dB) が出ます。
- CUSTOMダイヤル&ボタンにAGC (AGCリミット) を割り当てると、CUSTOM (カスタム) ダイヤルでAGCリミット値を調整できます (□ 126)。

動きの速いものを撮る／背景をぼかして撮る

CAMERA MEDIA

シャッタースピード／しぼり

シャッタースピードが速いと、動きの速い被写体を一瞬でとらえ、遅いと水の流れるような流動感を表現できます。しぼり数値が小さい（開く）と背景をぼかしたポートレートが、しぼり数値が大きい（閉じる）と風景の近くから遠くまでボケを少なくして撮影できます。

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC.

1 タッチする

P

2 撮影モードを選ぶ

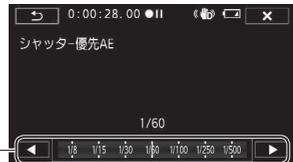
- ① P (撮影モード) をタッチする。
- ② いずれかをタッチする。



- P** (プログラムAE) : シャッタースピードとしぼりが自動設定になる。
Tv (シャッター優先AE) : シャッタースピードを自分で選ぶ。しぼりは自動設定になる。
Av (絞り優先AE) : しぼりを自分で選ぶ。シャッタースピードは自動設定になる。

オートエクスポージャー AEはAutoExposure (自動露出)、タイム バリュー TvはTime value (時間量)、アパーチャー バリュー AvはAperture value (開口量)の略です。

- ③ ◀または▶をタッチして、好みの数値を選ぶ。
 - メーターを左右にドラッグして選ぶこともできる。



×

3 タッチする

POINT

シャッタースピードを選ぶときの目安

例 画面に「Tv30」と出ているときは、シャッタースピードが「1/30秒」であることを表します。

こんなときに使います	
1/8、1/15、1/30秒	少し暗い場所で、被写体を明るく撮影するとき。 水の流れなどの流動感を撮影するとき。
1/60秒	一般的な撮影のとき。
1/100秒	屋内でスポーツをしている人を撮影するとき。
1/250、1/500、1/1000秒	動きの速い乗り物を撮影するとき。
1/2000秒	晴天下でスポーツをしている人を撮影するとき。

メニューの「フレームレート」(□□ 56)を「23.98P」に設定しているときのシャッタースピードは、1/6、1/12、1/24、1/48、1/60、1/100、1/250、1/500、1/1000、1/2000秒です。



MEMO

Tvのとき

- 暗いところでスローシャッターを使うと、明るく撮影できますが、通常の撮影に比べて画質が多少劣化したり、ピントが自動では合いにくいことがあります。
- 高速シャッターでは、映像がちらついて、なめらかに見えないことがあります。
- 蛍光灯下で動画を撮影する場合、画面のちらつきがとれないときは、**Tv**を選んでから1/100秒を選んでください。

Avのとき

- しぼり数値
F1.8、F2.0、F2.2、F2.4、F2.6、F2.8、F3.2、F3.4、F3.7、F4.0、F4.4、F4.8、F5.2、F5.6、F6.2、F6.7、F7.3、F8.0
(F4.0でNDフィルターの表示が出ます。使用するNDフィルターを選択できます)(□□ 207)。
- 設定できる数値は、ズームの位置によって変わります。
- 数値が点滅するときは、明るさが適正ではありません。点滅しなくなるまで、シャッタースピード／しぼりを調整してください。
- 撮影モードが**Tv**または**Av**のとき、露出を手動で調整してから、シャッタースピードやしぼりを変更することはできません。あらかじめシャッタースピードやしぼりを設定してから、露出を調整してください。
- CUSTOMダイヤル&ボタンに $\frac{1}{x}$ (**Tv/Av**)を割り当てると、CUSTOM(カスタム)ダイヤルでシャッタースピードまたはしぼりを調整できます(□□ 126)。

マニュアルで明るさを調整する

CAMERA MEDIA

マニュアル露出

しぼり、シャッタースピード、ゲインの3種類を自由に設定できます。設定するときにゼブラパターン(□ 86)を表示すると便利です。

強制逆光補正機能(□ 85)も同時に使用できます。

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC.

1 タッチする

M



2 マニュアル露出を選ぶ

- ① P(撮影モード)をタッチする。
- ② 「M(マニュアル露出)」をタッチする。
- ③ しぼり、シャッタースピード、ゲインの項目を選択する。
- ④ ◀または▶をタッチして好みの数値を選ぶ。
 - メーターを左右にドラッグして選ぶこともできる。



×

3 タッチする



MEMO

CUSTOMダイヤル&ボタンに**M**(マニュアル露出)を割り当てるとCUSTOM(カスタム)ボタンでしぼり、シャッタースピード、ゲインの項目移動、CUSTOM(カスタム)ダイヤルで選んだ項目の数値を調整できます(□ 126)。

明るさを調整する

CAMERA MEDIA

露出

逆光のときに被写体が黒くなったり、強い光が当たったときに白くとんでしまうことがあります。このようなときは明るさ（露出）の調整をします。なお、撮影モードを「打上げ花火」や「マニュアル露出」*に設定しているときや、赤外線撮影（□ 122）を設定しているときは、使用できません。

*「強制逆光補正」や「ゼブラパターン」は「マニュアル露出」設定時でも使用できます。

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

撮
影

FUNC. 1 タッチする



2 露出を選ぶ

- ① （露出）をタッチする。



3 露出を調整する

- ① 画面上の、露出を合わせたい被写体をタッチする。
- タッチした場所に☆が点滅して、明るさが自動で調整され、露出が固定される。
 - **M** ボタンがONになり、メーターが出る。
- ② さらに調整するときは、◀または▶をタッチして、好みの数値を選ぶ。
- メーターを左右にドラッグして選ぶこともできる。
 - 調整後の明るさで固定される。
 - 明るさによっては数値がグレーになり、調整可能な範囲が変わる。
 - ①の操作のかわりに**M**ボタンをタッチして、メーターで調整することもできる。



自動の露出調整に戻すとき

Mをタッチする。



4 タッチする

- 露出固定中は、画面にと露出の調整値が出る。



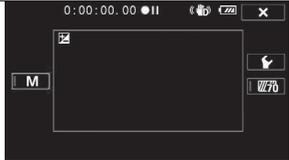
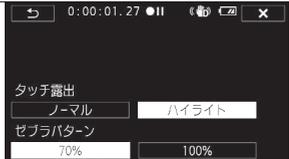
MEMO

- 露出を手動で調整後、POWER(電源スイッチ)、カメラモード切り換えスイッチ、撮影モードを操作すると、自動調整に戻ります。
- CUSTOMダイヤル&ボタンに（露出）を割り当てると、CUSTOM(カスタム)ダイヤルで露出値を調整できます(□ 126)。

■ 明るい部分にタッチして明るさを補正する（ハイライトAE）

画面の中の明るい部分（ハイライト）にタッチして、露出を補正できます。タッチした部分が明るくなりすぎないように補正するので、白い雲などでも白とびしない範囲で明るく撮影できます。なお、タッチした部分が暗いときや、極端に明るいときは適切な補正にならないことがあります。

動画形式 AVCHD MP4 カメラモード (AUTO) M CINEMA

	1 露出を選ぶ 83ページの操作2までを行う。	
☞	2 タッチする	
↶	3 ハイライトを選ぶ 「ハイライト」→↶をタッチする。	
↶	4 露出を調整する 83ページの操作3を行う。 ハイライトを使わないとき 操作3で「ノーマル」をタッチする。	
×	5 タッチする	

■ 強制逆光補正

強制逆光補正を使うと、露出とガンマを変更し、暗い部分を明るくします。

動画形式 AVCHD MP4 カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC. 1 タッチする



2 逆光補正を選ぶ

- ① * (強制逆光補正) をタッチする。
- ② 「ON」をタッチする。
 - 「OFF」をタッチするまで、逆光に適した露出になる。



3 タッチする



MEMO 自動逆光補正

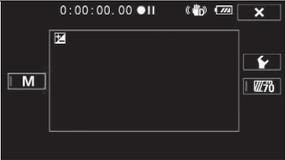
逆光になっていることを検知して自動的に補正し、被写体を明るく撮影できます。光の状態が変わる場合に便利です。メニューで「切」にすることもできます (P.205)。

- アサインボタンに「強制逆光補正」を割り当てると、アサインボタンを押して「強制逆光補正」のON/OFFを切り換えられます (P.129)。

■ 明るさの目安を表示する（ゼブラパターン）

ゼブラパターンを使うと映像の明るい部分に縞模様が表示されます。「100%」では白とびするような明るさのとき、「70%」ではそれに近い明るさのときに縞模様が表示されます。明るさのバランスを確認したいときに使うと安心です。

動画形式 AVCHD MP4 カメラモード AUTO M CINEMA

	<p>1 露出を選ぶ</p> <p>83ページの操作2までを行う。</p>	
<p>☑</p>	<p>2 タッチする</p>	
<p>↶</p>	<p>3 ゼブラパターンを選ぶ</p> <p>① 「70%」または「100%」のいずれかをタッチする。</p> <p>② ↶をタッチする。</p>	
<p> </p>	<p>4 ゼブラパターンを表示する</p> <p>①  または  のいずれかをタッチする。</p> <p>② ↶をタッチする。</p> <p>ゼブラパターンの表示を使わないとき もう一度  または  をタッチする。</p>	
<p>✕</p>	<p>5 タッチする</p>	



MEMO ゼブラパターンを表示しても、記録される映像に影響はありません。

色合いを調整する

CAMERA MEDIA

ホワイトバランス

太陽光や蛍光灯など周りの光によって、白い壁や白い紙などはオレンジっぽくなったり、青っぽくなったりします。撮影時の光に応じて「白いものを白く」写すように色を調整できます。撮影モードが**P**、**Tv**、**Av**、**M**のときに調整できます。

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC.

1 タッチする

WB

2 ホワイトバランスを選ぶ

- ① WB (ホワイトバランス) をタッチする。
- ② いずれかをタッチする。
 - 撮影する環境に合わせて目的のホワイトバランスを選ぶ。



AWB オート

通常はAWB (オート) * を選択。自動的に自然な色合いに調整される。

☀ 太陽光

晴天の屋外で撮影するときに選択。

☖ 日陰

日陰で撮影するときに選択。

☁ くもり

曇天時に撮影するときに選択。

☾ 蛍光灯

昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ (3波長型) の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。

☾ 蛍光灯H

昼光色蛍光灯、昼光色タイプ (3波長型) の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。

💡 電球

電球や電球色タイプ (3波長型) の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。

K 色温度

2000K ~ 15000Kの範囲で色温度を設定する。

📄1 セット1 📄2 セット2

実際に白い紙などを写して設定し、設定値を「セット1」または「セット2」として登録する。

オート ホワイト バランス
* AWBはAuto White Balanceの略です。

K (色温度) を選んだとき

- ③ ◀または▶をタッチして色温度を調整する。
 - メーターを左右にドラッグして選ぶこともできる。

📄1 (セット1) または 📄2 (セット2) を選んだとき

- ③ 白紙、白布を画面いっぱい写真。
- ④ 「白取り込み」をタッチする。
 - 📄 (セット) が点滅→消灯に変わったら調整完了。調整されたホワイトバランスは電源を切っても記憶されている。

× 3 タッチする



MEMO

- 1(セット1)または 2(セット2)を選んで調整するとき
 - メニューの「デジタルズーム」を「切」にしてください(□□ 207)。
 - 場所や明るさが変わったときは再調整してください。
 - 光によっては、ごくまれに 1(セット1) が点滅→消灯に変わらないことがあります。自動調整よりも適切なホワイトバランスに調整されていますのでそのままお使いください。

AWB(オート)でうまくいかないとき

次のような条件で撮影するとき、画面の色が不自然であれば 1(セット1) または 2(セット2) で調整をしてください。

- 照明条件が急に変わる場所での撮影。
- クローズアップ撮影。
- 空や海、森など単一色しか持たない被写体の撮影。
- 水銀灯や一部の蛍光灯、LED照明のもとでの撮影。
- 蛍光灯の種類によっては、1(蛍光灯)や2(蛍光灯H)を選んで色合いが最適に調整されることがあります。画面で色が不自然に見えるときは、AWB(オート)または 1(セット1) または 2(セット2)を選んでください。

場面や目的に合わせて撮る

CAMERA MEDIA

SCN(シーン)モード

照り返しの強いスキー場や、海に沈む夕日、夜空を彩る打上げ花火など、場所や被写体に合わせてきれいに撮影します。

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC. 1 タッチする

P

2 撮影モードを選ぶ

- ① P(撮影モード)→ (ポートレート)をタッチする。
- ② いずれかをタッチする。



POINT

シーンモードで選べる項目

ポートレート

背景をぼかして、被写体を引き立たせる。



スポーツ

動きの速い被写体を撮る。



夜景

夜景をきれいに撮る。



スノー

照り返しの強いスキー場で被写体が暗くなるのを防ぐ。



ビーチ

照り返しの強い海岸で被写体が暗くなるのを防ぐ。



夕焼け

夕焼けを色鮮やかに撮る。



ローライト

暗い場所で被写体を明るく撮る。



スポットライト

スポットライトが当たった被写体をきれいに撮る。



打上げ花火

打上げ花火をきれいに撮る。





MEMO

- ポートレート、スポーツ、スノー、ビーチの各モードで撮影した映像を再生すると、なめらかに見えなかったり、ちらつくことがあります。
- ポートレートのときにズームを**T**側にすると、より効果的に背景がぼけます。
- スノー/ビーチのとき、曇りや日陰など周囲が暗いときには、被写体が明るくなりすぎることがあります。画面で映像をご確認ください。

ローライトについて

- 動きのある被写体は、残像が目立つ映像になることがあります。
 - 明るく撮影できる分、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
 - 画面に白い点などが出る場合があります。
 - 自動でピントが合いにくいときは、ピントを調整してください(□ 60)。
- 打上げ花火を使うときは、手ブレを防ぐために、三脚をお使いになることをおすすめします。

好みの画質にする

CAMERA MEDIA

ピクチャー設定

色の濃さ、シャープネス、コントラスト、明るさを調整して撮影することができます。撮影モードが**P**、**Tv**、**Av**、**M**のときに設定できます。赤外線撮影 (☐ 122) を設定しているときは使用できません。

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC.

1 タッチする



2 目的のピクチャー設定を選んで、調整する

- ① 上下にドラッグして OFF (ピクチャー設定) → 「ON」をタッチする。
- ② いずれかの調整項目をタッチする。
- ③ ◀または▶をタッチして調整する。



色の濃さ : -2(薄い) ~+2(濃い)
シャープネス : -2(弱い) ~+2(強い)
コントラスト : -2(弱い) ~+2(強い)
明るさ : -2(暗い) ~+2(明るい)

- メーターを左右にドラッグして調整することもできる。

ピクチャー設定を行わないとき

- ①で「OFF」をタッチする。

×

3 タッチする

- ピクチャー設定をONにすると、画面に **Ac** が出る。



MEMO 撮影モードが**M**のときや、露出が**M**のときは、「明るさ」を設定できません。

タイムコードを設定する

CAMERA MEDIA

動画形式 AVCHD MP4 カメラモード AUTO M CINEMA

撮影時に内蔵のタイムコードジェネレーターでタイムコードを生成できます。生成したタイムコードは、映像とともにカードに記録されるほか、HD/SD-SDI端子 (XA25) HDMI OUT端子に出力される映像にも表示されます。また、HDMI OUT端子に対して、タイムコードを出力させるか、メニューで切り換えることができます (□ 215)。

タイムコードのカウントアップ方式には次の3種類があります。また、ドロップフレームとノンドロップフレームを選択できます。

Rec Run(レックラン)： タイムコードは記録時に歩進する。タイムコードの初期値は任意に設定可能。カードに記録している間、タイムコードは記録したシーンの順で連続する。

Free Run(フリーラン)： タイムコードは、記録状態に関係なく常に歩進する。初期値は任意に設定可能。

Regen.(リジェネ)： タイムコードは記録時に歩進する。カードに記録されている最後のタイムコードを読み出し、その続きから歩進する。カードに記録している間、タイムコードは記録したシーンの順で連続する。

■ カウントアップ方式を選ぶ

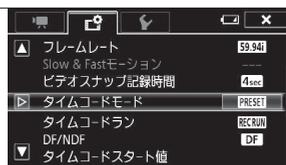
カウントアップ方式は、歩進モード(タイムコードモード)で「Preset」または「Regen.」を選びます。「Preset」を選んだときは、歩進方法(タイムコードラン)で「Rec Run」または「Free Run」を選び、任意の初期値を設定します。

1 FUNC. タッチする

2 MENU 歩進モードを選ぶ



- ① [MENU] (メニュー) → [FUNC.] をタッチする。
- ② 上下にドラッグして「タイムコードモード」をタッチする。
- ③ [PRESET] Preset または [REGEN] Regen. → [右向き矢印] をタッチする。
Preset：「タイムコードスタート値」で設定した任意のタイムコードから歩進する。
Regen.：カードに記録されている最後のタイムコードの続きから歩進する。
 - 「Regen.」を選んだときは、以降の操作は不要。
✕ をタッチする。



3 「Preset」を選んだ場合 歩進方法を選ぶ

- ① 「タイムコードラン」をタッチする。
- ② [RECRUN] Rec Run または [FREERUN] Free Run → [右向き矢印] をタッチする。

4 「Preset」を選んだ場合 任意の初期値を設定する

- ① 「タイムコードスタート値」をタッチする。
 - タイムコードの設定画面が表示され、「時」の桁が選択される。
 - 「リセット」をタッチすると、タイムコードが「00:00:00.00」にリセットされる。「Free Run」を選んでいるときは、リセット後のタイムコードから歩進を続ける。
 - 設定を途中で中止するときは「キャンセル」をタッチする。
- ② ▲/▼をタッチして数値を選ぶ。
- ③ ②の操作を繰り返して、「分」、「秒」、「フレーム」の数値を選ぶ→「OK」をタッチする。
 - 「Free Run」を選んでいるときは、この時点で設定値のタイムコードから歩進する。



■ ドロップ／ノンドロップフレームを切り換える

ドロップフレーム (DF) またはノンドロップフレーム (NDF) を切り換えられます。なお、「フレームレート」が「23.98P」ときはNDFに固定されます。

FUNC. 1 タッチする

MENU 2 DFまたはNDFを選ぶ

- ① [MENU] (メニュー) → [] をタッチする。
- ② 上下にドラッグして「DF/NDF」をタッチする。
- ③ 「DF」または「NDF」→ [] をタッチする。
 - DFとNDFで画面上のタイムコード表示が次のように異なる。

DFのとき 00:00:00.00

NDFのとき 00:00:00:00



MEMO

- タイムコードのフレームカウントは、「フレームレート」が「23.98P」のときは0～23、それ以外は0～29となります。
- 「プレ記録」のときは「Free Run」固定となり、カウントアップ方式は設定できません。
- ドロップフレーム、ノンドロップフレームを混在させて録画すると、撮影開始時のタイムコードが不連続になることがあります。
- 内蔵2次電池が充電されていれば、バッテリーなどの電源がなくても、フリーランタイムコードは歩進します。ただし、電源ON時に比べて精度が低下します。

ユーザービットを設定する

CAMERA MEDIA

動画形式 AVCHD MP4 カメラモード AUTO M CINEMA

8桁の16進数(0～9、A～Fの英数字)をユーザービットとして設定し、映像と一緒にカードに記録できます。ユーザービットには撮影情報や記録した映像の管理情報など、映像に付加したい情報を自由に設定することができます。

■ 任意の16進数を設定する

FUNC.

1 タッチする

MENU

2 16進数を設定する



- ① [MENU] (メニュー) → [カメラメニュー] をタッチする。
- ② 上下にドラッグして「ユーザービットタイプ」→「設定」をタッチする。
 - ユーザービットの設定画面が表示され、一番左の桁が選択される。
 - 「リセット」をタッチすると、ユーザービットが「00 00 00 00」にリセットされる。
 - 設定を途中で中止するときは「キャンセル」をタッチする。
- ③ ▲/▼をタッチして数値を選ぶ。
- ④ ③の操作を繰り返して、残りの桁の数値を選ぶ → 「OK」をタッチする。



■ 時刻または日付を設定する

FUNC.

1 タッチする

MENU

2 「時刻」または「日付」を選ぶ



- ① [MENU] (メニュー) → [カメラメニュー] をタッチする。
- ② 上下にドラッグして「ユーザービットタイプ」→「時刻」または「日付」をタッチする。



■ ユーザービットを出力する

設定したユーザービットをHD/SD-SDI端子 (**X125**) HDMI OUT端子から出力します。フレームレートが「23.98P」の場合、「ユーザービット出力モード」を「プルダウン」にすると、ユーザービットが2：3プルダウン情報になります。



MEMO

MEDIAモードで、MP4形式の動画を再生しているとき、HD/SD-SDI OUT / HDMI OUT端子に重畳されるユーザービットは固定値0が出力されます。

音声を記録する

CAMERA MEDIA

本機では、収録する音声は、内蔵マイク、外部マイク入力（Φ3.5mmマイク／INPUT端子*）、外部ライン入力（INPUT端子*）から選択できます。INPUT端子のとき、INPUT 1／INPUT 2の音声入力方法はそれぞれ個別に選択できます。

AVCHD形式の場合、録画モード（□ 52）を「28 Mbps LPCM (59.94P)」または「24 Mbps LPCM」で設定すると、2チャンネルのリニアPCM記録方式で音声を記録／再生できます。サンプリング周波数は48kHzです。

* ハンドルユニットHDU-1(別売)装着時のみ

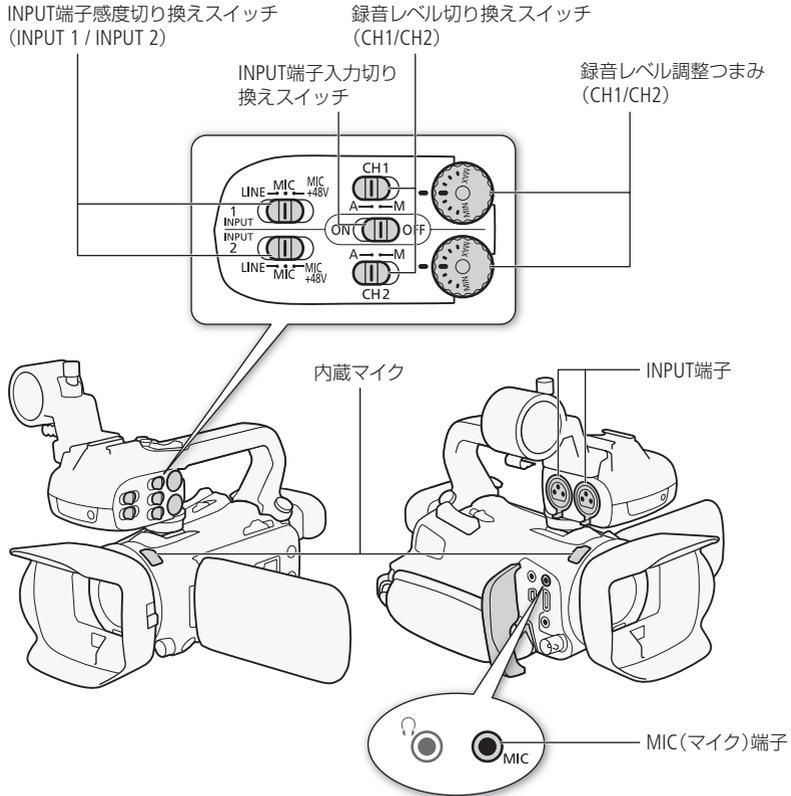
動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

音声入力一覧

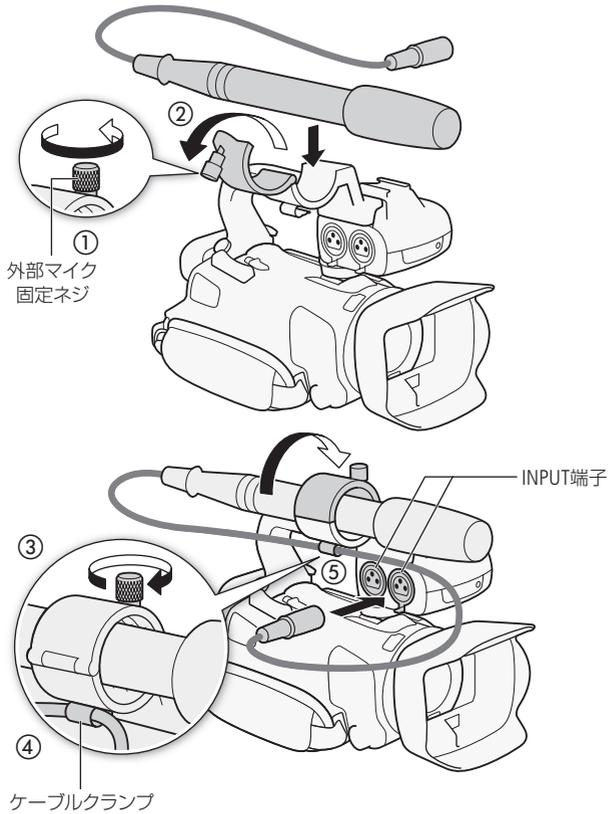
音声は、ハンドルのあり/なし、INPUT端子入力切り換えスイッチのON/OFF、MIC(マイク)端子接続のあり/なしの設定によって以下のように記録されます。CH2への記録については「CH2を選択する」(□ 111)をご覧ください。

ハンドル	INPUT端子入力切り換えスイッチ	MIC端子接続	CH1の記録内容
あり	ON	あり	INPUT 1入力音声
		なし	INPUT 1入力音声
	OFF	あり	MIC端子
		なし	内蔵マイク音声
なし	—	あり	MIC端子
		なし	内蔵マイク音声



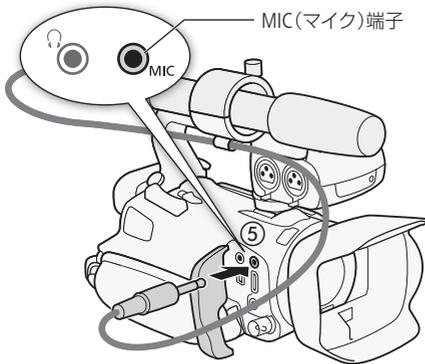
■ 外部マイク／外部ライン入力を本機に接続する

マイクホルダーやINPUT端子を使用するときは、ハンドルユニットHDU-1(別売)を取り付けてください(□ 24)。



1 **マイクするとき** 外部マイク固定ねじをゆるめ(①)、外部マイクホルダーを開く(②)

2 **マイクするとき** 外部マイクを取り付けて固定し(③)、ケーブルをクランプにとめる(④)



- 3 外部マイク／外部ライン入力機器のケーブルを本機に接続する (⑤)

■ 内蔵マイク／外部マイク (Φ3.5mm)の音声を選択する



別売のハンドルユニットを装着したまま内蔵マイク／外部マイク (Φ3.5mm) で音声を収録するときは、INPUT端子入力切り換えスイッチをOFFにする。

- Φ3.5mmマイク端子にマイクを接続すると、内蔵マイクからΦ3.5mmマイクへ自動的に切り換わる。

■ 場面に合わせて音の設定を選択する（オーディオシーン）

内蔵マイクの音質を撮影場面に合わせて選べます。音にこだわった臨場感あふれるシーンが簡単に撮影できます。

動画形式 AVCHD MP4 カメラモード **AUTO** M CINEMA

FUNC.

1 タッチする

2 オーディオシーンを選ぶ

- ① 上下にドラッグして、**AUDIO**（オーディオシーン）をタッチする。
- ② いずれかをタッチする。———
 - 撮影する場面に合わせて録音設定を選ぶ。



STD スタンダード	カメラまかせの標準的な設定で録音するとき。
MUSIC 音楽	音楽の演奏や歌声を豊かに録音。屋内での演奏や歌声を撮影するとき。
VOICE スピーチ	声の集音力を高めて録音。スピーチをしている人などを撮影するとき。
NATURE 森と野鳥	自然の音の広がり感を鮮明に録音。森や野鳥を撮影するとき。
NOISE CUT ノイズカット	風切音や自動車の走行音を低減して録音。風の強い海辺や騒音の多い所で撮影するとき。
CUSTOM カスタム*	音質を自由に設定するとき。

*「カスタム」のときは、FUNC.メニューの「マイクレベル」(102)、メニューの「内蔵マイクウィンドカット」(104)、「内蔵マイクアッテネーター」(105)、「内蔵マイク周波数特性」、「内蔵マイク指向性」で音質を細かく設定できます。**AUTO**（オート）モードのときは設定できません。「カスタム」に設定したあと、**AUTO**（オート）モードに切り換えると、「スタンダード」に戻ります。

× 3 タッチする

POINT

オーディオシーンの各設定一覧

	スタン ダード 	音楽 	スピーチ 	森と野鳥 	ノイズ カット 	カスタム 
マイクレベル	マニュアル 70	マニュアル 70	マニュアル 86	マニュアル 80	マニュアル 70	オート/ マニュアル
内蔵マイク ウィンドカット	オートハイ	オートロー	オートハイ	オートハイ	オートハイ	オートハイ/ オートロー/ 切
内蔵マイク アッテネー ター	オート	オート	オート	オート	オート	オート/ 入/ 切
内蔵マイク 指向性切替	ノーマル	ワイド	モノラル	ワイド	モノラル	モノラル/ ノーマル/ ワイド/ ズーム
内蔵マイク 周波数特性	ノーマル	低高域強調	中域強調	低域カット	低域カット	ノーマル/ 低域強調/ 低域カット/ 中域強調/ 低高域強調

■ 内蔵マイク／外部マイク（Φ3.5mm）の録音レベルを調整する

内蔵マイクや外部マイク（Φ3.5mm）の録音時の音量（マイクレベル）を手動で調整できます。「オーディオシーン」であらかじめ「カスタム」を設定してください（□ 100）。

動画形式 AVCHD MP4 カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC.	1 タッチする
M	<p>2 マイクレベルを選ぶ</p> <p>上下にドラッグして、（マイクレベル）→M（マニュアル）をタッチする。</p> <ul style="list-style-type: none">● レベルメーターと調整用の◀/▶が出る。 <p>自動調整に戻るとき</p> <p>A（オート）をタッチする。</p>
◀▶	<p>3 マイクレベルを調整する</p> <p>◀または▶をタッチして調整する。</p> <ul style="list-style-type: none">● レベルメーターの表示が18dB（20dBのひとつ右隣）より右が時々点灯する状態を目安に調整することをおすすめします。
✕	<p>4 タッチする</p> <ul style="list-style-type: none">● 調整した位置で録音レベルが固定される。



POINT 自動調整のときにレベルメーターを表示する

レベルメーターを常に表示して、録音時の音量を確認することができます。

- ① **A**（オート）をタッチする。
- ② 「レベルメーター」をタッチする。
 - レベルメーターが出る。
- ③ **✕**をタッチする。





MEMO

- レベルメーターの「0」の位置が赤く表示されているときは、音がひずむことがあります。
- マイクレベルを調整したり、「内蔵マイクアッテネーター」を「入」に設定しているときは、ヘッドホンで音量を確認することをおすすめします(□ 115)。

■ 内蔵マイクウィンドカットを使う

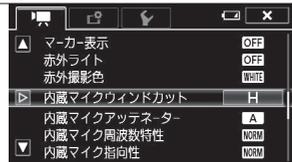
屋外で撮影するときに風の影響を受けて発生する、「ボコボコ」というノイズ音を自動的に低減します。なお、その際、風の音と一緒に低音の一部も低減されますので、風の影響を受けない場所で撮影するときや、低音まで収録するときは、「切」を選びます。「オーディオシーン」であらかじめ「カスタム」を設定してください(100)。

動画形式 AVCHD MP4 カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC. 1 タッチする

MENU 2 オートウィンドカットを選ぶ

- ① **MENU** (メニュー) → 「内蔵マイクウィンドカット」をタッチする。
- ② 「**H** オートハイ」または「**L** オートロー 



× 3 タッチする

■ 内蔵マイクのアッテネーターを使う

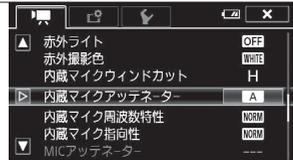
内蔵マイクの信号に対しアッテネータ (12dB)を使用します。「オーディオシーン」であらかじめ「カスタム」を設定してください (P.100)。

動画形式 AVCHD MP4 カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC. 1 タッチする

MENU 2 内蔵マイクアッテネーターを選ぶ

- ① **MENU** (メニュー) → 「内蔵マイクアッテネーター」をタッチする。
- ② いずれかをタッチする。



- A** (オート) カメラがマイク音量に合わせて、アッテネーターを自動的に入/切します。大音量はひずまない音量に、大音量以外は最適な音量で記録できる。
- ON** (入) アッテネーターが常に働き、音の強弱をより忠実に記録できます。「入」にすると画面に **ATT** が出る。
- OFF** (切)

× 3 タッチする

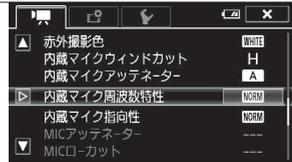
■ 内蔵マイクの周波数特性を変える

収録する音に合わせて最適特性で録音できます。「オーディオシーン」であらかじめ「カスタム」を設定してください(□ 100)。

動画形式 AVCHD MP4 カメラモード (AUTO) M CINEMA

FUNC. 1 タッチする

MENU 2 内蔵マイク周波数特性を選ぶ
MENU (メニュー) → 「内蔵マイク周波数特性」をタッチする。



3 周波数特性を選ぶ

上下にドラッグしていずれかの周波数特性をタッチする。

- | | | |
|-------------|-------|---------------------------------|
| NORM | ノーマル | 最も使用頻度が高く、バランスのとれた録音ができる。 |
| LB | 低域強調 | 低域を強調し、迫力ある録音ができる。 |
| LC | 低域カット | 風雑音や自動車走行音などの低域の環境音を低減する。 |
| MB | 中域強調 | 人の声を中心に録音する。 |
| LHB | 低高域強調 | コンサートなど音楽を録音するときに、音のメリハリを向上させる。 |

× 4 タッチする

■ 内蔵マイクの指向性を切り換える

内蔵マイクの指向性を切り換えることで、正面の音に重点をおいて周囲のノイズを少なくしたり、音の広がりを強調したりすることができます。「オーディオシーン」であらかじめ「カスタム」を設定してください (□ 100)。

動画形式 AVCHD MP4 カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC. 1 タッチする

MENU 2 内蔵マイク指向性を選ぶ

[MENU] (メニュー) → 「内蔵マイク指向性」をタッチする。



3 指向性を選ぶ

いずれかの指向性をタッチする。

MONO モノラル マイク正面の音声を重点的に記録するモノラル録音。

NORM ノーマル ワイドとモノラルの中間。標準的な2ch録音。

WIDE ワイド 音の広がりを強調した2ch録音。臨場感を出したいときに。

z60M ズーム 2ch録音。録音時の音量がズームに連動するので、離れた被写体を拡大して撮ると、音量も大きくなる。

× 4 タッチする

■ 外部マイク (Φ3.5mm)のアッテネーターを使う

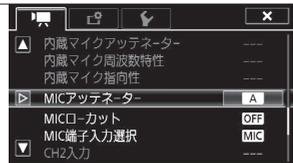
MIC端子の信号に対しアッテネーター (20dB)を使用します。

動画形式 AVCHD MP4 カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC. 1 タッチする

MENU 2 MICアッテネーターを選ぶ

- ① **MENU** (メニュー) → 「MICアッテネーター」をタッチする。
- ② いずれかをタッチする。



- A** (オート) カメラがマイク音量に合わせて、アッテネーターを自動的に入/切します。大音量はひずまない音量に、大音量以外は最適な音量で記録できる。
- ON** (入) アッテネーターが常に動き、音の強弱をより忠実に記録できます。「入」にすると画面に **ATT** が出る。
- OFF** (切)

× 3 タッチする

■ MICローカットを使う

MIC端子の信号に適用する低周波数のカットオフ特性を変更します。

動画形式 **AVCHD MP4** カメラモード **AUTO M CINEMA**

FUNC. 1 タッチする

MENU 2 MICローカットを選ぶ

- ① **MENU** (メニュー) → 「MICローカット」をタッチする。
- ② 「ON」または「OFF」をタッチする。



× 3 タッチする

MIC端子入力選択

動画形式 **AVCHD MP4** カメラモード **AUTO M CINEMA**

MIC端子に入力する信号を選択します。オーディオプレーヤーなどの外部機器か市販の外部マイクかを選択します。

FUNC.

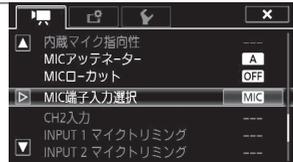
1 タッチする

MENU



2 MIC端子の入力音声種別を切り換える

- ① **MENU** (メニュー) → 「MIC端子入力選択」をタッチする。
- ② 接続した機器に応じて、いずれかをタッチ → をタッチする。



LINE 外部音源 オーディオプレーヤーなどの外部機器を使用するとき。

MIC マイク 市販の外部マイクを使用するとき。

- ワイヤレスマイクロホンWM-V1を取り付けている場合、この操作は不要。

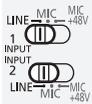
■ 外部マイク (INPUT端子) / 外部ライン入力 (INPUT端子)の音声を選択する

外部マイクまたは外部ライン入力を選ぶ

1 INPUT端子入力切り換えスイッチをONにする



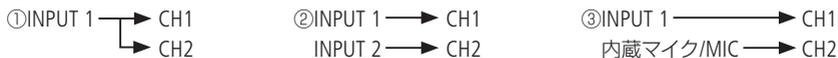
2 INPUT端子感度切り換えスイッチのINPUT 1/INPUT 2をLINE (ライン) またはMIC (マイク) にする



- ファンタム電源が必要なマイクを使うときはMIC+48Vに切り換える。ファンタム電源をONにするときはマイクを接続してから行い、OFFにするときは接続したまま行う。

CH2を選択する

チャンネル2に記録する入力信号はメニューで「INPUT 1」「INPUT 2」「内蔵マイク/MIC」から選べます。入力する信号の組み合わせは以下の3種類です。



①と③では、CH1のバックアップ用としてCH2を使用できます。

FUNC. **1** タッチする

MENU **2** チャンネル2の音声を選ぶ

- ① **MENU** (メニュー) → 「CH2入力」をタッチする。
- ② 「INPUT 1」「INPUT 2」または「内蔵マイク / MIC」のいずれかをタッチする。



× **3** タッチする

MEMO

- CH2に「INPUT1」を選んだときのCH2に記録される音声は、CH2の設定(オート/マニュアル)、録音レベル)が適用されます。
- 「内蔵マイク/MIC」を選んだとき、音声はモノラルで記録されます。内蔵マイクの場合は「オーディオシーン」の「スタンダード」設定となります。

■ INPUT端子の録音レベルを調整する

INPUT端子の録音レベルはチャンネルごとにオート/マニュアルを個別に設定できます。

オートで調整する



録音レベル切り換えスイッチをA (オート) にすると、そのチャンネルの録音レベルがオートになり、自動調整されます。

INPUT端子のCH1とCH2の録音レベル調整を連動させる

INPUT端子のCH1/CH2が同じ音声入力 (外部ライン入力または外部マイク) に設定されている場合、録音レベルをオートに設定すると、CH1とCH2のレベル調整を連動させることができます。

「」→「INPUT 1/2 ALCリンク」(□ 208)で設定します。

マニュアルで調整する

CH1/CH2の録音レベルをそれぞれ個別に手動調整できます。調整は $-\infty$ ~ +18 dBの範囲で行うことができます。



1 録音レベル切り換えスイッチをM(マニュアル)にする

2 録音レベル調整つまみを回して、調整する

- つまみのMIN($-\infty$) ~中央の調整位置 (0dB) ~ MAX(+18 dB)の範囲で録音レベルを調整する。
- レベルメーターの表示が18dB (20dBのひとつ右隣)より右が時々点灯する状態を目安に調整することをおすすめします。



MEMO

- レベルメーターの「0」の位置が赤く表示されているときは、音がひずむことがあります。
- レベルメーターが適切に表示されているのに音がひずむときは、INPUT端子に接続した機器ではメニューで「INPUT1 (2) マイクアッテネーター」を「入」にしてください(□□ 114)。
- 録音レベルを調整したり、「INPUT1 (2) マイクアッテネーター」を「入」に設定したりしているときは、ヘッドホンで音量を確認することをおすすめします(□□ 115)。

音声信号レベルを制限する

過大な音声入力によるひずみを防止するために、音声信号レベルを制限することができます。録音レベルをマニュアルで調整するときに、入力レベルが-6 dBFSを超えると自動的に信号レベルを制限してひずみを防止します。CH1とCH2のいずれかがマニュアルレベル調整のときに設定できます。設定は、 → 「INPUT 1/2 リミッター」(□□ 208)で行います。

■ 外部マイク (INPUT端子)の入力感度を調整する

INPUT 1またはINPUT2の入力感度を調整します。INPUT端子感度切り換えスイッチがMICまたはMIC+48Vのとき、使用できます。

FUNC.

1 タッチする

MENU

2 「INPUT 1 マイクトリミング」または「INPUT 2マイクトリミング」を選ぶ

- ① (メニュー) → 「INPUT 1 マイクトリミング」または「INPUT 2マイクトリミング」をタッチする。
- ② 「+12 dB」、「+6 dB」「0 dB」「-6 dB」「-12 dB」のいずれかをタッチする。



×

3 タッチする

■ 外部マイク (INPUT端子)のアッテネーターを使う

INPUT 1またはINPUT2の信号に対し、アッテネーター (20dB) を使用します。INPUT端子感度切り換えスイッチがMICまたはMIC+48Vのとき、使用できます。

FUNC. 1 タッチする

MENU 2 「INPUT 1 マイクアッテネーター」または「INPUT 2マイクアッテネーター」を選ぶ

- ① **MENU** (メニュー) → 「INPUT 1 マイクアッテネーター」または「INPUT 2マイクアッテネーター」をタッチする。
- ② 「**ON** (入)」をタッチする。
 - マイク信号は20dB減衰する。



× 3 タッチする

ヘッドホンを使う

CAMERA MEDIA

撮影時や再生時にヘッドホンで音声を聞くことができます。

■ ヘッドホンで音声を聞きながら撮影／再生する

ヘッドホン（ヘッドホン）端子に接続して、ヘッドホンで撮影や再生される音声をモニターできます。

撮
影

動画形式 AVCHD MP4 カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC.

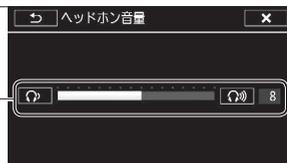
1 タッチする

- MEDIAモードのときは、この操作は不要。



2 ヘッドホン音量を調整する

- ① [MENU] (メニュー) → [右矢印] をタッチする。
- ② 上下にドラッグして、「ヘッドホン音量」をタッチする。
- ③ [ヘッドホン音量] または [ヘッドホン音量] をタッチして調整する。
 - メーターを左右にドラッグしても調整できる。



×

3 タッチする

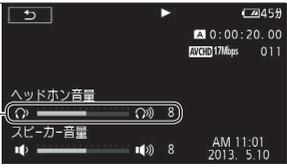
- 調整した位置で音量が固定される。

再生中にヘッドホン音量を調整する

CAMERA MEDIA

1 再生中 音量を調整する

- ① 画面上をタッチして、操作ボタンを出す。
- ②  をタッチする。
- ③ ヘッドホン音量の  または  をタッチして音量を調整する。



 **ご注意**  ヘッドホンを使うときは、音量を一度下げてください。

 **MEMO** モニターする際、音声を映像に同期させるか、リアルタイムの音声をモニターするかを「」→「モニターディレイ」で設定できます。なお、リアルタイムの音声をモニターすると、映像と音声に少しズレが生じます。記録される映像と音声は、設定にかかわらず同期されます (□ 149)。

カラーバー／テストトーンを記録する

CAMERA MEDIA

カラーバー&テストトーン

テレビや外部モニターの色や明るさの調整用に、カラーバーを出力／記録することができます。また同時に1kHzのテストトーンを出力／記録することもできます。カラーバーとテストトーンは次の端子にも出力されます。

	カラーバー	1 kHzテストトーン
AV OUT端子	●	●
HDMI OUT端子	●	●
X425 HD/SD-SDI端子	●	●
Ω(ヘッドホン)端子	—	●

撮
影

動画形式 **AVCHD MP4**

カメラモード **AUTO M CINEMA**

■ カラーバーを記録する

出力／記録するカラーバーは、SMPTE準拠とARIB準拠のいずれかを選べます。

FUNC. 1 タッチする

MENU 2 カラーバーを選ぶ



- ① **MENU** (メニュー) → **FUNC.** をタッチする。
- ② 上下にドラッグして、「カラーバー」をタッチする。
- ③ 「SMPTE」または「ARIB」をタッチする。
 - 画面にカラーバーが表示される。



× 3 タッチする

- START/STOPボタンを押して撮影を開始すると、カラーバーを記録できる。

■ テストトーンを記録する

カラーバーとともに1 kHzのテストトーンを出力／記録することができます。本機を他機につないで再生する場合、本機のテストトーンを使って接続した機器のレベルを調整することができます。テストトーンのレベルは、接続する機器に合わせて、「-12dB」、「-18dB」、「-20dB」から選べます。

<p>FUNC.</p>	<p>1 タッチする</p>	
<p>MENU</p> <p></p>	<p>2 レベルを選ぶ</p> <p>① MENU (メニュー) →  をタッチする。</p> <p>② 上下にドラッグして「1 kHzテストトーン」をタッチする。</p> <p>③ 「-12dB」、「-18dB」、「-20dB」OFF 切のいずれかを選ぶ。</p>	
<p>×</p>	<p>3 タッチする</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 選択したレベルのテストトーンが出力される。 ● START/STOPボタンを押して撮影を開始すると、カラーバーとテストトーンを記録できる。 	

ビデオスナップを撮る

CAMERA MEDIA

ビデオスナップモードを使って撮影すると、4秒間の短い映像（ビデオスナップ）が記録できます。ビデオスナップはアサインボタン（ 129）に「ビデオスナップ」を割り当てて操作します。

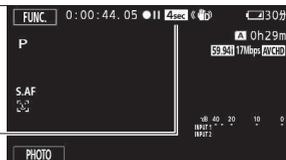
動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

1 アサインボタンに「ビデオスナップ」を割り当てる（ 129）

2 アサインボタンを押す

- ① 「ビデオスナップ」を割り当てたアサインボタンを押す。
 - 「ビデオスナップ記録時間」アイコンが表示される。



START/
STOP

3 押す

- 約4秒間撮影し、自動的に撮影が一時停止する。
- 記録後、シャッターを切ったときのように画面が一度黒くなる。



MEMO

- メニューの「ビデオスナップ記録時間」（ 210）で記録時間を変更できます。
- 以下の場合、ビデオスナップモードは解除されます。
 - POWER（電源）スイッチやカメラモード切り換えスイッチを操作したとき。
 - 動画形式（AVCHD/MP4）やフレームレートを切り換えたとき。

撮影チャンスを見逃さない

CAMERA MEDIA

PRE REC(プレREC)

3秒前からの映像を自動的に記録できます。

初期設定では、アサインボタン2(□ 14、129)に「PRE REC」が割り当てられていますので、PRE RECを使うときは、このボタンを押して操作します。

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

PRE REC



1 PRE RECボタンを押す

① 画面にが出る。

解除するとき

もう一度PRE RECボタンを押す。



START/
STOP

2 押す

- ボタンを押す3秒前からの映像が記録される。



MEMO

PRE RECの設定直後や撮影終了後から約3秒以内に撮影を始めると、3秒前からの映像は記録されません。

PRE RECが解除される場合

- PRE RECを設定した後、約1時間操作しなかったとき。
- カメラモードスイッチを操作したとき。
- ビデオスナップモードを「ON」にしたとき。
- FUNC.メニューの次のボタンをタッチしたとき。
「メニュー」、「撮影モード」、「ホワイトバランス」、「AGCリミット」、「オーディオシーン」、「手ブレ補正」

画面の表示を切り換える

CAMERA MEDIA

画面に表示する撮影情報などを切り換えられます。

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA



押す

- 表示される撮影情報は、押すたびに切り換わる。

表示される内容や切り換わりかた

動画撮影中	すべて表示 → (マーカ表示) *1 → 表示なし
動画再生中*2 静止画再生中*2	メニューの「データコード表示」の設定情報を表示 → すべて表示

*1 メニューで「マーカ表示」を設定しているときのみ表示される。

*2 DISP.ボタンを押したり、画面をタッチしたりすると、設定内容にかかわらず操作ボタンが出る。

データコードとは？

日時やカメラデータ(シャッタースピードやしぼり)などの撮影情報を「データコード」といいます。データコードはメニューの「データコード表示」で切り換えられます(□ 209)。

赤外線撮影 (INFRARED) を行う

CAMERA MEDIA

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

INFRAREDスイッチをONにすると、赤外線撮影ができます。撮影時は、赤外線撮影色（高輝度部分色）を白と緑から選択できます。また、赤外線ライトを発光できます。赤外線ライトは、メニューの「赤外線ライト」または、アサインボタン (□ 129) に「赤外線ライト」を割り当ててON/OFFを操作します。赤外線ライトを使用するときは、ハンドルユニットHDU-1(別売)を取り付けてください (□ 24)。

赤外線撮影を設定する

	1 赤外線撮影を設定する <ul style="list-style-type: none">● INFRARED切り換えスイッチをONにする。
FUNC.	2 タッチする
MENU	3 赤外線撮影色を設定する <ol style="list-style-type: none">① MENU (メニュー) → 上下にドラッグして「赤外線撮影色」をタッチする。② 「WHITE 白」または「GREEN 緑」のいずれかを選ぶ。 
×	4 タッチする

MEMO

● INFRAREDスイッチをONにすると、ゲイン、シャッタースピード、絞りはおートに、フォーカスはAFになります*。また、AGCLリミット、ホワイトバランス、ピクチャー設定、露出、自動逆光補正、強制逆光補正、撮影モード、フェイスキャッチ&追尾、ハイスピードAF、ミディアムスピードAFは設定できません。NDフィルターは退避状態で固定になります。

* 赤外線撮影設定中にAF/MFを切り換えられます。

- 光源の種類によっては、ズーム中にオートフォーカスが合いにくくなる場合があります。
- 赤外線撮影時は近赤外線光の感度を大幅にアップしているため、赤外線撮影に切り換えるときには、強い光や熱源をレンズに向けしないでください。強い光や熱源が被写体内にある状態で赤外線撮影に切り換えるときは、レンズを遮光した状態での切り換えを推奨します。

別売アクセサリーを使う

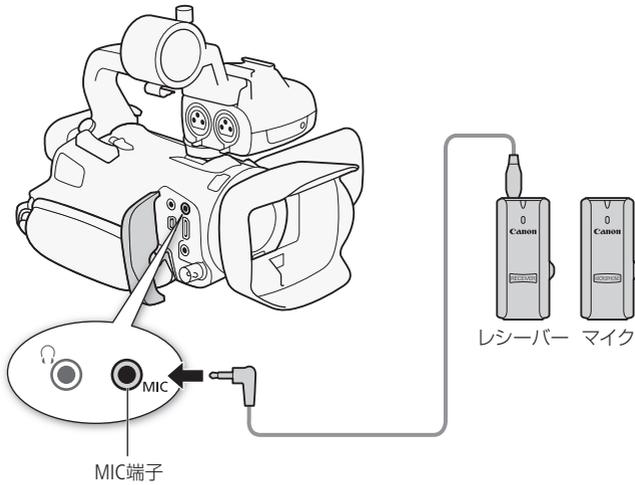
CAMERA MEDIA

■ ワイヤレスマイクロホンWM-V1(別売)を使う

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード **AUTO** M CINEMA

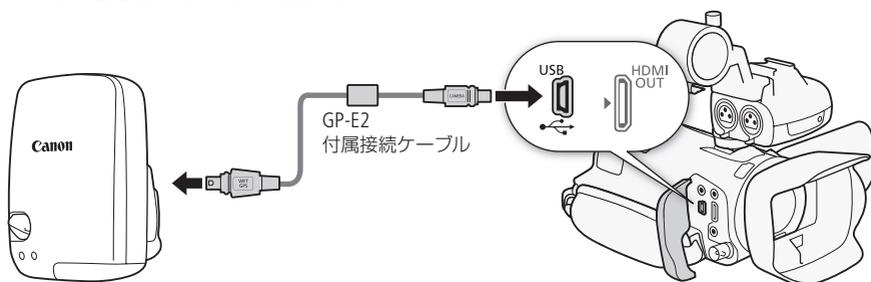
ワイヤレスマイクロホンWM-V1を使用すると、内蔵マイクではとらえられない離れた場所の音声を記録することができます。WM-V1の取り付けかたや操作については、WM-V1の使用説明書をご覧ください。



■ GPSレシーバー GP-E2を使う

動画形式 **AVCHD MP4** カメラモード **AUTO M CINEMA**

本機とGPSレシーバー GP-E2 (別売) を接続して使用すると、GPS情報を取得して、本機で記録した動画や静止画にGPS情報を付加することができます。GP-E2の取り付けかたや操作についてはGPSレシーバー GP-E2の説明書も合わせてご覧ください。



本機とGPSレシーバー GP-E2を接続するときは、GP-E2付属のケーブルで接続してください。なお、GP-E2を本機に取り付けるときは、グリップベルトへの取り付け、またはGP-E2付属の携帯用ケースに入れて、腰への取り付けをおすすめします。

！ ご注意 ● 国や地域によっては、GPSの使用などが規制されていることがありますので、お使いになる際は国や地域の法令等の規制にしたがってください。旅行など、国外で使用するときは特に注意してください。

- 電子機器の使用が制限されている場所での使用には十分注意してください。
- GPS機能を使って撮影した静止画や動画に記録されるカメラの位置情報は、個人を特定する情報が含まれていることがあります。そのためGPS機能を使ってカメラの位置情報が記録されている静止画、動画、GPSログファイルを他人に渡したり、インターネットなどの複数の人が閲覧できる環境へ掲載したりするときは、十分注意してください。
- 電源を入れ換えたときや、長時間電源スイッチを切ったときは、GPS衛星からの信号を受信するのに時間がかかることがあります。
- 本製品を磁石やモーターなどの強力な磁気を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。

MEMO

- 本機では、GP-E2の機能、「自動時刻設定」の「今すぐ実行」、「位置情報の更新間隔」、方位情報(電子コンパス)には対応していません。
- GPS自動時刻設定の「自動更新」は、GP-E2と接続するときに一度だけ時刻設定を行います。動画撮影中と、Wi-Fi Remote (□ 176) が「ON」のときは、時刻設定を行いません。
- あとからフォト (□ 138) で切りとった静止画やMP4形式に変換した動画 (□ 164) にはGPS情報は付加できません。
- AVCHD動画に付加されたGPS情報は、本機および本機付属のソフトウェアでは削除することができません。

4 カスタマイズ

よく使う機能を設定する..... 126

アサインボタンの機能を変更する... 129

メニューデータの保存と読み出し... 131

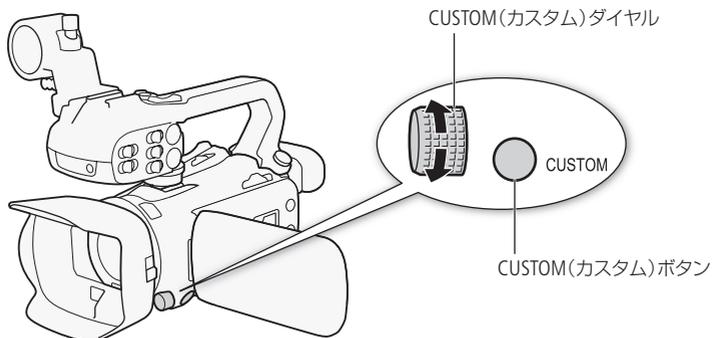
よく使う機能を設定する

CAMERA MEDIA

CUSTOMダイヤル&ボタン

よく使う機能を選んで設定しておくことで、その機能を簡単に切り換えられます。割り当てる機能はメニューまたは専用メニューで設定します。

動画形式 AVCHD MP4 カメラモード AUTO M CINEMA



機能を割り当てる

メニューで割り当てる

FUNC. 1 タッチする

MENU 2 機能を選ぶ



- ① **MENU** (メニュー) → をタッチする。
- ② 上下にドラッグして、「CUSTOMダイヤル&ボタン」をタッチする。
- ③ いずれかをタッチする。

設定した機能を解除するとき

- ③で **OFF** (切) をタッチする。
- ④ **X** をタッチする。



3 機能を調整する

操作2の③で選んだ項目によって以下の操作を行う。

「Tv/Av」を選んだとき

- ① 撮影モードを**Tv**または**Av**にする (☐ 80)。
- ② CUSTOM(カスタム)ダイヤルを回してシャッタースピードまたはしぼり値を調整する。

「マニュアル露出」を選んだとき

- ① 撮影モードを**M**にする (☐ 82)。
- CUSTOM(カスタム)ボタンを押すたび、項目が移動する。
- ② CUSTOM(カスタム)ダイヤルを回して選んだ項目の数値を調整する。

「AGCリミット」を選んだとき

- ① CUSTOM(カスタム)ボタンを押してAGCリミット値を表示させる (☐ 79)。
- ② CUSTOM(カスタム)ダイヤルを回してAGCリミット値を調整する。

「露出」を選んだとき

- ① CUSTOM(カスタム)ボタンを押して☑(露出)を表示させる (☐ 83)。
- ② CUSTOM(カスタム)ダイヤルを回して露出値を調整する。
- 調整を止めるときは、もう一度CUSTOM(カスタム)ボタンを押す。

専用メニューで設定する



1 長押しする

- ① CUSTOM(カスタム)ボタンを長押しする (約1秒)。



2 機能を設定する

- ① CUSTOM(カスタム)ダイヤルを回して、いずれかの機能を選ぶ。
- ② CUSTOM(カスタム)ボタンを押す。



設定した機能を解除するとき

- ① で **OFF** を選択する。



3 機能を調整する

127ページの手順3を行う。



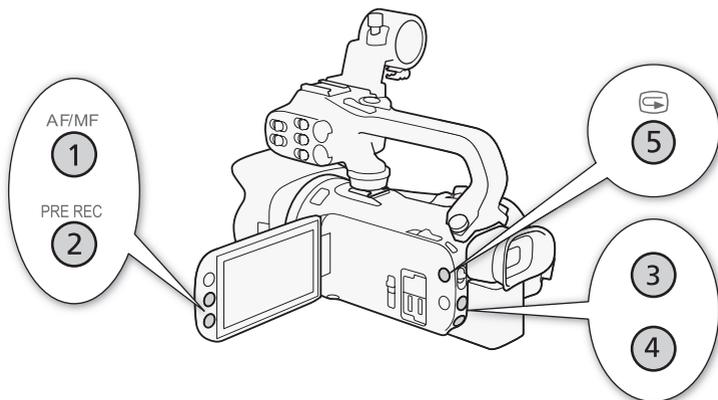
■ CUSTOM(カスタム)ボタン / CUSTOM(カスタム)ダイヤルの操作

設定	CUSTOM(カスタム)ボタン	CUSTOM(カスタム)ダイヤル
TV/AV	—	シャッタースピード/しぼり値の調整
M マニュアル露出	しぼり、シャッタースピード、ゲインの項目移動	CUSTOM(カスタム)ボタンで選んだ項目の値を調整
AGCリミット	ON/OFF	AGCリミット値の調整
<input checked="" type="checkbox"/> 露出	ON/OFF	露出値の調整

アサインボタンの機能を変更する

CAMERA MEDIA

本機には5個のアサインボタンがありますので、使用頻度の高い機能を割り当てて、より使いやすくカスタマイズすることができます。



アサインボタンの番号とボタン名、初期設定は次のとおりです。

ボタン名	初期設定
アサインボタン1	AF/MF AF/MF
アサインボタン2	PRE REC プレREC
アサインボタン3	—
アサインボタン4	—
アサインボタン5	REVIEW レックレビュー

アサインボタンには次の機能を割り当てることができます。

機能名	内容
IS パワードIS*1	パワードISのON/OFFを切り換える。
★ 強制逆光補正*1	強制逆光補正のON/OFFを切り換える。
AF フェイスオンリー AF*1	フェイスオンリー AFのON/OFFを切り換える。
SNAP ビデオスナップ	ビデオスナップのON/OFFを切り換える。
WB 優先WB*1	優先ホワイトバランスのON/OFFを切り換える。
PRE REC	PRE RECのON/OFFを切り換える。
★ 赤外ライト*2	INFRAREDモード時、赤外ライトのON/OFFを切り換える。
CH/CH オーディオ出力CH*2	CH1/CH2、CH1/CH1、CH2/CH2、All/Allを切り換える。
AF/MF AF/MF*1	AF(オートフォーカス)とMF(マニュアルフォーカス)を切り換える。
REVIEW レックレビュー	直前に撮ったシーンを再生する。
FUNC. 撮影モード*1	[FUNC.]メニューの「撮影モード」を表示する。
FUNC. 強制逆光補正*1	[FUNC.]メニューの「強制逆光補正」を表示する。
FUNC. ホワイトバランス*1	[FUNC.]メニューの「ホワイトバランス」を表示する。

機能名	内容
FUNC. AGCリミット*1	[FUNC.]メニューの「AGCリミット」を表示する。
FUNC. フォーカス*1	[FUNC.]メニューの「フォーカス」を表示する。
FUNC. 露出*1	[FUNC.]メニューの「露出」を表示する。
FUNC. オーディオシーン	[FUNC.]メニューの「オーディオシーン」を表示する。
FUNC. マイクレベル*1	[FUNC.]メニューの「マイクレベル」を表示する。
FUNC. ズーム	[FUNC.]メニューの「ズーム」を表示する。
FUNC. 手ブレ補正*1	[FUNC.]メニューの「手ブレ補正」を表示する。
FUNC. ピクチャー設定*1	[FUNC.]メニューの「ピクチャー設定」を表示する。
FUNC. Wi-Fi Remote	[FUNC.]メニューの「Wi-Fi Remote」を表示する。
OFF 切	機能割り当てなし。

*1 **M**(マニュアル)モードまたは**CINEMA**(シネマ)モードでアサインボタンに設定後、**AUTO**(オート)モードに切り換えると、操作できません。

*2 使用するときには、ハンドルユニットHDU-1(別売)を取り付けてください(□24)。

機能を変更する

例：アサインボタン1にフェイスオンリー AFを割り当てる場合

FUNC.	1 タッチする	
MENU [MENU]	2 フェイスオンリー AFを選ぶ	
[F]	<ol style="list-style-type: none"> ① [MENU](メニュー)→[F]をタッチする。 ② 上下にドラッグして、「アサインボタン1」をタッチする。 ③ ▲/▼をタッチして「[F]フェイスオンリー AF」をタッチする。 	
X	3 タッチする	
	アサインボタンを使う	
	必要となときに、機能を割り当てたアサインボタンを押して使用する。	

メニューデータの保存と読み出し

CAMERA MEDIA

FUNC. メニュー、メニュー、シネマルックフィルター (□ 58)で行った各種の設定情報をメニューデータ (設定データ) としてカードに保存することができます。メニューデータ (設定データ) は必要に応じて本機に読み出して再利用できます。複数のカメラを同じ設定にするときに便利です。

動画形式 AVCHD MP4 カメラモード AUTO M CINEMA

■ メニューデータをカードに保存する



1 カードスロット **B** に保存先となるカードを入れる

FUNC.

2 タッチする

MENU



3 メニュー設定保存 **B** を選ぶ

- ① **MENU** (メニュー) → をタッチする。
- ② 上下にドラッグして、「メニュー設定保存 **B**」をタッチする。
- ③ 「保存」→ 「はい」をタッチする。
 - 現在のメニュー設定が、カードに保存される。
- ④ 「OK」をタッチする。



×

4 タッチする

■ メニューデータをカードから読み込む

カードに保存されている設定データを読み込んで本機に設定します。

	<p>1 カードスロット B に読み込み元となるカードを入れる</p>
<p>FUNC.</p>	<p>2 タッチする</p>
<p>MENU</p> 	<p>3 メニュー設定保存 B を選ぶ</p> <ol style="list-style-type: none"> ① MENU (メニュー) →  をタッチする。 ② 上下にドラッグして、「メニュー設定保存 B」をタッチする。 ③ 「読み込み」 → 「はい」をタッチする。 <ul style="list-style-type: none"> ● カードから読み込んだメニュー設定の内容に設定される。 ● 設定データが本機に読み込まれたあと、画面が一度消え、本機が再起動する（メニュー画面は閉じます）。



MEMO

設定データは、XA20とXA25の間で相互に読み込んで使用できます。一度読み込むと、共通のメニュー設定はすべて変更され、共通でないメニュー設定については、初期設定に戻ります。

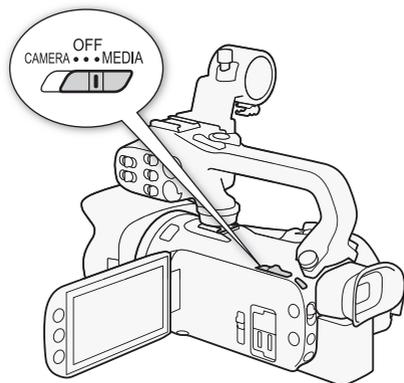
再生／編集

シーンを再生する	134
シーンを消す	139
シーンを分割する	141

シーンを再生する

CAMERA MEDIA

ここでは、撮影した映像（シーン）の再生について説明します。外部のモニターに接続して再生するときは、「接続」をご覧ください（[□ 144](#)）。



■ 再生する

↑ POWER(電源)スイッチを「MEDIA」にする

- インデックス画面が表示される。

2 インデックス画面で見たいシーンを探す



カードと動画形式を切り換えるとき



- ① **A AVCHD** をタッチする。
- ② タッチして、カードAとカードBを切り換える。
- ③ タッチして、**AVCHD** (AVCHD形式)と**MP4** (MP4形式)を切り換える。

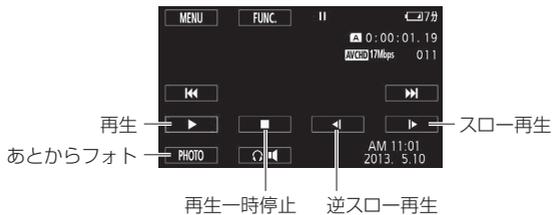
3 シーンをタッチする ▶ 再生開始

- タッチしたシーンの再生が終わると、インデックス画面の最後のシーンまで自動的に再生される。
- 画面上をタッチすると、操作ボタンが出る。操作しないと数秒で消える（再生中のみ）。もう一度タッチしても消える。

再生中の操作



再生一時停止中の操作

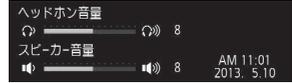


* MP4形式の動画のときは記録が開始された日付が表示されます。

ボタン	操作
◀◀ (早戻し) ▶▶ (早送り)	操作するたびに再生速度が5倍→15倍→60倍に切り換わる。早送り/早戻し中、音声は出ない。
◀◀ (前へスキップ)	現在のシーンの先頭から再生する。連続して2回タッチすると、前のシーンの先頭から再生する。
▶▶ (次へスキップ)	次のシーンの先頭から再生する。
◀ (逆スロー再生) ▶ (スロー再生)	操作するたびに再生速度が1/8倍→1/4倍に切り換わる。スロー再生/逆スロー再生中、音声は出ない。

音量を調整する

- 再生中に画面をタッチ→「」をタッチする。
ヘッドホン音量とスピーカー音量の調整バーが出る。
- 調整バーの左右のマークをタッチするか、バー上を左右にドラッグして調節する→をタッチする。



シーン情報を表示する

シーン情報を表示することができます。

- AVCHD形式またはMP4形式の動画インデックス画面でをタッチする。
- シーンをタッチする。
- を2回タッチする。



- 別売のGP-E2を使って撮影した場合はGPS情報も表示されます。



ご注意

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
 - カードカバーを開けない。
 - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
 - カメラモードスイッチを切り換えない。
- 他機でカードに記録した動画は本機で再生できないことがあります。



MEMO

- 再生画面の日时表示を消すときは、メニューの「データコード表示」を「切」にします。表示内容を変更することもできます(□□ 209)。
- 撮影条件によっては、シーンが切り換わるときに映像が止まったり、音声が途切れたりすることがあります。
- 早送り/早戻し中やスロー再生/逆スロー再生中は、画面が乱れることがあります。
- 画面に出る倍速表示は目安です。
- 逆スロー再生は、連続したコマ戻しのように再生されます。

■ 映像を写真として切りとる（あとからフォト）

撮影した映像から、気に入った場面を静止画として切りとれます。

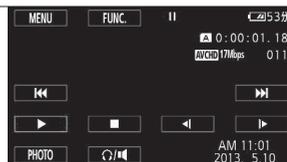
動画形式 AVCHD MP4

1 静止画を切りとるシーンを再生する (□ 134)

2 静止画を切りとる位置で再生一時停止にする
画面上の||をタッチする。

PHOTO

3 タッチする



MEMO

- 記録される静止画のサイズは1920×1080です。
- 切りとった静止画の撮影日時は、元の動画を撮影したときの日付と時刻が設定されます。
- 動きの速い映像を静止画として切りとると、ブレた静止画になることがあります。
- 静止画は、メニューの「記録先」→「静止画記録先」で選んだカードに記録されます (□ 42、209)。

シーンを消す

CAMERA MEDIA

消去

不要なシーンを複数選んでまとめて消すことができます。日付を指定して一括消去したり、表示しているメモリー内のすべてのシーンを消したりすることもできます。

動画形式 AVCHD MP4

■ ある日のシーン、選んだシーン、すべてのシーンをまとめて消す

1 消去するシーンを含むインデックス画面に切り換える (📖 135)

特定の日に撮った全シーンを消すとき
左右にドラッグして、消去するシーンの日付を画面に出す。

FUNC.

2 消去を選ぶ

[FUNC.] → 「消去」をタッチする。

3 いずれかの消去方法をタッチする

特定の日に撮った全シーンを消すとき* (操作5へ)

シーンを選んで消すとき

すべてのシーンを消すとき

* MP4形式の動画では「100_0101」のように日付ごとに作成されたフォルダー名が表示される。



実行

4 シーンを選んで消すとき シーンを選ぶ

① 消すシーンをタッチする。

- シーンが選択され、✓が付く。
- もう一度タッチすると選択が解除される。

② ①の操作を繰り返して、消すシーンをすべて選ぶ。

選択をすべて解除するとき
「全解除」→ 「はい」をタッチする。

③ [実行] をタッチする。



5 シーンを消す

① 「はい」をタッチする。

中止するとき 「中止」をタッチする。一部のシーンは消去される。

② 「OK」をタッチする。

再生一時停止中のシーンを消す

1 消去するシーンを再生一時停止にする

① シーンをタッチする。

- 再生が始まる。

② 画面上をタッチ→**II**をタッチする。

- 一時停止する。

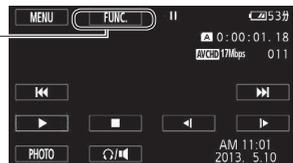
FUNC.

2 消去する

① **FUNC.**→「消去」→「はい」をタッチする。

② 「OK」をタッチする。

例：AVCHD形式動画の場合



● ご注意

- 一度消したシーンは元に戻りませんので、消す前にシーンを確認してください。
- 大切な映像データは、あらかじめバックアップしてください(□ 158、160、164、167)。
- シーン消去中、ACCESSランプが点灯しているときは、次のことを必ず守ってください。
 - カードカバーを開けない。
 - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
 - カメラモードスイッチを切り換えない。



MEMO

カードに記録されているすべてのシーンを消して容量を元に戻す場合は、カードを初期化し(□ 40)ます。

シーンを分割する

CAMERA MEDIA

分割

AVCHD形式のシーンを分割できます。分割することで、不要なシーンを消去できます。

動画形式 AVCHD MP4

1 シーンを再生する (□ 134)

II 2 再生一時停止にする
画面上をタッチ→IIをタッチする。

FUNC. 3 分割を選ぶ
[FUNC.]→「分割」をタッチする。

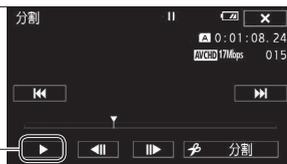
▶ 4 分割する位置を決める

① 分割する位置を探す。

- ▶をタッチすると再生する。もう一度タッチすると一時停止する。

再生中	◀◀ / ▶▶	早戻し / 早送り
一時停止中	◀◀ / ▶▶	コマ戻し / コマ送り

② 分割する位置で一時停止にする。



✂ 5 分割する
「✂分割」→「はい」をタッチする。
● 分割した元のシーンの次に挿入される。



MEMO

- 分割する位置を決めるときのコマ戻し / コマ送りの間隔は0.5秒です。
- 一時停止した位置で分割できないことがあります。その場合はコマ送りなどで位置を変えてください。
- 再生時、分割したシーンのつなぎ目で映像と音声が入ることがあります。

分割できない場合

- 約3秒未満のシーンのとき。
- シーンの始めまたは終わりから約1秒以内の位置のとき。

シーンを切りとる

CAMERA MEDIA

トリミング

MP4形式のシーンから不要な部分を切りとって消去できます。指定した位置より前、または後ろの部分を消去します。

動画形式 AVCHD MP4

1 シーンを再生する (📖 134)

II 2 再生一時停止にする
画面上をタッチする→IIをタッチする。

FUNC. 3 トリミングを選ぶ
[FUNC.] → 「トリミング」をタッチする。

▶ 4 切り取る位置を決める

① 位置を探す

- ▶をタッチすると再生する。もう一度タッチすると一時停止になる。

再生中	◀◀ / ▶▶	早戻し / 早送り
一時停止中	◀◀ / ▶▶	コマ戻し / コマ送り



② 切りとる位置で一時停止にする。

5 シーンを切りとる

- ① 「トリミング」をタッチする。
- ② 「前部を削除」または「後部を削除」をタッチする。
- ③ 「新規保存」または「上書き保存」をタッチする。

「新規保存」を中止するとき
「中止」をタッチする。

6 接 続

外部モニターを接続する	144
出力端子・出力信号形式を選択する ...	145
音声出力を選択する	149

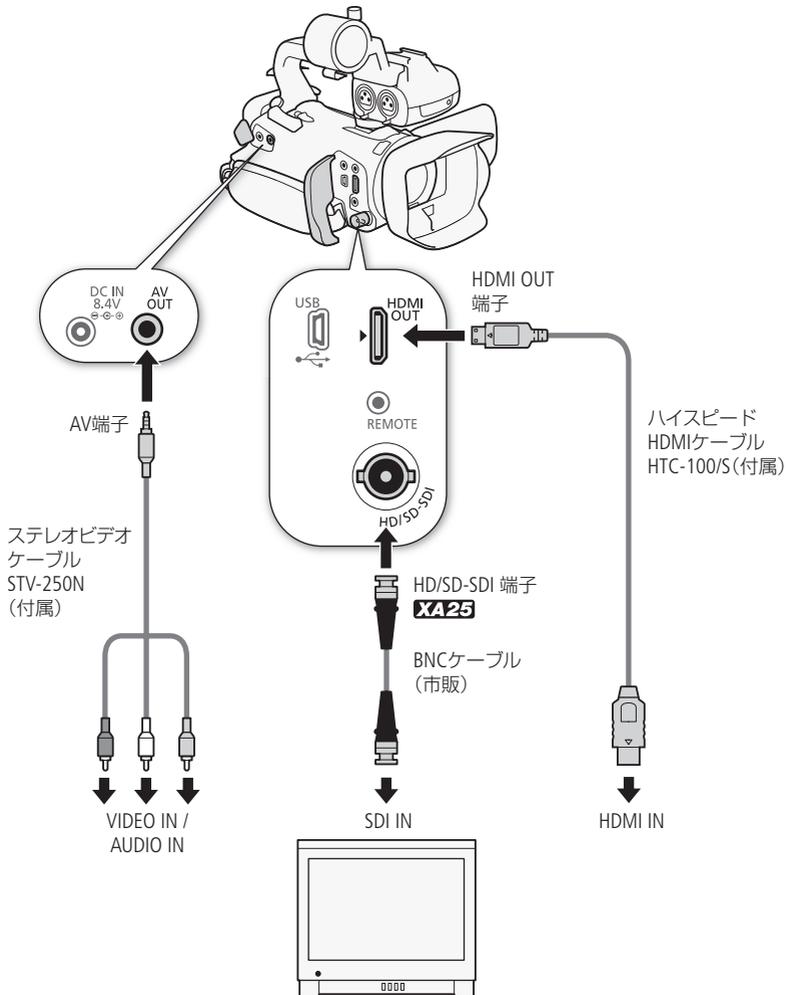
外部モニターを接続する

CAMERA MEDIA

撮影・再生映像をモニターに表示するときは、外部モニターに応じて使用する端子を選び本機と外部モニターを接続したあと、使用する端子の出力信号形式をメニューで設定します。

XA20 AV OUTとHDMI出力は自動的に切り換わります。

■ 接続のしかた



MEMO コンパクトパワーアダプター (ACアダプター) を使って、家庭用のコンセントにつないで使うことをおすすめします。

出力端子・出力信号形式を選択する

CAMERA MEDIA

使用する出力端子、出力信号形式を、メニューから選びます。

動画形式 AVCHD MP4 カメラモード **AUTO** M CINEMA

XA25 HD/SD-SDI端子を使用する

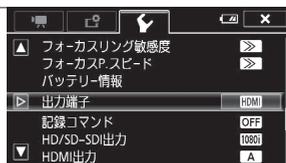
HD/SD-SDI端子から出力される映像信号は、オーディオ信号とタイムコード信号が重畳されます。画面表示を重畳することもできます (☞ 215)。

FUNC. 1 タッチする

MENU 2 出力端子を選ぶ



- ① **MENU** (メニュー) → をタッチする。
- ② 「出力端子」をタッチする。
- ③ 「HD/SD-SDI」を選ぶ。



× 3 タッチする

HDMI OUT端子を使用する

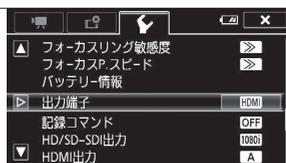
HDMI OUT端子を使用すると、映像と音声をデジタル信号で出力することができます。「HDMI出力」(☞ 148) の設定を「**A** (オート)」にすると、接続した外部モニターの性能に合わせて映像を出力します。HDMI OUT端子の出力に画面表示を重畳することもできます (☞ 215)。CAMERAモード時、音声は2chリニアPCM(16ビット、48kHz)で出力されます。

FUNC. 1 タッチする

MENU 2 出力端子を選ぶ



- ① **MENU** (メニュー) → をタッチする。
- ② 「出力端子」をタッチする。
- ③ 「HD/SD-SDI & HDMI」または「HDMI」を選ぶ。



× 3 タッチする

接
続

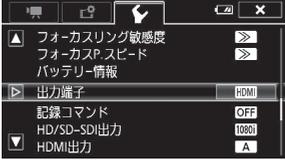


MEMO

- **X423** 「出力端子」で「HD/SD-SDI & HDMI」を選ぶと、「HD/SD-SDI 出力」と同じ信号形式になります。
- HDMI OUT端子は出力専用です。他の出力端子と接続しないでください。故障の原因となります。
- HDMI OUT端子で接続していると、AV OUT端子から映像は出力されません。
- DVI対応モニターとの接続は保証していません。
- モニターによっては正しく表示されないことがあります。そのときは、AV OUT端子を使って接続してください。

■ コンポジット出力端子を使用する

コンポジット出力端子 (AV OUT端子)からは、ダウンコンバートされたSDアナログコンポジット信号を出力します。

FUNC.	1 タッチする	
MENU 	2 出力端子を選ぶ ① [MENU] (メニュー) →  をタッチする。 ② 「出力端子」をタッチする。 ③ 「AV OUT」を選ぶ。	
×	3 タッチする	



MEMO

- モニターがビデオID-1方式に対応していれば、自動的にワイド画面(16:9)に切り換わります。
- ワイド(16:9)モードのない標準画質のテレビ(4:3)につなぐときは、メニューの「テレビタイプ」( 209)を「4:3テレビ」にしてください。

■ 出力信号形式を選ぶ

HD/SD-SDI出力のとき

FUNC. 1 タッチする

MENU 2 HD/SD-SDI出力を選ぶ



- ① **MENU** (メニュー) →  をタッチする。
- ② 「HD/SD-SDI出力」をタッチする。
- ③ いずれかを選ぶ。



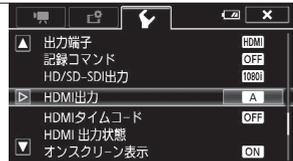
HDMI出力のとき

FUNC. 1 タッチする

MENU 2 HDMI出力を選ぶ



- ① **MENU** (メニュー) →  をタッチする。
- ② 「HDMI出力」をタッチする。
- ③ いずれかを選ぶ。



MEMO

「HDMI出力」で **A** 以外を選択したとき、設定した出力信号形式にモニターが対応していない場合、HDMI出力は停止します。

音声出力を選択する

HD/SD-SDI端子 (**XA25**)、HDMI OUT端子、AV OUT端子、 Ω (ヘッドホン)端子から音声を出力できます。
AV OUT端子、 Ω (ヘッドホン)端子から出力される音声はチャンネルを選択できます。

動画形式 **AVCHD MP4** カメラモード **AUTO M CINEMA**

映像と音声のタイミングを選ぶ (モニターディレイ)

CAMERA MEDIA

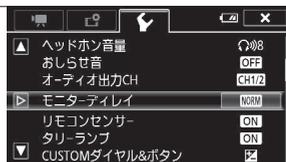
AV OUT端子、 Ω (ヘッドホン)端子から出力される音声について、映像とタイミングを合わせて遅延させるかどうかを設定することができます。

FUNC. 1 タッチする

MENU 2 モニターディレイを選ぶ



- ① **MENU** (メニュー) → をタッチする。
- ② 「モニターディレイ」をタッチする。
- ③ いずれかを選ぶ。



LINE (ライン出力) 映像とタイミングを合わせるために、音声信号を遅延させて出力する。

NORM (ノーマル) リアルタイム (ディレイなし) で音声を出力する。

× 3 タッチする

■ 音声出力チャンネルを選ぶ CAMERA MEDIA

AV OUT端子、 Ω (ヘッドホン) 端子から出力される音声のチャンネルを選択することができます。CAMERAモードでは、INPUT端子入力切り換えスイッチをONにしているときのみ操作できます。

FUNC. 1 タッチする

MENU 2 オーディオ出力CHを選ぶ



- ① **MENU** (メニュー) →  をタッチする。
- ② 「オーディオ出力CH」をタッチする。
- ③ いずれかを選ぶ。

VF明るさ	NORM
ヘッドホン音量	0dB
おしらせ音	OFF
オーディオ出力CH	CH12
モニターディレイ	NORM
リモコンセンサー	ON
タリランプ	ON

CH12	出力音声のL chにCH1を、R chにCH 2を割り当てる。
CH11	出力音声のL chとR chの両方にCH 1を割り当てる。
CH22	出力音声のL chとR chの両方にCH 2を割り当てる。
ALL	出力音声のL chとR chの両方にCH 1とCH 2をミックスした信号を割り当てる。

× 3 タッチする



MEMO

アサインボタンに「オーディオ出力CH」を割り当てると、アサインボタンを押して出力チャンネルを切り換えられます (□ 129)。

静止画

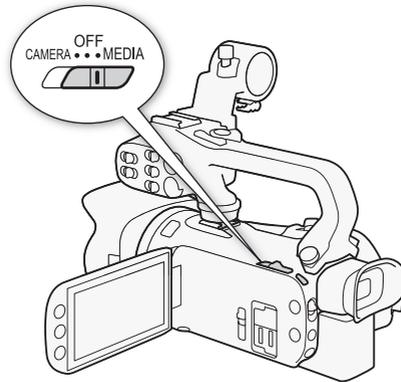
写真を見る	152
写真を消す	155

写真を見る

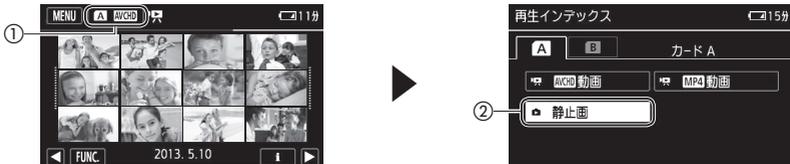
CAMERA MEDIA

1 POWER(電源)スイッチを「MEDIA」にする

- インデックス画面が表示される。



2 静止画の再生画面を表示する

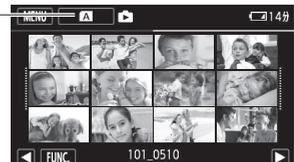


3 見たい静止画を探す



カードを切り換えるとき

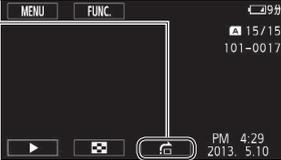
- ① タッチしてカードAとカードBを切り換える



4 静止画をタッチする

- 静止画が再生される（1枚表示画面）。
- 再生中、左右にドラッグで次または前の静止画に切り換わる。
- 別売のGP-E2を使って撮影した場合はGPS情報も表示される。

■ 再生中に他の静止画にジャンプする（静止画ジャンプ）

	<p>1 静止画再生中 画面をタッチする</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 操作ボタンが出る。 	
<p>🏠</p>	<p>2 タッチする</p>	
	<p>3 ジャンプバーのつまみを左右にドラッグする</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ジャンプ先の静止画が再生される。 	
<p>↶</p>	<p>4 タッチする</p>	

■ インデックス画面を出す

静止画再生中にインデックス画面に切り換える方法です。

1 静止画再生中 画面をタッチする

- 操作ボタンが出る。



2 タッチする



● ご注意

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
 - カードカバーを開けない。
 - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
 - カメラモードスイッチを切り換えない。
- 次の静止画は正しく再生されないことがあります。
 - 本機以外の製品で記録したとき。
 - パソコンで作成や加工をしたとき。
 - パソコンでファイル名を変更したとき。

写真を消す

CAMERA MEDIA

静止画消去

不要な静止画は消去できます。再生中の静止画を消す方法と、選んだ静止画やすべての静止画をまとめて消す方法とがあります。

再生中の静止画を消す

1 静止画再生中 画面をタッチする

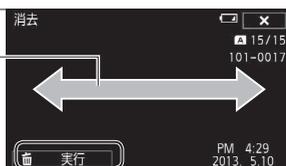
- 操作ボタンが出る。

FUNC.



2 消去を選ぶ

- ① FUNC. → 「消去」をタッチする。
 - 消去画面が出る。
 - 左右にドラッグで別の静止画を選ぶこともできる。
- ② 「実行」 → 「はい」をタッチする。



×

3 タッチする

ある日の静止画、選んだ静止画、すべての静止画をまとめて消す

1 消去する静止画を含む静止画インデックス画面に切り換える (152)

FUNC.

2 消去を選ぶ

- FUNC. → 「消去」をタッチする。

3 いずれかの消去方法をタッチする

特定の日に撮ったすべての静止画を消すとき (操作5へ)

静止画を選んで消すとき

すべての静止画を消すとき



4 静止画を選んで消すとき 静止画を選ぶ

- ① 消す静止画をタッチする。
 - 静止画が選択され✓が付く。
 - もう一度タッチすると選択が解除される。
- ② ①の操作を繰り返して、消す静止画をすべて選ぶ。

選択をすべて解除するとき

「全解除」→「はい」をタッチする。



実行

5 静止画を消す

- ① 静止画を選んで消すとき **実行** をタッチする。
- ② 「はい」をタッチする。

中止するとき

「中止」をタッチする。一部の静止画は消去される。

- ③ 「OK」をタッチする。



ご注意

一度消した静止画は元に戻せません。消す前に静止画を確認してください。

- 他機でプロテクトされている静止画は消せません。

撮影データの保存／共有

パソコンに保存する	158
ビデオ／写真をカードにコピーする ...	160
MP4形式の動画に変換する.....	164
BDレコーダーなどに ダビングする	167

パソコンに保存する

CAMERA MEDIA

付属のソフトウェアData Import Utilityを使うと、分割されたシーンを1つのファイルに結合してパソコンに取り込むことができます。

ソフトウェアData Import Utilityを使ってできること

- シーンをパソコンに取り込む。
- リレー記録 (☐ 55) を使用して分割されたシーンを1つのファイルに結合してパソコンに取り込む。
- 4GBごとに分割されたAVCHD形式やMP4形式のシーンを1つのファイルに結合してパソコンに取り込む。

インストールする前に

ソフトウェアをインストールする前に、Data Import Utilityの取扱説明書 (PDFファイル) をご覧のうえ、Data Import Utilityでできることの詳細と動作環境をご確認ください。

* ソフトウェアディスクの[¥ Manual ¥ Japanese] フォルダの中にPDFファイルとして収納されています。PDF をご覧いただくには、Adobe®Reader® 6 以降が必要です。

主なシステム要件

OS	Windows 8 (32bit/64bit) Windows 7 SP1 (32bit/64bit) Windows Vista SP2 (32bit/64bit) Windows XP SP3 (32bit)	Mac OS X 10.6、10.7、10.8
CPU	Intel Core 相当以上	Intel製CPU (Power PCは非対応)
メモリー	1GB 以上 (Windows 7/8 64bit版、Mac OS X 10.7/10.8 は2GB以上)	
ディスプレイ	1024x768 ピクセル	



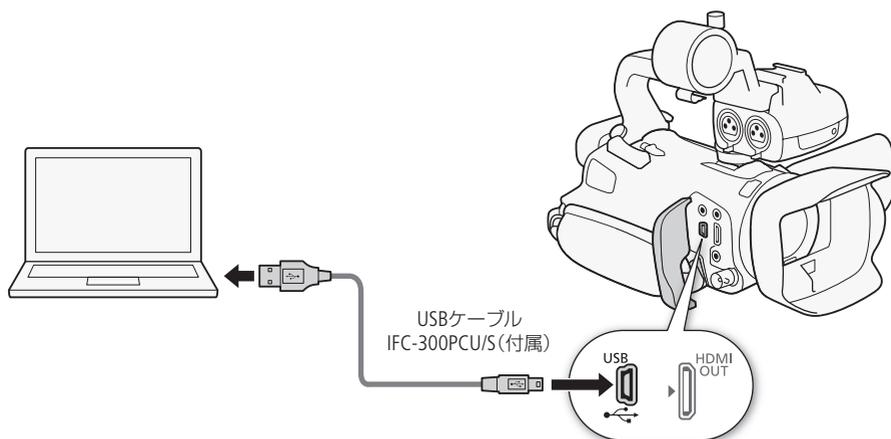
● ご注意

付属のソフトウェア Data Import Utilityで、カードリーダー/パソコンのカードスロットを使用してシーンをパソコンに取り込む前に、他社製の編集用ソフトウェアなどでカード内のファイルを参照したり操作したりしないでください。Data Import Utilityでシーンをパソコンに取り込めないことがあります。

インストールについて

インストール操作手順については、Data Import Utilityの取扱説明書 (PDFファイル)をご覧ください。

シーンの取り込みについて



1 **本機** コンパクトパワーアダプター (ACアダプター)をつなぐ



2 **本機** MEDIAモードにする

3 **本機** 動画のインデックス画面を表示する (135)



4 **本機とパソコンをつなぐ**

「接続するメモリーを選択してください」が出たとき

「すべて (パソコン)」をタッチする。

- 左のアイコンをダブルクリックすると、パソコンの画面にData Import Utilityの起動画面が出る。



5 **パソコン** Data Import Utilityを操作してパソコンに取り込む

画面の案内に従って操作する。

参考 ▶ Data Import Utilityの取扱説明書 (PDFファイル)

ビデオ／写真をカードにコピーする

CAMERA MEDIA

コピー

カードに記録された動画や静止画を、もう一方のカードへコピーできます。選んだシーンや静止画、すべてのシーンや静止画をまとめてコピーします。AVCHD形式の動画は特定の日に撮影したシーンをすべて、MP4形式の動画や静止画は日付ごとに作成されたフォルダごとコピーできます。

■ 動画をコピーする



1 カードスロットにコピー先となるカードを入れる

2 コピー元となるカードのインデックス画面を出す (P.135)

特定の日に撮ったシーンをコピーするとき
左右にドラッグして、コピーするシーンの日付を画面に出す。

FUNC.

3 コピーを選ぶ

A → B

FUNC. → 「コピー [A → B]」または「コピー [B → A]」をタッチする。

B → A

4 いずれかのコピー方法をタッチする

特定の日に撮った全シーンをコピーするとき*
シーンを選んでコピーするとき
すべてのシーンをコピーするとき



* MP4形式の動画では「100_0101」のように日付ごとに作成されたフォルダ名が表示される。

5 シーンを選んでコピーするとき シーンを選ぶ

- ① コピーするシーンをすべてタッチする。
 - シーンが選択され、✓が付く。
 - もう一度タッチすると選択が解除される。

選択をすべて解除するとき

「全解除」→ 「はい」をタッチする。

- ② (実行) をタッチする。



6 カードにコピーする

- ① 「はい」をタッチする。

中止するとき

「中止」をタッチする。

- ② 「OK」をタッチする。



■ 静止画をコピーする

再生中の静止画をコピーする



1 カードスロットにコピー先となるカードを入れる

2 静止画を1枚表示する

- カードAまたはカードBに保存されている静止画を選ぶ。

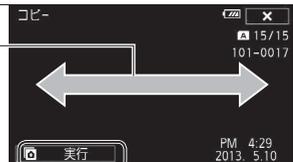
3 画面をタッチする

- 操作ボタンが出る。

FUNC.

4 コピーする

- ① FUNC. → 「コピー [A] → [B]」または「コピー [B] → [A]」をタッチする。
 - コピー画面が出る。
 - 左右にドラッグして別の静止画を選ぶこともできる。
- ② 「実行」 → 「はい」をタッチする。



× 5 タッチする

静止画を選んでまとめてコピーする



1 カードスロットにコピー先となるカードを入れる

2 コピー元となるカードAまたはカードBの静止画インデックス画面を出す
(152)

FUNC.

3 コピーを選ぶ

FUNC. → 「コピー [A → B]」または「コピー [B → A]」をタッチする。

4 いずれかのコピー方法をタッチする

特定の日に撮った全静止画をコピーするとき

静止画を選んでコピーするとき

すべての静止画をコピーするとき



実行

5 静止画を選んでコピーするとき 静止画を選ぶ

① コピーする静止画をすべてタッチする。

- 静止画が選択され、✓が付く。
- もう一度タッチすると選択が解除される。

選択をすべて解除するとき

「全解除」→ 「はい」をタッチする。

② (実行) をタッチする。



6 カードにコピーする

① 「はい」をタッチする。

中止するとき

「中止」をタッチする。

② 「OK」をタッチする。





● **ご注意**

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
 - カードカバーを開けない。
 - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
 - カメラモードスイッチを切り換えない。



MEMO

コピーできない場合

- カードカバーが開いていたり、カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているとき。
- カード内のフォルダー数とファイル数が最大になり、新しくファイル番号が作成できないとき(□ 211)。
- 静止画の場合、カードの空き容量が足りなくなると、コピーを中止します。

MP4形式の動画に変換する

CAMERA MEDIA

カードに記録したAVCHD形式やMP4形式の動画を、より容量の少ないMP4形式の動画に変換して、もう一方のカードにコピーします。インターネットにアップロードするときなどに便利です。変換するとき、シネマルックフィルター*を使うこともできます。

* 撮影時にシネマルックフィルターを使用した動画とMP4変換時にシネマルックフィルターを使用した動画では、効果が異なることがあります。

動画形式 AVCHD MP4

1 動画インデックス画面を表示する (📖 134)

FUNC.

2 MP4変換を選ぶ

- ① **FUNC.** → 「MP4変換[A → B]」または「MP4変換[B → A]」をタッチする。
- ② **OK** をタッチする。

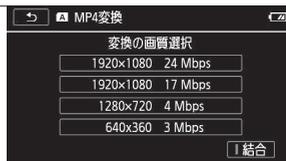


3 変換後の画質を選ぶ

いずれかを選ぶ。

複数のシーンを結合するとき

「結合」をタッチする。



4 シーンを選ぶ

- ① 変換するシーンをすべてタッチする。
 - シーンが選択され、✓が付く。
 - もう一度タッチすると選択が解除される。

選択をすべて解除するとき

「全解除」→ 「はい」をタッチする。

- ② **実行** をタッチする。
- ③ 「次へ」をタッチする。



FILTER 1

5 好みに合わせて変更する

シネマリックフィルターを選ぶとき

- ① FILTER 1 をタッチする。
- ② いずれかを中央に表示して OK をタッチする。
 - 解除するときは「FILTER1 ~ 9」をタッチする。



6 変換する

- ① 「START」をタッチする。
 - MP4形式の動画に変換される。

中止するとき

「STOP」をタッチする。

- ② OK をタッチする。



MEMO

- 以下のように変換してコピーします。

録画モード (フレームレート)		MP4 変換				
		35 Mbps	24 Mbps	17 Mbps	4 Mbps	3 Mbps
AVCHD	28 Mbps LPCM (59.94P)、 28 Mbps (59.94P)	—				
	24 Mbps LPCM、24 Mbps (59.94i / PF29.97 / 23.98P)	—	● (29.97P / 23.98P)			
	17 Mbps (59.94i / PF29.97 / 23.98P)	—	● (29.97P / 23.98P)			
	5 Mbps (59.94i / PF29.97 / 23.98P)	—	● (29.97P / 23.98P)			
MP4	35 Mbps (59.94P)	—				
	24 Mbps (29.97P / 23.98P)	—	● (29.97P / 23.98P)			
	17 Mbps (29.97P / 23.98P)	—	● (29.97P / 23.98P)			
	4 Mbps (29.97P / 23.98P)	—			● (29.97P / 23.98P)	
	3 Mbps (29.97P / 23.98P)	—				● (29.97P / 23.98P)

- 以下のシーンは、結合してMP4変換できません。
AVCHD : 「59.94i」と「23.98P」、「PF29.97」と「23.98P」
MP4 : 「29.97P」と「23.98P」
- MP4変換中はすべての外部出力(□ 144)を停止します

BDレコーダーなどにダビングする

CAMERA MEDIA

撮影した映像を他のBD（ブルーレイディスク）レコーダーやDVDレコーダーなどにダビングすることができます。

動画形式 AVCHD MP4

■ ハイビジョン画質のままダビングする

USBケーブル（付属）でAVCHD規格対応のレコーダーなどと接続すれば、ハイビジョン画質のままダビングできます。また、レコーダーがお使いのカードに対応している場合は、カードからダビング可能です。なお、本機との動作確認については、お使いのレコーダーの説明書やホームページなどでご確認ください。

1 本機 コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）をつなぐ



2 本機 MEDIAモードにする

3 本機 AVCHD形式の動画のインデックス画面を表示する（ 135）



4 本機とレコーダーをつなぐ

- 「接続するメモリーを選択してください」が出たとき
「カードA」、「カードB」のいずれかをタッチする。
- ダビングする動画が記録されているカードを選ぶ。

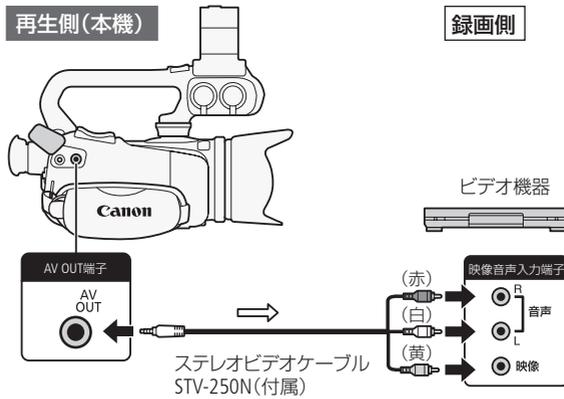
5 レコーダー ダビングする

参考 ▶ お使いのレコーダーの説明書

■ 標準画質に変換してダビングする

本機で撮った動画を映像／音声端子付きのDVDレコーダーなどにダビングできます。画質は標準画質に変換されます。

接続する



ダビングする

- 1 **本機** コンパクトパワーアダプター (ACアダプター)をつなぐ
- 2 **本機** AVCHD形式の動画のインデックス画面を表示する (□□ 135)
- 3 **レコーダー** 録画一時停止状態にする
- 4 **本機** シーンをタッチして再生する
 - メニューの「データコード表示」で、画面の日時表示を変更することができる (□□ 209)。
- 5 **レコーダー** 録画を始める場面で、録画操作をする
- 6 **レコーダー** 録画を終える
- 7 **本機** 再生を終える
画面上をタッチ→をタッチする。

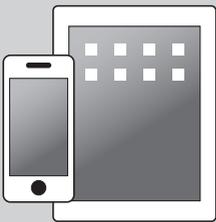
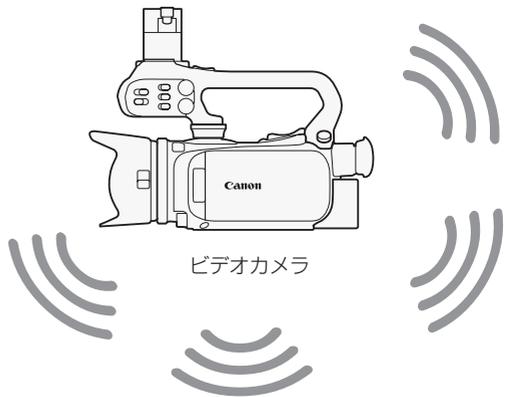
Wi-Fi(無線接続)

Wi-Fiでできること.....	172
スマートフォンをリモコンとして使って操作する.....	176
Android / iOSのスマートフォンなどのWebブラウザで見る.....	183
iOS機器からアップロードする	185
パソコンなどで見る	187
パソコンなどに転送する.....	189
アクセスポイントにWi-Fi接続する	192
Wi-Fi設定を表示／変更する	197

Wi-Fiでできること

Wi-Fi(ワイファイ)

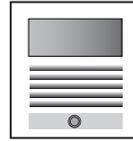
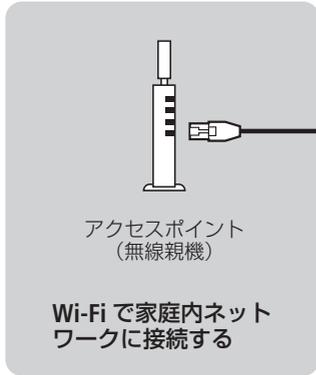
Wi-Fi機能でスマートフォンなどと接続すると、撮影データの保存・再生・アップロードなどをワイヤレスで行えます。また、スマートフォンやタブレットの画面で、離れた場所にあるビデオカメラをリモートコントロールできます。なお、この章で使われているWi-Fi関連の用語については、「用語の説明」(199)をご覧ください。



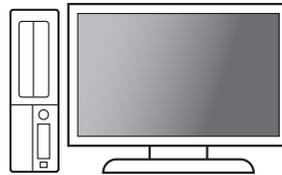
スマートフォンやタブレットを使ってビデオカメラをリモートコントロールする (176)



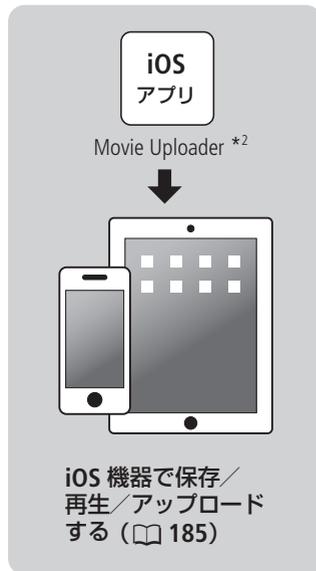
撮影データをスマートフォンやパソコン^{*1}のWebブラウザで見る (183)



FTP サーバーへファイルを転送



パソコンなどで再生する
(メディアサーバー)



YouTube や
Facebook などに
アップして、家族
や友人と共有する

Wi-Fi

*1 アクセスポイント経由で接続したパソコンから見ることもできます (187)。

*2 株式会社ピクセラから、アップルのApp Storeを通じて提供されます (無料)。

■ Wi-Fi機能を使う前に

Wi-Fi接続には、スマートフォンなどのWi-Fi機器と直接接続する方法と、アクセスポイント（無線親機）*を使用して接続する方法の2つがあり、使用するWi-Fi機能によってどちらかに決まります。使いたい機能を選んで画面に従って操作して接続します。

* 無線LAN親機、無線LANルーターなど、メーカーによって名称が異なることがあります。



● **ご注意**

- セキュリティで保護されていない無線LANやネットワーク環境に接続することは避けてください。お客様の個人情報などのデータが第三者に漏洩する危険性があります。



MEMO

本機の無線LAN 規格について

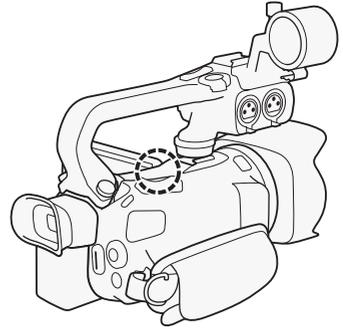
本機が対応する無線LAN規格は次のとおりです。

無線LAN規格、周波数： IEEE 802.11b/g/n 準拠、2.4 GHz
IEEE 802.11a/n 準拠、5 GHz

最大伝送速度（規格値）*： IEEE 802.11a 最大54Mbps
IEEE 802.11b 最大11Mbps
IEEE 802.11g 最大54Mbps
IEEE 802.11n 最大150Mbps

* 表示の値は理論上の最大値であり、実際の転送速度を示すものではありません。

- Wi-Fi接続するときや接続中は、内蔵ワイヤレスアンテナ付近を手などで覆わないでください。通信電波がさえぎられ、Wi-Fiの通信状態が悪くなります。
- Wi-Fi Remote以外でのWi-Fi機能使用中は、カードカバーを開けないでください。
- ワイヤレスマイクロホンWM-V1(別売)を取り付けているときは、Wi-Fi機能を使用することはできません。



ワイヤレスアンテナ (内蔵)

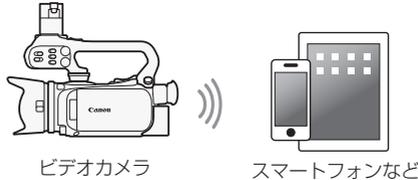
スマートフォンをリモコンとして使って操作する

CAMERA MEDIA

Wi-Fi Remote

スマートフォンやタブレットの画面で、離れた場所に設置したビデオカメラをリモートコントロールできます。動画撮影、撮影モード、露出補正、ホワイトバランス、絞り、ゲイン、シャッタースピード、フォーカス、ズームを操作できます。OS、Webブラウザ *などの詳細については、キヤノンのホームページなどをご覧ください。

* JavaScript(ジャバスクリプト)、Cookie(クッキー)が有効になっている必要があります。



動画形式 AVCHD MP4 カメラモード AUTO M CINEMA

■ カメラパスワードを設定する

スマートフォンやタブレットなどを使用したWi-Fi機能 (Wi-Fi Remote、リモートブラウズ、MovieUploader) のときは、あらかじめ、カメラパスワードの設定が必要です。一度設定すると、以降、入力不要*です。

* 「設定初期化」(□ 216)や「メニュー設定保存」(□ 132)で「読み込み」を行った場合はパスワードの再設定が必要です。

FUNC. 1 **本機** タッチする

MENU 2 **本機** パスワードを設定する

- ① **MENU** (メニュー) → **Wi-Fi** (リモートブラウズ、メディアサーバーのときは**Wi-Fi**) → **Wi-Fi** → 「スマートフォン接続設定」をタッチする。
- ② カメラパスワードをタッチする。
- ③ 任意の8桁の数字を入力 → **OK** をタッチする。
参考 ▶ 「文字入力のしかた」(□ 191)
- ④ **戻る** をタッチ → **キャンセル** をタッチする。



MEMO

カメラパスワードを設定後は、画面でカメラパスワードを表示して確認することはできません。メモに控えるなど忘れないようにご自身で管理ください。カメラパスワードを変更するときは操作1から操作します。

Wi-Fi Remoteを使用する

1 本機 タッチする

2 本機 Wi-Fi Remoteを選ぶ

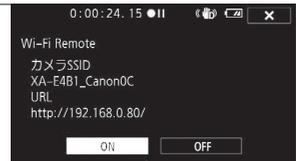
「Wi-Fi Remote」→「ON」をタッチする。

- 画面に「カメラSSID」(Wi-Fiネットワーク名)とWebブラウザに入力するURLが表示され、スマートフォンからの接続待ち状態になる。



3 スマートフォンなど Wi-Fiで本機に接続する

- ① 設定画面でWi-Fiを有効にする。
 - 見つかったWi-Fiネットワークが一覧表示される。
- ② 操作2で本機の画面に表示されたSSIDと同じWi-Fiネットワーク名をタッチする。
- ③ 「カメラパスワードを設定する」で設定した8桁のパスワードを入力して接続する。
 - カメラパスワードを変更しない限り、2回目からは、③の操作なしで自動的に接続される。



4 スマートフォンなど Webブラウザを起動して本機に接続する

- ① 本機の画面に表示されているURLをWebブラウザに入力する。
 - Wi-Fi Remoteの画面が出る。
 - ポートを変更しない限り、URLは固定のため、Webブラウザでブックマークしておけば、2回目からは入力不要。
- ② 本機の **X** をタッチして画面を閉じる。
 - 接続が完了すると、画面に **Wi-Fi** (白色) が出る。スマートフォンやタブレットが本機に未接続のときはアイコンが黄色になる。

5 スマートフォンなど 操作する

- スマートフォンなどの画面で映像を確認しながら、画面上で操作する。

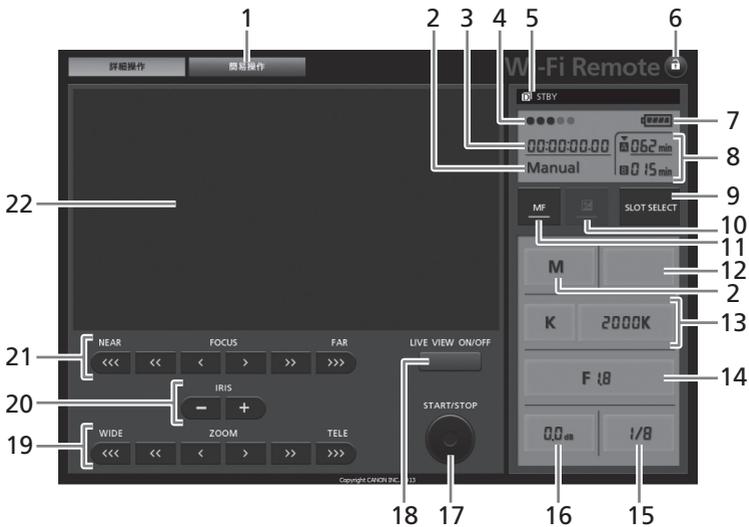
6 本機 「Wi-Fi Remote」→「OFF」をタッチする

- Wi-Fi Remoteが終了する。

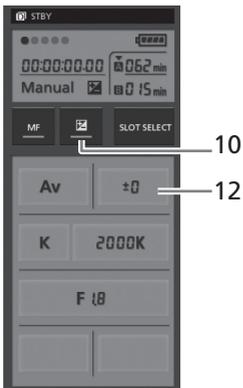
■ Wi-Fi Remote中の画面表示

Wi-Fi Remote画面には、画面が大きい機器向けの「詳細操作」と、画面が小さい機器向けの「簡易操作」画面とがあります。設定できるモードや値などは各機能のページも合わせてご覧ください。

例：撮影モード「マニュアル露出」時



例：撮影モード「AV」時



- 1 画面切り換えタブ
「詳細操作」、「簡易操作」の各画面を切り換える。
- 2 撮影モード ▶▶ 80、82、89
- 3 タイムコード ▶▶ 92
- 4 Wi-Fi Remote接続状態表示
- 5 撮影状況
- 6  (キーロック) ボタン
押すとアイコンがオレンジに変わり、画面がロックされ、誤操作を防止できる。ロック中は画面全体が灰色で表示されます。
- 7 バッテリーの残量の目安 ▶▶ 219
- 8 カード状態／撮影可能時間 (分) ▶▶ 220
選択しているカードアイコンの上に▼が表示されます。
- 9 SLOT SELECT(スロット選択) ボタン
- 10 露出切り換え ▶▶ 83
- 11 AF/MF切り換え ▶▶ 60
- 12 露出調整値 ▶▶ 83
- 13 ホホワイトバランス ▶▶ 87
- 14 F値 ▶▶ 80
- 15 シャッタースピード ▶▶ 80
- 16 ゲイン ▶▶ 79
- 17 START / STOP(スタート/ストップ) ボタン
- 18 LIVE VIEW(ライブビュー) ON / OFF ボタン
- 19 ZOOM(ズーム調整) ボタン ▶▶ 68
- 20 IRIS(絞り調整) ボタン ▶▶ 80
- 21 FOCUS(フォーカス調整) ボタン ▶▶ 60
- 22 ライブビュー映像表示エリア

簡易操作画面を使う

画面の小さな機器で操作するときは簡易操作画面を使用します。簡易操作画面では、ズーム、START/STOP(スタート/ストップ)、LIVE VIEW(ライブビュー)のON/OFF、 (キーロック)のみ行うことができます。



■ Wi-Fi Remote画面での操作

撮影する

- ① LIVE VIEW(ライブビュー) ON/OFFボタンをタッチする。
 - ライブビュー映像が表示される。
- ② START/STOP(スタートストップ)ボタンをタッチする。
 - 撮影が開始され、撮影状態表示が「●REC」に変わり、START/STOP(スタートストップ)ボタン中央の●が赤色に変わる。
 - 撮影中はタイムコードが歩進する。
- ③ 再度START/STOP(スタートストップ)ボタンをタッチして撮影を終える。
 - 撮影状態表示が「STBY」に変わる。



撮影モード

- ① 撮影モードボタンをタッチする。
 - 撮影モードが表示される。
- ② いずれかのモードを選ぶ。



露出補正

- ① をタッチする。
- ② 露出調整値ボタンをタッチする。
 - 露出調整設定画面が表示される。
- ③ いずれかの値を選ぶ。



ホワイトバランス

ホワイトバランス設定をタッチする。

■ Kを選んだとき

- ① 色温度の値をタッチする。
 - 色温度が表示される。
- ② いずれかの値を選ぶ。



■ 1または2を選んだとき

- ① 白い紙や布などを画面いっぱいにし、 をタッチする。
 -  が、早い点滅から点灯に変わったら調整終了。

F値

- ① F値設定をタッチする。
 - 選択可能なF値が表示される。
- ② いずれかの値を選ぶ。



IRISボタンで調整するとき

- ボタン：絞りを約1/4段刻みで絞る。
- + ボタン：絞りを約1/4段刻みで開く。



ゲイン

- ① ゲイン設定をタッチする。
 - 選択可能なゲインの値が表示される。
- ② いずれかの値を選ぶ。



シャッタースピード

- ① シャッタースピード設定をタッチする。
 - 選択可能なシャッタースピードが表示される。
- ② いずれかの値を選ぶ。



フォーカス

- ① MFをタッチする。
- ② フォーカス操作ボタンを押す。
 - NEARのボタン (<<<<、<<、<) をタッチすると至近方向に、FARのボタン (>、>>、>>>>) をタッチすると無限方向に調整します。
 - 調整量はボタンによって異なり、</>は小、<</>>は中、<<</>>>は大となる。



ズーム

- ZOOM(ズーム調整)ボタンをタッチする。
- WIDEのボタン (<<<<、<<、<) をタッチすると広角に、TELEのボタン (>、>>、>>>>) をタッチすると望遠に調整します。
 - 調整量はボタンによって異なり、</>は小、<</>>は中、<<</>>>は大となる。



MEMO

- ネットワーク環境や通信状態によっては、ライブビューの表示や各種設定などに遅延が発生することがあります。
- カラーバー表示中は、ライブビュー表示の更新が停止します。
- Wi-Fi Remote使用中はメニューの「エリア/サマータイム」、「日付/時刻」、「GPS自動時刻設定」は使用できません。「GPS自動時刻設定」は、「自動更新」に設定していてもWi-Fi Remote使用中は強制的に「切」となります。なお、Wi-Fi Remoteを終了すると元の設定に戻ります。
- 本機と同時に接続できる機器は1台のみです。

Android / iOSのスマートフォンなどの Webブラウザーで見る

CAMERA MEDIA

リモートブラウズ

本機に記録した動画や静止画を、スマートフォン、タブレットやパソコンなどのWebブラウザーで一覧表示したり、再生やダウンロードしたりすることができます*。アクセスポイントが不要なので、外出先でも使用できます。

* お使いの機器、OS、ブラウザーや動画形式、録画モードによっては、再生やダウンロードができないことがあります。動作を確認したOS、ブラウザーなどの詳細情報については、キヤノンのホームページなどをご覧ください。



ビデオカメラ



スマートフォンなど

動画形式 AVCHD MP4

1 本機 動画のインデックス画面を出す

2 本機 リモートブラウズを選ぶ

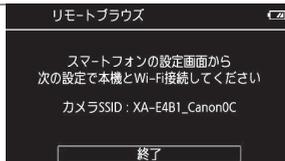
[MENU] (メニュー) → [Wi-Fi] → 「リモートブラウズ」をタッチする。

- 画面に「カメラSSID」(Wi-Fiネットワーク名)が表示され、スマートフォンからの接続待ち状態になる。
- カメラパスワードが未設定のときやカメラパスワードを変更するときは「カメラパスワードを設定する」(□□ 176)の操作2から操作する。



3 スマートフォンなど Wi-Fiで本機に接続する

- ① 設定画面でWi-Fiを有効にする。
 - 見つかったWi-Fiネットワークが一覧表示される。
- ② 本機の画面に表示されているSSIDと同じWi-Fiネットワーク名をタッチする。
- ③ 「カメラパスワードを設定する」で設定した8桁のパスワードを入力して接続する。
 - 本機の画面に「動作中」が出たら、接続完了。
 - カメラパスワードを変更しない限り、2回目からは、③の操作なしで自動的に接続される。



Wi-Fi

4 スマートフォンなど Webブラウザを起動して本機に接続する

本機の画面に表示されているURLをWebブラウザに入力する。

- リモートブラウズの画面が出る。
- ポートを変更しない限り、URLは固定のため、Webブラウザでブックマークしておけば、2回目からは入力不要。



A AVCHD

5 スマートフォンなど 動画または静止画を選んで再生する

- ① 左上の **A AVCHD** をタッチ→SDカードと形式をタッチ。
- ② 一覧から再生する画像をタッチ→画像をタッチする。
 - 選択した動画または静止画が再生される。
- ③  をタッチすると、一覧画面に戻る。

動画または静止画をスマートフォンに保存するとき

- ②で  をタッチする (iOS機器では  は表示されません。iOS機器での保存は「Movie Uploader」( 185)をご利用ください。

6 本機 「終了」をタッチする。

- リモートブラウスが終了する。



MEMO

- 以下のMP4形式のシーンは、スマートフォンなどでは複数のファイルとして認識されます。
 - データ容量が4GBを超えるもの。
 - 録画モードが35Mbpsで30分以上のもの、または35Mbps以外で1時間以上のもの。
- 本機と同時に接続できる機器は1台のみです。

iOS機器からアップロードする

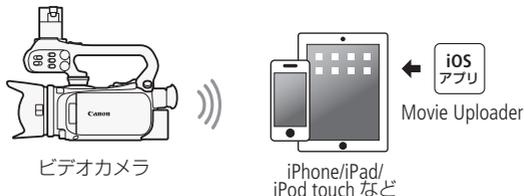
CAMERA MEDIA

Movie Uploader (iOSアプリ)

iPhoneやiPadなどのiOS機器にiOSアプリMovie Uploader*1をインストールすれば、外出先でもYouTubeやFacebookに動画や静止画をアップロードすることができます。また、MP4形式の動画や静止画は、iOS機器に保存*2したり再生したりすることもできます。

*1 株式会社ピクセラから、アップル社のApp Storeを通じて提供されます（無料）。

*2 35MbpsのMP4形式の動画を除く。



動画形式 AVCHD MP4

1 iOS機器 App StoreからiOSアプリMovie Uploaderをインストールする

App Store:
<http://appstore.com/movieuploader>
● 2回目からは、この操作は不要。



2 本機 動画のインデックス画面を出す (135)

3 本機 Movie Uploaderを選ぶ

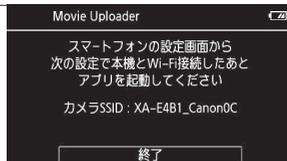
[MENU] (メニュー) → [Wi-Fi] → [Wi-Fi] → [Movie Uploader]をタッチする。

- 画面に「カメラSSID」(Wi-Fiネットワーク名)が表示され、iOS機器からの接続待ち状態になる。
- カメラパスワードが未設定のときやカメラパスワードを変更するときは「カメラパスワードを設定する」(176)の操作2から操作する。



4 iOS機器 Wi-Fiで本機に接続する

- ① 「設定」アプリの「Wi-Fi」をタッチし、「Wi-Fi」を「オン」にする。
 - 見つかったWi-Fiネットワークが一覧表示される。
- ② 本機の画面に表示されているSSIDと同じWi-Fiネットワーク名をタッチする。
- ③ 「カメラパスワードを設定する」で設定した8桁のパスワードを入力して接続する。
 - 本機の画面に「動作中」が出たら、接続完了。
 - カメラパスワードを変更しない限り、2回目からは、③の操作なしで自動的に接続される。



Wi-Fi

5 iOS機器 動画をアップロードする

- ① 操作1でインストールしたアプリMovie Uploaderを起動する。
- ② Movie Uploaderを操作して、動画をアップロードする。

6 本機 「終了」をタッチする。

- Wi-Fi接続が終了し、インデックス画面に戻る。



MEMO

- 通信状態によっては、アップロードの時間が長くなる場合があります。
- お使いの機器のiOSバージョンによっては、Wi-Fi接続の操作が異なる場合があります。
- iOSアプリの詳細については、株式会社ピクセラのホームページをご覧ください。
<http://www.pixela.co.jp/oem/canon/j/movieuploader/>
- 以下のMP4形式のシーンは、スマートフォンなどでは複数のファイルとして認識されます。
 - データ容量が4GBを超えるもの。
 - 録画モードが35Mbpsで30分以上のもの、または35Mbps以外で1時間以上のもの。

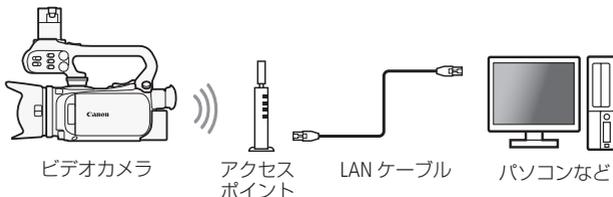


パソコンなどで見る

CAMERA MEDIA

メディアサーバー

本機のメディアサーバー機能を使うと、本機に記録した動画や静止画を、パソコンなどで再生できます。この機能を使用するには、家庭内ネットワークに接続されたアクセスポイント（無線親機）と、メディアサーバーの動画／静止画を再生できるソフトウェアが必要です。また、パソコンなどとアクセスポイントは、LANケーブルを使用して有線で接続することをおすすめします。アクセスポイントやパソコンなどについては、それぞれの説明書をご覧ください。



動画形式 AVCHD MP4

1 動画のインデックス画面を出す

2 本機 メディアサーバーを選ぶ

[MENU] (メニュー) → [Wi-Fi] → 「メディアサーバー」をタッチする。



OK

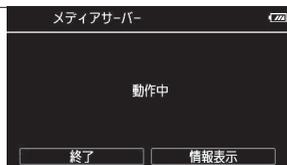
3 本機 無線親機 (アクセスポイント) に接続する

- 「アクセスポイントにWi-Fi接続する」(□ 192) であらかじめ選択しているアクセスポイントに接続する。
- アクセスポイントが未登録のときは、「アクセスポイントを登録します」が出る。

① [OK] をタッチする。

② 「アクセスポイントにWi-Fi接続する」(□ 192) の手順に沿って、アクセスポイントに接続する。

- 画面に「動作中」が出たら、接続完了。



4 パソコンなど 本機の動画や静止画を再生する

- ① サーバーの一覧から本機の名前「Canon XA20」または「Canon XA25」を選ぶ。
- ② 表示されるフォルダー内の動画または静止画を選んで再生する。

参考 ▶ お使いのソフトウェアの説明書

Wi-Fi

5 **本機** 「終了」をタッチする。

- メディアサーバーを終了する。



MEMO

- アクセスポイントの性能や設定、通信状態によっては、再生までに時間がかかることや、スムーズに動画が再生されないことがあります。詳しくは、「故障かな?」の「動画がパソコンなどからスムーズに再生されない」(□□ 229)をご覧ください。
- 操作3で出る「動作中」の画面で「情報表示」をタッチすると、アクセスポイントのSSID、接続規格、本機のIPアドレス、本機のMACアドレスを確認できます。接続先を変更するときは「接続先変更」をタッチしてください。本機に記憶されているSSIDから、どれを使うかを変更できます。
- 操作3で出る「動作中」の画面で「情報表示」をタッチすると、アクセスポイントのSSID、接続規格、本機のIPアドレス、本機のMACアドレスを確認できます。接続先を変更するときは「接続先変更」をタッチしてください。本機に記憶されているSSIDから、どれを使うかを変更できます。
- 以下のMP4形式のシーンは、パソコンなどでは複数のファイルとして認識されます。
 - データ容量が4GBを超えるもの。
 - 録画モードが35Mbpsで30分以上のもの、または35Mbps以外で1時間以上のもの。

パソコンなどに転送する

CAMERA MEDIA

FTP転送

本機のFTP転送機能を使うと、本機に記録した動画や静止画を、FTPサーバーにワイヤレスで転送できます。この機能を使用するためには、家庭内ネットワークに接続されたアクセスポイント（無線親機）と、FTPサーバーの接続情報（FTPサーバーのIPアドレス、ポート、ユーザー名、パスワード、転送先にするフォルダーの場所（パス））の入力が必要です。あらかじめご確認ください。



動画形式 AVCHD MP4

1 動画のインデックス画面を出す

2 FTP転送を選ぶ

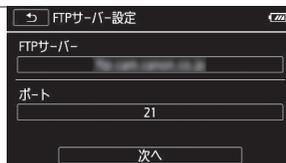
[MENU] (メニュー) → [Wi-Fi] → [FTP転送] をタッチする。



3 FTPサーバーを設定する

- ① 「FTPサーバー」にFTPサーバーのIPアドレス、「ポート」を入力→「次へ」をタッチする。
- ② 「ユーザー名」、「パスワード」を入力→「次へ」をタッチする。
- ③ 「転送先フォルダー」に「/」を入力→「次へ」をタッチする。
 - お使いのFTPサーバーの設定により「ポート」、「転送先フォルダー」の入力内容は異なります。お使いのFTPサーバーの設定をご確認ください。

参考 ▶ 「文字入力のしかた」(P.191)



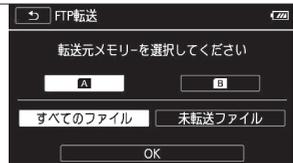
Wi-Fi

4 無線親機（アクセスポイント）に接続する

- 「アクセスポイントにWi-Fi接続する」(☐ 192)であらかじめ選択しているアクセスポイントに接続する。
 - アクセスポイントが未登録のときは、「アクセスポイントを登録します」が出る。
- ① **OK** をタッチする。
 - ② 「アクセスポイントにWi-Fi接続する」(☐ 192)の手順に沿ってアクセスポイントに接続する。

5 ファイルを転送する

- ① 転送元メモリーをタッチする。
 - 複数選択することもできる。
- ② 「すべてのファイル」または「未転送ファイル」
→ **OK** をタッチする。
 - ファイルの転送がはじまる。



ファイルの転送を中止するとき

- 「中止」をタッチする。
- 中止したところまで、ファイルは転送される。
- ③ **OK** をタッチする。
 - FTP転送を終了する。



ご注意

- ファイル転送中は、次のことを守ってください。Wi-Fi通信が中断され、転送先に不要なファイルが残ることがあります。
 - カードカバーを開けない。
 - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
- ファイル転送が中断したときは、「未転送ファイル」を選び、あらためて転送の操作を行ってください。新しいファイルとして転送されます。
- 転送先に不要なファイルが残っている場合は、十分に内容を確認してから、削除してください。

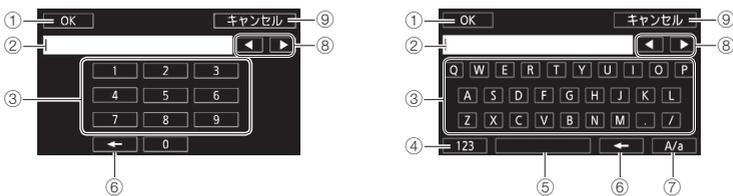


MEMO

アクセスポイントの性能や設定、通信状態によっては、ファイルの転送に時間がかかることがあります。

POINT 文字入力のしかた

手動で文字入力が必要なとき、キーボードが表示されます。キーボードを操作するときは、タッチパネルで操作してください。



①	OK	入力を決定したあと、キーボードを終了
②	—	入力エリア
③	—	文字入力キー
④	123 / ABC	アルファベット／数字の切替
⑤	—	スペースキー
⑥	←	バックスペースキー（カーソルの左の文字を削除）
⑦	A/a / #%? / *&+	アルファベット入力設定時：大文字／小文字の切替 数字入力設定時：記号入力
⑧	◀ ▶	カーソル移動キー
⑨	キャンセル	入力を中止

アクセスポイントにWi-Fi接続する

CAMERA MEDIA

アクセスポイント（無線親機）に接続します。アクセスポイントへの接続設定は、本機に4つまで記憶できます。

■ 必要なものを確認する

Wi-Fi接続を行う前に、必要なものを確認してください。

- アクセスポイントは、Wi-Fi認証を受け（右のロゴマークがある）、無線LAN規格IEEE802.11a/b/g/n対応のものであること。
- アクセスポイントと家庭内ネットワークが正しくセットアップされていること。



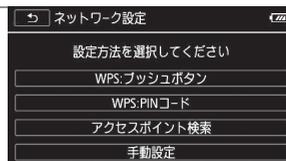
■ 接続方法を選ぶ

接続方法は次の4種類から選択できます。アクセスポイントについては、お使いの機器の説明書をご覧ください。

WPS : プッシュボタン*	アクセスポイントのボタンを押し続けたあと、本機の画面をタッチするだけ。アクセスポイントがWPSに対応していれば一番簡単に接続できます。
WPS : PINコード*	Webブラウザからアクセスポイントの設定画面を開き、カメラの画面に表示された番号を入力します。アクセスポイントがWPSに対応していて、パソコンなどアクセスポイントに接続済みの機器が必要です。
アクセスポイント検索	本機の画面上で、お使いのアクセスポイントのSSIDを選び、パスワードを入力します。
手動設定	アクセスポイントの名前とパスワードのほか、さまざまなネットワーク設定を手動で行います。無線LANやネットワークに詳しい上級者用の設定方法です。

* WPSとは、アクセスポイントへの接続を簡単に行うための規格です。

1 本機 使用する接続方法を選ぶ



「WPS:プッシュボタン」のとき 193

「WPS:PINコード」のとき 193

「アクセスポイント検索」のとき 194

「手動設定」のとき 195

■ WPSで接続する

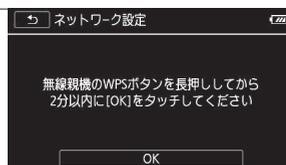


お使いのアクセスポイント（無線親機）がWPSに対応していれば、本機とアクセスポイントを簡単に接続できます。WPSの接続には、プッシュボタン方式とPINコード方式があります。「接続方法を選ぶ」(□ 192) で選んだ方法の操作をご覧ください。なお、WPSでうまく接続できないときは、「アクセスポイント検索で接続する」(□ 194)をお試しください。

「WPS：プッシュボタン」の場合

1 無線親機 WPS用のボタンを長押ししてWPSを起動する

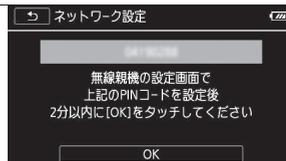
- 長押し時間は無線親機によって異なります。必ず、無線親機の説明書をご覧になってから操作を行い、無線親機がWPS起動状態になったことを確認してください。



「WPS：PINコード」の場合

1 無線親機 PINコードを設定してWPSを起動する

- パソコンなど無線親機と接続済みの機器のWebブラウザから、WPS (PINコード方式) の設定画面を開き、ビデオカメラの画面に表示された8桁の数字を入力して、WPSを起動する。



OK

2 本機 操作1から2分以内に **OK** をタッチする

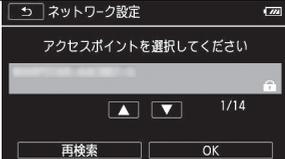
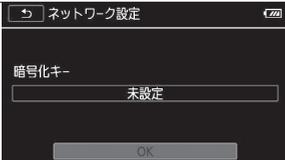
- 無線親機への接続を開始する。
- 設定が完了すると、選んだ機能の画面に戻る。
 「パソコンなどで見る」へ □ 187
 「パソコンなどに転送する」へ □ 189
 「アクセスポイント接続設定」へ □ 198

接続を中止するとき

「中止」→ **OK** をタッチする。

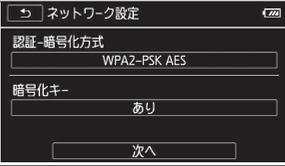
■ アクセスポイント検索で接続する

ビデオカメラが周囲のアクセスポイントを自動的に検出します。接続するアクセスポイントを選んでパスワード(暗号化キー)を入力し接続します。

	<h3>1 アクセスポイントの設定情報を確認する</h3> <ul style="list-style-type: none">● 接続するアクセスポイントのSSIDと暗号化キー(必要なとき)をあらかじめ確認する。	
▲▼ OK	<h3>2 接続するアクセスポイントを選ぶ</h3> <ul style="list-style-type: none">● 検出されたアクセスポイントのSSIDが出る。 <ol style="list-style-type: none">① ▲ / ▼ をタッチして接続するアクセスポイントを選ぶ。② OK をタッチする。	
OK	<h3>3 アクセスポイントの暗号化キー(パスワード)を入力する</h3> <ul style="list-style-type: none">● 操作2で選んだアクセスポイントに🔒が表示されていない場合、この操作は不要。 <ol style="list-style-type: none">① 暗号化キー入力エリアをタッチする。② 暗号化キーを入力→OKをタッチする。 <p>参考 ▶ 「文字入力のしかた」(191)</p>	
OK	<h3>4 OK をタッチする</h3> <ul style="list-style-type: none">● 設定が完了すると、選んだ機能の画面に戻る。 <ul style="list-style-type: none">「パソコンなどで見る」へ 187「パソコンなどに転送する」へ 189「アクセスポイント接続設定」へ 198	

■ 手動設定で接続する

アクセスポイントへの接続を手動で設定できます。また、ステルス機能が有効になっているなどにより、「アクセスポイント検索」でアクセスポイントが検出されないときも手動で接続できます。この接続方法は、無線LANやネットワークに詳しい上級者の方のみご利用ください。

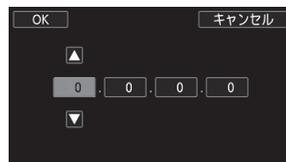
<p>1 SSIDを入力する</p> <p>① SSID入力エリアをタッチする。 ② SSIDを入力→「次へ」をタッチする。 参考 ▶▶ 「文字入力のしかた」(□□ 191)</p>	
<p>2 認証-暗号化方式を選択する</p> <p>① 認証-暗号化方式エリアをタッチする。 ② いずれかの認証・暗号化方式をタッチする。 ● 「OPEN WEP」選択時、WEPインデックスは1となる。</p>	
<p>3 暗号化キーを入力する</p> <p>● 操作2で「OPEN NONE」を選んだ場合、この操作は不要。 ① 暗号化キー入力エリアをタッチする。 ② 暗号化キーを入力する。 参考 ▶▶ 「文字入力のしかた」(□□ 191)</p>	
<p>4 「次へ」をタッチする</p>	
<p>5 IPアドレスの取得方法を選ぶ</p> <p>「オート」または「マニュアル」をタッチする。 ● オートをタッチしたときは操作7に進む。</p>	

6 IPアドレスなどをマニュアルで設定する

① IPアドレスの入力エリアをタッチする。



② ▲ / ▼をタッチしてIPアドレスの各値を入力→OKをタッチする。



③ ①～②と同じ要領でサブネットマスクを入力→「次へ」をタッチする。

④ ①～②と同じ要領でデフォルトゲートウェイを入力→「次へ」をタッチする。

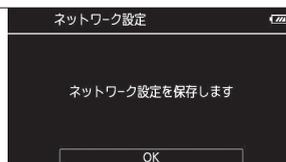
⑤ ①～②と同じ要領で各DNSサーバーを入力→「次へ」をタッチする。

OK

7 設定を保存する

OKをタッチする。

- 設定が完了すると、選んだ機能の画面に戻る。
「パソコンなどで見る」へ 187
「パソコンなどに転送する」へ 189
「アクセスポイント接続設定」へ 198



MEMO

使用できるWi-Fiの機能とセットアップ方法は、お使いのWi-Fiネットワークの設定や制限などによって異なります。

Wi-Fi設定を表示／変更する

CAMERA MEDIA

アクセスポイントへのWi-Fi接続やWi-Fi機器に直接接続するときのWi-Fi接続の設定内容を表示し、変更することができます。

1 設定を確認、変更する

[MENU] (メニュー) →  → 「Wi-Fi」をタッチする。

「スマートフォン接続設定」の場合

2 「スマートフォン接続設定」をタッチする

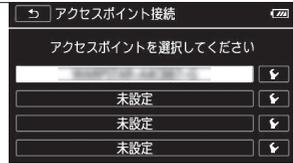
- ビデオカメラのSSIDが表示される。
- ▲ / ▼ で表示内容を切り換えることができる。
- 表示されるキーボードでカメラパスワード、ポート、使用無線帯域 (2.4 GHzまたは5 GHz) を変更する。



「アクセスポイント接続設定」の場合

2 「アクセスポイント接続設定」をタッチする

- 本機に記憶されている4つのSSIDが表示される。
- 「未設定」をタッチすると、「アクセスポイントにWi-Fi接続する」(□□ 192)の操作に進み、接続が終わるとこの画面に戻る。



▲▼ 3 アクセスポイント接続設定の内容を表示する

SSIDの横の▼をタッチする。

- 設定内容が表示される。
- ▲ / ▼で表示内容を切り換えることができる。



アクセスポイントの設定を消去するとき

いずれかの画面で「編集」→「消去」→「はい」をタッチする。

設定を変更するとき

いずれかの画面で「編集」→「手動設定」をタッチする。

- 「手動設定で接続する」(□□ 195)の操作に進む。

「FTPサーバー設定」の場合

2 「FTPサーバー設定」をタッチする

- 設定内容が表示される (□□ 189)。
- ▲ / ▼で表示内容を切り換えることができる。

設定を変更するとき

いずれかの画面で「編集」をタッチする。



用語の説明

この章の説明で使われている用語をまとめました。Wi-Fi関連の名称や略語の意味を知りたいときにご覧ください。

用語	説明	📖
暗号化キー	セキュリティで保護（暗号化）されたWi-Fiネットワークに接続するためのパスワード。アクセスポイントに設定され、使用される文字や文字数は、暗号化方式によって異なる。	195
暗号化方式	Wi-Fi通信を暗号化するための方式。暗号の破られにくい順に「WPA2-PSK AES / WPA-PSK AES」、 「WPA2-PSK TKIP / WPA-PSK TKIP」、 「WEP」となる。	195
サブネットマスク	IPアドレスからネットワークアドレスを識別するための数値。	196
ステルス機能	アクセスポイントなどのSSIDを他の機器から見えないようにする機能のこと。ネットワークへの接続を許可していない機器からの接続を防ぐために設定する。	195
代替DNSサーバー 優先DNSサーバー	パソコンのドメイン名をIPアドレスに変換するサーバーのこと。Domain Name Systemの略。	196
デフォルトゲートウェイ	使用しているネットワークと外部のネットワーク（インターネットなど）をつなぐ出入口となる機器のこと。	196
DHCPサーバー	IPアドレスを自動で振り分けるサーバーのこと。Dynamic Host Configuration Protocolの略。	235
FTPサーバー	FTPを使用してファイルの送受信を行うサーバーのこと。FTP：File Transfer Protocolの略。	189、 198
IPアドレス	ネットワークに接続されたパソコンや通信機器1台ずつに割り振られる識別番号（4組の数列*）のこと。* IPv4アドレスの場合。IP：Internet Protocolの略。	195
LAN	オフィスや家庭などのネットワークのこと。Local Area Networkの略。	174
PINコード	機器を識別するための認証パスワードのこと。PIN：Personal Identification Numberの略。	193
SSID	アクセスポイントを識別するための名前のこと。任意の英数字（最大32文字まで）を設定できる。Service Set Identifierの略。	195
Wi-Fi（ワイファイ）	Wi-Fi Allianceによって認証された、Wi-Fi機器同士の接続方式の名称。Wireless Fidelityの略。	172
WPS	アクセスポイント（無線親機）のWi-Fi接続やセキュリティの設定を容易に行うための規格。プッシュボタン方式とPINコード方式がある。Wi-Fi Protected Setupの略。	193

10

メニュー

FUNC. メニューの紹介 202

メニューの紹介 205

FUNC.メニューの紹介

撮影時の設定に使用するFUNC.メニューと、再生時に様々な編集操作を行うための編集メニューとがあります。ご購入時、FUNC.メニューは がついた内容に設定されています。各機能の詳細は、📖欄のページをご覧ください。

■ 撮影時に使う「FUNC.メニュー」

機能	設定内容	AUTO	M	CINEMA	📖
MENUメニュー	—	●	●	●	38
撮影モード	P (プログラムAE)、 Tv (シャッター優先AE)、 Av (絞り優先AE) M マニュアル露出		●	●	80
	📷ポートレート、🏃スポーツ、🌃夜景、❄️スノー、🏖️ビーチ、🌅夕焼け、🌑ローライト、🎆スポーツライト、🎆打上げ花火		●		89
🌟 強制逆光補正	ON 入、 OFF 切		●	●	85
WB ホワイトバランス	AWB オート、🌞太陽光、🏠日陰、☁️くもり、🦋蛍光灯、💡蛍光灯H、💡電球、 K 色温度、📷1セット1、📷2セット2		●	●	87
AGC AGCリミット	A オート、 M マニュアル		●	●	79
👁️ フォーカス	MF マニュアル：ON、OFF 指定被写体に合わせる		●	●	60
	PEAK ピーキング：ON、OFF ピーキング時白黒：切、入 ピーキング色：レッド、ブルー、イエロー		●	●	62
	[SET] フォーカス位置をプリセット/キャンセルする [ON] プリセットしたフォーカス位置に戻る		●	●	61
📷 露出	M マニュアル：ON、OFF 指定被写体に合わせる		●	●	82
	タッチ露出：ノーマル、ハイライト ゼブラパターン：ON、OFF 70%、100%		●	●	84 86
AUDIO オーディオシーン*1*2	Std スタンダード、🎵音楽、🗣️スピーチ、🌳森と野鳥、🔊ノイズカット c カスタム	●	●	●	100
📻 マイクレベル*1	A オート、 M マニュアル オートのとき：レベルメーター 入/切		●	●	102
ZOOM ズーム*2	ズーム操作 START/STOPボタンによる動画撮影/一時停止	●	●	●	68
	PHOTOボタンによる静止画撮影	●	●		
手ブレ補正	🌀ダイナミック、🌀スタンダード、📷切		●	●	77
ピクチャー設定	色の濃さ、シャープネス、コントラスト、明るさ ON、OFF		●		91

機能	設定内容	AUTO	M	CINEMA	📖
Wi-Fi Remote	ON、OFF	●	●	●	176

*1 動画撮影時のみ。

*2 **AUTO** (オート)モードに切り換えたとき、**M** (マニュアル)モードまたは**CINEMA** (シネマ)モードで設定した内容が保持されます (オーディオシーンはカスタムを除く)。

再生時に使う「FUNC.メニュー」

1シーンごと、選んだシーン、全シーン、特定の日に撮ったシーンなど、表示している画面によって、操作できる動画／静止画の数が異なります。

動画

機能	インデックス画面	インデックス画面からの再生一時停止中	📖
	📺 動画		
コピー *1 [A] ⇨ [B] [B] ⇨ [A]	ある日に撮ったシーン、選択シーン、全シーン	—	160
MP4変換 [A] ⇨ [B] [B] ⇨ [A]	選択シーン	—	164
消去	ある日に撮ったシーン、選択シーン、全シーン	1シーン	139
分割	—	●	141
トリミング	—	●	142

静止画

機能	📷 静止画		📖
	インデックス画面	再生中	
コピー [A] → [B] [B] → [A]	ある日に撮った静止画、選択した静止画、全静止画	1枚	161
消去	ある日に撮った静止画、選択した静止画、全静止画	1枚	155



MEMO 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、灰色で表示されます。

メニューの紹介

撮影／再生のモードによって設定できる機能が異なります。設定できる機能は表中に●で示しています。ご購入時は、.....の内容に設定されています。各機能の詳細は、□欄のページまたは欄外に説明があります。設定のしかたについては「メニューの設定を変える」(□ 38)をご覧ください。

📷 カメラ設定

機能	設定内容	📷	□
デジタルズーム	OFF 切、 400x 400x	●	—
	20x デジタルテレコン	●	76
ソフトズームコントロール	OFF 切、 START スタート、 STOP ストップ、 START/STOP スタート&ストップ	●	74
ズームスピードレベル	▶▶▶ ハイ、▶▶ ミドル、▶ ロー	●	69 73
グリップズームスピード	VAR (可変速)、 CONST (固定速) 1 ~ 16 (8)	●	69
ハンドルズームスピード	OFF (切)、 CONST (固定速) 1 ~ 16 (8)	●	72
リモコンズームスピード	1 ~ 16 (8)	●	73
ハイスピードズーム	ON 入、 OFF 切	●	—
AFモード	S.AF ハイスピードAF、 M.AF ミディアムスピードAF、 AF ノーマルAF	●	64
フォーカスアシスト	ON 入、 OFF 切	●	—
フェイスキャッチ&追尾	ON 入、 OFF 切	●	66
自動逆光補正	ON 入、 OFF 切	●	85
オートスローシャッター	ON 入、 OFF 切	●	—
NDフィルター	A オート、 OFF 切	●	—
コンバージョンレンズ	Tele TL-H58、 Wide WA-H58、 OFF 切	●	—
マルチシーンIS	📷 パワードISあり、📷 パワードISなし	●	48
マーカー表示	OFF 切、 E6 水平 (グレー)、 E8 水平 (黒)、 E6E8 グリッド (グレー)、 E6E8 グリッド (黒)	●	—
赤外ライト	ON 入、 OFF 切	●	—
赤外撮影色	WHITE 白、 GREEN 緑	●	122
内蔵マイクウィンドカット	H オートハイ、 L オートロー、 Low 、 OFF 切	●	104
内蔵マイクアッテネーター	A オート、 ON 入、 OFF 切	●	105
内蔵マイク周波数特性	NORM ノーマル、 LB 低域強調、 LC 低域カット、 MB 中域強調、 LHB 低域強調	●	106
内蔵マイク指向性	2ch MONO モノラル、 NORM ノーマル、 2ch WIDE ワイド、 2ch ZOOM ズーム	●	107
MICアッテネーター	A オート、 ON 入、 OFF 切	●	108
MICローカット	ON 入、 OFF 切	●	109
MIC端子入力選択	LINE 外部音源、 MIC マイク	●	109
CH2入力	INPUT1 INPUT 1、 INPUT2 INPUT 2、 INT/MIC 内蔵マイク / MIC	●	111

機能	設定内容		
INPUT 1 マイクトリミング	+12dB +12 dB、 +6dB + 6dB、 0dB 0 dB、 -6dB -6 dB、 -12dB -12 dB	●	113
INPUT 2 マイクトリミング	+12dB +12 dB、 +6dB + 6dB、 0dB 0 dB、 -6dB -6 dB、 -12dB -12 dB	●	113
INPUT 1 マイクアッテネーター	ON 入、 OFF 切	●	114
INPUT 2 マイクアッテネーター	ON 入、 OFF 切	●	114
INPUT 1/2 ALCリンク	LINK 連動、 SEP. 独立	●	112
INPUT 1/2 リミッター	ON 入、 OFF 切	●	113
Wi-Fi	スマートフォン接続設定、アクセスポイント接続設定、FTPサーバー設定	●	197

デジタルズーム

デジタルズームの倍率（最高倍率）を選びます。

- デジタルズームの倍率を設定してからズームを使うと、光学ズーム領域を越えた時点で自動的にデジタルズームになります。
- デジタルズーム領域では映像をデジタル処理するため、拡大するほど映像が粗くなります。

フォーカスアシスト

マニュアルフォーカス（ \square 60）でピントを調整しやすくするために、画面の中央を拡大し、くっきりと表示します。

- 記録する動画/静止画には影響しません。撮影を開始するか、4秒経過すると拡大表示は解除されます。

オートスローシャッター

明るさが不足する場所（暗めの室内など）で撮影する場合、シャッタースピードを自動的に遅くして、より明るい映像を記録します。

- 1/30秒までのスローシャッターに設定されます。なお、「フレームレート」（ \square 56）が「PF29.97」または「29.97P」のときは1/15秒に、「23.98P」のときは1/12秒に設定されます。
- **AUTO**（オート）モード、撮影モードが「**P**（プログラムAE）」、赤外線撮影を設定しているときに設定できます。
- 動きのある被写体を撮るとき、尾を引いたような残像が出る場合は、「切」を選びます。
- 画面に （手ブレ警告）が出たときは、三脚などでビデオカメラを固定することをおすすめします。

NDフィルター

NDフィルター制御の切り換えを設定します。

A（オート）にすると、F4.0のときNDフィルターが挿入されます。

撮影モードが「**P**（プログラムAE）」「**Tv**（シャッター優先AE）」「**Av**（絞り優先AE）」「**M**（マニュアル露出）」のときに設定できます。

コンバージョンレンズ

別売のテレコンバーター TL-H58（テレコン）やワイドアタッチメントWA-H58を取り付けるときに設定すると、それぞれの設定に合わせて手ブレ補正のしかた、最至近撮影距離が変わります。ワイドアタッチメントWA-H58を取り付けると、約0.75倍までの広角撮影ができます。最至近撮影距離はテレコンバーター使用時においてズーム全域で約130cmワイドアタッチメント使用時において約60cmです。ワイドアタッチメント設定時は、ズーム表示はズームバーの途中で止まります。

テレコンまたはワイドアタッチメントの設定に応じて、距離表示が適正になるように距離情報を変更しています。コンバージョンレンズを装着していない場合には設定を「切」にしてください。「切」以外に設定すると、メニューの「AFモード」が自動的に「ノーマルAF」に設定されます。

マーカー表示

画面に水平線や格子状の線(グリッド)を表示します。被写体の水平・垂直を確認しながら撮影できます。

- 水平線やグリッドは、撮影した動画/静止画には表示されません。

赤外ライト

赤外ライトの発光状態を選びます。赤外ライトを使用するときは、ハンドルユニットHDU-1(別売)を取り付けてください(☞ 24)。

ON 入

赤外撮影時に赤外ライトを発光する

OFF 切

赤外撮影時に赤外ライトを発光しない

INPUT 1/2 ALCリンク

録音レベルをオートで調整する場合、連動にすると、INPUT端子のCH1とCH2の録音レベル調整を連動できます。

INPUT 1/2リミッター

録音レベルをマニュアルで調整する場合、「入」にすると過大な音声入力によるひずみを防止できます。

再生設定

機能	設定内容	🔊	📷	📖
データコード表示	AVCHD : OFF 切、📅日付、🕒時刻、📅🕒日付&時刻、 📷カメラデータ MP4 : OFF 切、📅日付	●	●	—
テレビタイプ	4:3 4:3テレビ、16:9 ワイドテレビ	●	●	—
Wi-Fi	Movie Uploader、リモートブラウズ、メディアサーバー、FTP 転送、スマートフォン接続設定、アクセスポイント接続設定、 FTPサーバー設定	●		172

データコード表示

日付や時刻、カメラデータ(しぼり値やシャッタースピード)など、表示する撮影情報を選びます(📖 121)。

テレビタイプ

ステレオビデオケーブルSTV-250N(付属)でテレビにつないで見るときに、接続するテレビに合わせて選びます。映像の縦・横の比率を正しく再生します。

4 : 3 テレビ

4:3 テレビに接続するときを選ぶ。

16 : 9 ワイドテレビ

ワイドテレビに接続するときを選ぶ。

- 「4:3 テレビ」に設定しているとき、16:9で撮影した映像を再生すると、画面に表示される映像が小さくなります。

記録設定

機能	設定内容	🔊	🔊	📷	📖
動画形式	AVCHD AVCHD、MP4 MP4	●			41
録画モード	AVCHD : 28 Mbps LPCM (59.94P)、28 Mbps (59.94P)、 24 Mbps LPCM、24 Mbps、17 Mbps、5 Mbps MP4 : 35 Mbps (59.94P)、24 Mbps、17 Mbps、 4 Mbps、3 Mbps	●			52
記録先	📷 動画記録先 📁 カードA、📁 カードB	●			42
	📷 静止画記録先 📁 カードA、📁 カードB	●	●	●	
同時記録 / リレー記録	通常記録、同時記録、リレー記録	●			55
フレームレート	AVCHD : 59.94i 59.94i、PF29.97 PF29.97、23.98P 23.98P MP4 : 29.97P 29.97P、23.98P 23.98P	●			56

機能	設定内容				
MP4 Slow & Fast モーション	録画モード 35 Mbps (59.94P)設定時： OFF 切、 29.97P 29.97P、 23.98P 23.98P 録画モード24 Mbpsまたは17 Mbps設定時 フレームレート29.97P： OFF 切、 59.94P 59.94P、 23.98P 23.98P フレームレート23.98P： OFF 切、 59.94P 59.94P、 29.97P 29.97P	●			57
ビデオスナップ記録時間	2sec 2秒、 4sec 4秒、 8sec 8秒	●			119
タイムコードモード	PRESET Preset、 REGEN Regen.	●			92
タイムコードラン	RECRUN Rec Run、 FRERUN Free Run	●			92
DF / NDF	DF DF、 NDF NDF	●			93
タイムコードスタート値	00:00:00:00: ~ 23:59:59:29	●			92
ユーザービット出力モード	FIXED 固定値、 PULLDOWN プルダウン	●			94
ユーザービットタイプ	SET 設定、 TIME 時刻、 DATE 日付	●			94
カラーバー	OFF 切、 SMPTE SMPTE、 ARIB ARIB	●			117
1 kHz テストトーン	-12dB -12 dB、 -18dB -18 dB、 -20dB -20 dB、 OFF 切	●			117
ファイル番号	 オートリセット、  通し番号	●	●	●	—
メモリー残量表示	—	●			—
メモリー使用量表示	—		●	●	—
初期化 [SD]	A カードA、 B カードB	●	●	●	40

ファイル番号

個々のMP4動画／静止画に付けられる番号（ファイル番号）の付けかたを選びます。撮影されたMP4動画／静止画は、自動的に100-0001、100-0002、100-0003のように順に番号が付けられ、カード内のフォルダーに保存されます。

オートリセット

初期化されたカードに記録する場合、ファイル番号は常に100-0001から始まる。カード内にすでにMP4動画／静止画が記録されているときは、その続きの番号になる。

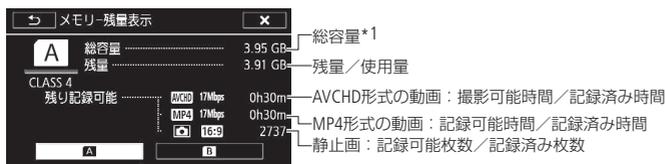
通し番号

ファイル番号は、最後に記録したMP4動画／静止画の続き番号から始まる。ただし、カードに記録されているファイル番号のほうが大きいときは、その続き番号になる。パソコンで管理するときなどに便利。

- 通常は「通し番号」に設定しておくことをおすすめします。
- 1つのフォルダーにはMP4動画と静止画を合わせて500個までのファイルを保存することができ、それを超えると自動的にフォルダーが作成されます。
- ファイル番号は、メモリー内に作られるフォルダーの番号（上3桁）とMP4動画／静止画固有の番号（下4桁）を表しています*。
* ファイル番号の範囲は、上3桁が100～999、下4桁が0001～9999です。
- 自動的に日付がフォルダー名として付けられます。5月1日に記録したカードをパソコンで見ると、ファイル番号が「100-0107」の場合、「DCIM ¥100_0501」というフォルダーの中に「MVI_0107.MP4」または「IMG_0107.JPG」というファイル名で表示されます。

メモリー残量表示／メモリー使用量表示

カードの総容量/使用量、動画の撮影時間/撮影可能時間*1、静止画の記録枚数/記録可能枚数*1を確認できます。カードのSDスピードクラスも確認できます。



例：メモリー残量表示／カードAを選択した場合を載せています。

*1 現在設定している動画の録画モードや、静止画のサイズ（1920×1080）をもとに算出します。

☐ その他機能

機能	設定内容	📺	📺	📺	📖
言語	日本語、ENGLISH	●	●	●	
エリア/サマータイム	エリア：🏠(自宅)、✈️(旅行先) *サマータイム：ON、OFF	●	●	●	—
日付/時刻	日付/時刻：— 日時スタイル：Y.M.D、M.D.Y、D.M.Y 24H表示：ON、OFF	●	●	●	35
有機ELパネル明るさ	HIGH 高輝度、 NORM 通常、省電モード	●	●	●	
有機ELパネル対面ミラー	ON 入、 OFF 切	●			
有機ELパネルカラーバランス	[B] (青)：-25 to +25(0)、 [R] (赤)：-25 to +25(0)	●	●	●	
VF明るさ	HIGH 高輝度、 NORM 通常	●	●	●	—
ヘッドホン音量	0 ~ 15(8)	●	●	●	115
スピーカー音量	0 ~ 15(8)		●	●	137
おしらせ音	大、 小、 OFF 切	●	●	●	
オーディオ出力CH	CH1/2 CH1/CH2、 CH1/1 CH1/CH1、 CH2/2 CH2/CH2、 All/All All/All	●	●	●	150
モニターディレイ	LINE ライン出力、 NORM ノーマル	●			149
リモコンセンサー	ON 入、 OFF 切 OFF	●	●	●	
タリーランプ	ON 入、 OFF 切	●	●	●	
CUSTOMダイヤル&ボタン	Tv/Av、 M マニュアル露出、 AGC AGCリミット、 露出、 OFF 切	●			
アサインボタン1～アサインボタン5	パワードIS、* 強制逆光補正、 フェイスオンリー AF、 ビデオスナップ、 WB 優先WB、 プレ REC、 赤外ライト、 CH/CH オーディオ出力CH、 AF/MF AF/MF、 RECREVIEW レックレビュー、 FUNC. 撮影モード、 FUNC. 強制逆光補正、 FUNC. ホワイトバランス、 FUNC. AGCリミット、 FUNC. フォーカス、 FUNC. 露出、 FUNC. オーディオシーン、 FUNC. マイクレベル、 FUNC. スーム、 FUNC. 手ブレ補正、 FUNC. ピクチャー設定、 FUNC. Wi-Fi Remote、 OFF 切 初期設定： アサインボタン1 AF/MF AF/MF アサインボタン2 プレ REC アサインボタン5 RECREVIEW レックレビュー	●			129

機能	設定内容				
パワードISボタン	押し続け、ON/OFF切り換え	●			—
優先WB登録	オート、太陽光、日陰、くもり、蛍光灯、蛍光灯H、電球、色温度、1セット1、2セット2	●			—
フォーカスリング操作方向	ノーマル、リバース	●			—
フォーカスリング敏感度	ハイ、ミドル、ロー	●			—
フォーカスP.スピード	ハイ、ミドル、ロー	●			—
バッテリー情報	—	●	●	●	—
XA25 出力端子	切、SDI HD/SD-SDI、SDI&HDMI HD/SD-SDI&HDMI、HDMI、AV AV OUT	●	●	●	145
記録コマンド	入、切	●			50
XA25 HD/SD-SDI出力	480i、720P、1080i	●	●	●	145
HDMI出力	A オート、480i、480P、720P、1080i、1080P	●	●	●	145
HDMIタイムコード	入、切	●	●	●	—
HDMI出力状態	—	●	●	●	—
オンスクリーン表示	入、切	●	●	●	—
距離単位	メートル、フィート	●	●	●	—
メニュー設定保存	保存、読み込み	●			131
GPS自動時刻設定	切、自動更新	●			—
GPS情報表示	緯度、経度、標高、UTC、衛星補足状態のリアルタイム表示	●			—
認証マーク表示	—	●	●	●	—
デモモード	入、切	●			—
Firmware	—	●			—
設定初期化	—	●	●	●	—

言語

画面に表示される言語を変えます。

エリア/サマータイム

住んでいる地域と旅先の地域をそれぞれ設定できます。設定は、またはを選んだあと、またはをタッチして地域を選びます。選んだ地域がサマータイムを導入しているときは (サマータイム)をONにします。

有機ELパネル明るさ

有機ELパネルの輝度を2段階で切り換えます。屋外撮影時、太陽光などで画面が見にくいときは明るくしてください。「省電モード」を設定すると、照度センサー (📐 14) を使用し、撮影環境に応じて、パネルの輝度が自動的に切り換わります。画質調整等のモニター使用時は、「省電モード」を解除してください。

- 記録される映像や、テレビで再生する映像の明るさは変わりません。
- 画面を明るくすると、バッテリーの使用時間が短くなります。
- 「デモモード」が「ON」、デモモードが動作していないときにコンパクトパワーアダプター (ACアダプター) を接続すると、自動的に「高輝度」に切り換わります。
- 「省電モード」のとき、約3分間何も操作しないと、自動的に輝度が下がります。何らかの操作をすると、元の設定に戻ります。動画撮影中／再生中は自動的に輝度は下がりません。

有機ELパネル対面ミラー

画面をレンズ側に向けて、被写体に画面を見せながら撮るときなどは「入」にします。

有機ELパネルカラーバランス

有機ELパネルのカラーバランスを調整することができます。

画面を見ながら、「B」または「R」それぞれのバーの「+」と「-」をタッチして、パネルのカラーバランスを調整します。

VF明るさ

ビューファインダーの明るさを2段階で切り換えます。画面が見にくいときは明るくしてください。

おしらせ音

「🔊」大または「🔊」小) を選ぶと、本機の操作に応じて音が鳴ります。

- プレREC (📐 120) を「ON」にしていると、おしらせ音は鳴りません。

リモコンセンサー

リモコン (📐 18) の信号を受け付けるかどうかを設定します。

タリーランプ

「入」にすると、撮影時、リモコン受信時、バッテリー消耗時、カード空き容量がないときに、タリーランプが点灯および点滅します。「切」にすると、タリーランプは点灯および点滅しません。ハンドルユニットHDU-1 (別売) を取り付けているときに使用できます。

パワードISボタン

アサインボタン (□ 129)に割り当てたパワードISの操作のしかたを選びます。

押し続け	ボタンを押している間だけ、パワードISが働く。
ON/OFF切り替え	ボタンを押すとパワードISがONになり、もう一度押すとOFFになる。

優先WB登録

アサインボタンで優先WBを使用時、設定する項目を選択します。

フォーカスリング操作方向

フォーカス／ズームリングの操作方向を設定します。

フォーカスリング敏感度

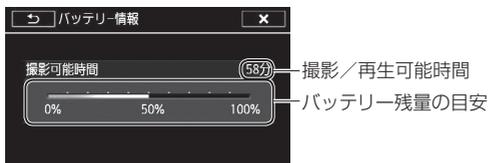
フォーカス／ズームリングの敏感度を設定します。

フォーカスP.スピード

フォーカスプリセットのスピードを設定します。

バッテリー情報

バッテリーの残量 (%)と撮影／再生可能時間 (分単位まで)を確認できます。



- バッテリーが消耗していると表示されないことがあります。

HDMIタイムコード

「入」にすると、HDMI信号にタイムコードを重畳します。

HDMI 出力状態

現在のHDMI出力端子の出力状態を確認できます。

オンスクリーン表示

画面に表示される情報を、本機に接続した画面に表示します。

距離単位

以下のときに表示される単位を選びます。

- マニュアルフォーカス時、ピントを合わせたときの被写体までの距離。
- GP-E2使用時の標高表示。

GPS自動時刻設定

GPSから得られる時刻情報を本機に設定できます。機能の詳細については、GP-E2の使用説明書「GPSの時刻をカメラに設定する」のページも合わせてご確認ください。

GPS情報表示

機能の詳細については、GP-E2の使用説明書「GPSの信号を受信する」の「GPS情報を表示する」のページも合わせてご確認ください。

認証マーク表示

本機が対応している認証マークの一部を確認できます。

デモモード

機能紹介（デモモード）の映像を画面に表示します。

- コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）使用時に、カードが入っていない状態で約5分経過するとデモモードとなり、機能紹介が始まります。デモモードにしない場合は、「切」に設定します。
- なんらかの操作をするとデモモードは終了します。

Firmware

ビデオカメラの、現在のバージョンを確認できます。

- 通常は灰色で表示されます。

設定初期化

すべての設定を解除して、ご購入時の設定に戻します。

その他

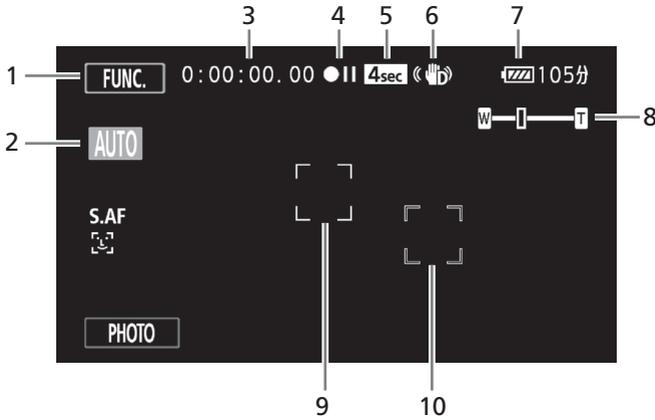
画面の見かた	218	海外で使う	246
トラブルシューティング	224	アクセサリ紹介	248
メッセージが出たら?	230	主な仕様	251
安全上のご注意	237	索引	261
取り扱い上のご注意	240	保証書とアフターサービス	274
日常のお手入れ	245	修理について	275

画面の見かた

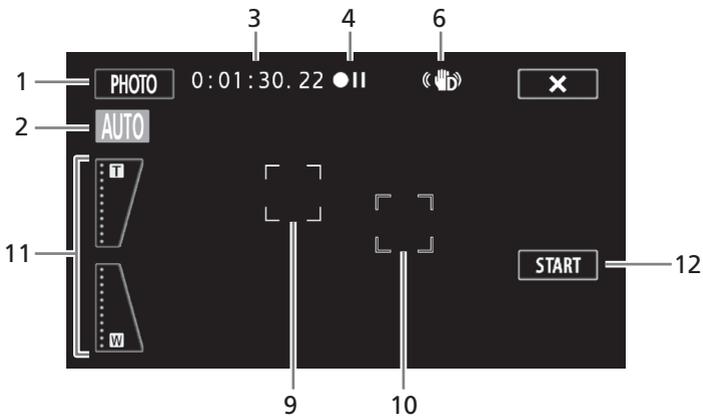
撮影中や再生中に表示される情報です。

■ 撮影時の画面表示

AUTO (オート)モード



AUTO (オート)モード (ズームボタン使用時)

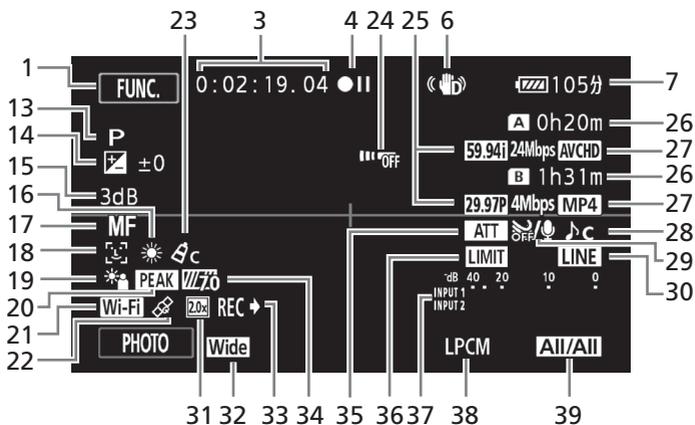


- 1 [PHOTO] ボタン ▶▶ 46 /
[FUNC.] メニュー ▶▶ 202
- 2 こだわりオート ▶▶ 47
- 3 タイムコード
(時：分：秒：フレーム数) ▶▶ 92
- 4 撮影状況
●：撮影(録画) ●||：撮影一時停止
- 5 **4sec** ビデオスナップ ▶▶ 119
📷 プレREC ▶▶ 120
- 6 手ブレ補正 ▶▶ 48、77
- 7 バッテリー残量の目安



バッテリーの残量の目安をマークで、撮影または再生可能な時間を分で表示します。
🔴が赤く表示されたら、バッテリーが消耗しています。充電したバッテリーと交換してください。本機やバッテリーの状態によっては、実際のバッテリー残量と表示内容が一致しない場合があります。

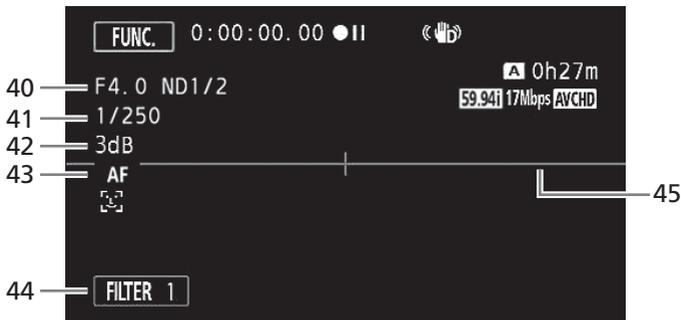
M(マニュアル)モード



- | | |
|--|---|
| <p>13 P撮影モード
 TR INFRAREDモード、
 ★OFF 赤外ライトON/OFF ▶▶ 122</p> <p>14 露出 ▶▶ 83</p> <p>15 AGCリミット ▶▶ 79</p> <p>16 ホワイトバランス ▶▶ 87</p> <p>17 フォーカス ▶▶ 60</p> <p>18 ☺ フェイスキャッチ&追尾 ▶▶ 66
 ☺ フェイスオンリー AF ▶▶ 67</p> <p>19 強制逆光補正 ▶▶ 85</p> <p>20 ピーキング ▶▶ 62</p> <p>21 Wi-Fi Remote ▶▶ 176</p> <p>22 GPS ▶▶ 124
 GPSレシーバー GP-E2(別売)を装着したとき表示されます。</p> <p>23 ピクチャー設定 ▶▶ 91</p> <p>24 リモコンセンサー ▶▶ 214</p> <p>25 フレームレート ▶▶ 56 /
 録画モード ▶▶ 55</p> | <p>26 撮影可能時間
 A/BカードA /カードB
 ☑/☑リレー記録 ▶▶ 55</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「同時記録」(▶▶ 55)を設定しているときは、A/Bのカードが表示されます。 ● 「Slow & Fastモーション」設定時は撮影フレームレート/再生フレームレートが表示されます。 <p>カードに空きがなくなると、「AEND」または「BEND」が赤く点灯し、停止します。</p> <p>27 動画形式 ▶▶ 41</p> <p>28 オーディオシーン ▶▶ 100</p> <p>29 内蔵マイクウィンドカット ▶▶ 104</p> <p>30 MIC端子入力選択 ▶▶ 110</p> <p>31 デジタルテレコン ▶▶ 76</p> <p>32 コンバージョンレンズ ▶▶ 207</p> <p>33 記録コマンド ▶▶ 50</p> |
|--|---|

- 34 ゼブラパターン ▶▶ 86
- 35 マイクアッテネーター ▶▶ 105
- 36 INPUT1/2リミッター ▶▶ 113
- 37 レベルメーター ▶▶ 102、112
- 38 音声記録形式 ▶▶ 52、96
「録画モード」で「28 Mbps LPCM (59.94P)」または「24 Mbps LPCM」を選択しているとき、表示されます。
- 39 オーディオ出力CH ▶▶ 150

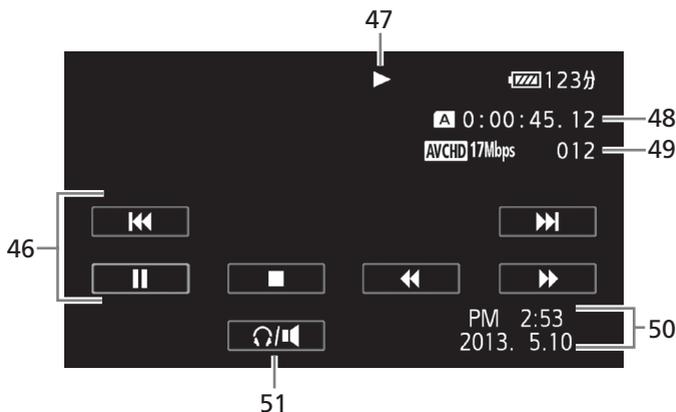
CINEMA (シネマ)モード



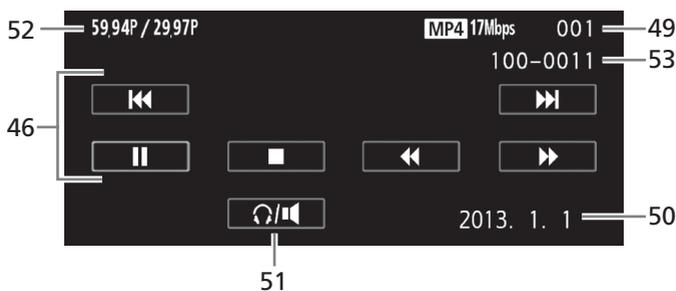
- 40 しぼり数値／NDフィルター ▶▶ 82
- 41 シャッタースピード ▶▶ 82
- 42 ゲイン ▶▶ 82
- 43 ハイスピードAF ▶▶ 64
- 44 シネマルックフィルター ▶▶ 58
- 45 マーカー ▶▶ 208

再生のときの画面

動画のとき（操作ボタン表示時）



MP4動画のとき



46 操作ボタン（動画）

47 再生状況

- ▶：再生 ||：再生一時停止
- ▶▶：早送り ◀◀：早戻し
- ◀||▶：逆スロー再生/スロー再生
- ◀|||▶：コマ戻し/コマ送り

48 タイムコード

49 再生シーン番号

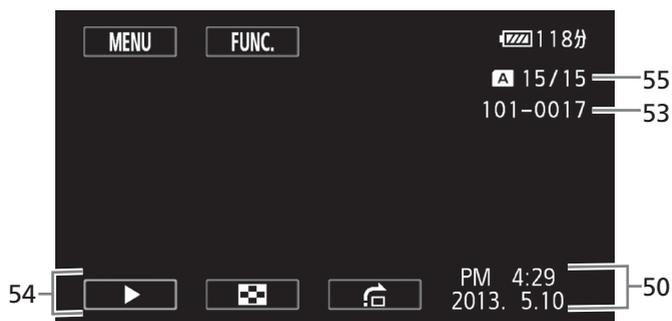
50 データコード ▶▶ 209

51 ヘッドホン音量/スピーカー音量 ▶▶ 115、137

52 Slow & Fastモーション ▶▶ 57

53 ファイル番号 ▶▶ 211

静止画のとき（操作ボタン表示時）



54 操作ボタン（静止画）

55 表示枚数／全枚数

トラブルシューティング

修理に出す前にこの「トラブルシューティング」で説明する内容をもう一度確認してください。それでも直らないときは、カメラ修理受付センター（☎ 275）またはご購入になった販売店にご相談ください。

■ まずココを確認しよう！

電源

- バッテリーは充電されていますか？（☎ 20）
- 本機はコンパクトパワーアダプター（ACアダプター）で正しく接続されていますか？（☎ 20）

撮影するとき

- 電源を入れてCAMERAモードにしていますか？ MEDIAモードになっているときはCAMERAモードに切り換えてください。（☎ 31）
- 本機にカードが入っていますか？（☎ 36）

再生するとき

- 電源を入れてMEDIAモードにしていますか？ CAMERAモードになっているときは、MEDIAモードに切り換えてください。
- 本機にカードが入っていますか？（☎ 36）

その他

- 本機を振るとカタカタ音がするときは？ CAMERAモードにして音がしなければ、内部のレンズが動く音です。故障ではありません。

■ 電源

こんなときは	どうするの？	☎
電源が入らない。 途中で電源が切れる。	<ul style="list-style-type: none">● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。● バッテリーを正しく取り付け直す。	20
バッテリーが充電できない。	<ul style="list-style-type: none">● 電源を切ってから充電する。● バッテリーの温度が使用温度（約0℃～40℃）の範囲外になったため充電を停止した。バッテリーを取り外し、温めるかまたは放置して使用温度の範囲内になってから、充電を行う。● 周囲の温度が約0℃～40℃のときに充電する。● バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。● 本機と通信できないバッテリー（キヤノン推奨以外）が取り付けられているため、充電できない。● キヤノン推奨のバッテリーを使用している場合は、ビデオカメラまたはバッテリーの故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	20 275

こんなときは	どうするの？	📖
コンパクトパワーアダプター (ACアダプター) から音がする。	● コンパクトパワーアダプター (ACアダプター) を使用中に小さな音がすることがある。故障ではない。	—
常温でバッテリーの消耗が極端に早い。	● バッテリーの寿命と考えられる。新しいバッテリーを購入する。	—

■ 撮影中

こんなときは	どうするの？	📖
START/STOPボタンを押しても録画しない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 撮影した映像を本機に書き込んでいる間は録画できない。書き込み終了まで待つ。 ● メモリーに空き容量がない。または3999シーン記録されている。不要なシーンや静止画を消すか、初期化する。 ● MP4形式の動画や静止画に割り当てられるファイル番号が最大になったためカードに記録できない。新しいカードを入れて、メニューの「ファイル番号」を「オートリセット」にする。 	— 40 139 211
START/STOPボタンを押した時点と、記録されたシーンの始めと終わりの時点が異なる。	● START/STOPボタンを押してから、録画の開始・終了までに、多少時間がかかることがある。故障ではない。	—
ピントが合わない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 被写体によってはピントが自動で合いにくいことがある。手動でピントを調整する。 ● レンズやハイスピードAFセンサーが汚れているのでお手入れする。 	60 245
被写体が横切るとき、被写体がゆがんで見える。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、本機の前を被写体が素早く横切ると、少しゆがんで見えることがある。故障ではない。	—
動画の「●撮影／●II撮影一時停止／▶再生」の切り換えに時間がかかる。	● シーン数が多いとこのようになることがある。動画と静止画をバックアップしてカードを初期化する。	40 158 160 164 167
動画や静止画を正しく記録できない。	● 記録や消去を繰り返すと、このようになることがある。動画と静止画をバックアップしてカードを初期化する。	40 158 160 164 167
動画撮影中、静止画を記録できない。	● CINEMA (シネマ) モードのときは静止画を記録できない。	—
長時間使うと熱くなる。	● 長時間使いつづけると熱くなることがあるが、そのまま使用しても問題ない。本機の温度が急激に上昇したり、持てないほど熱くなったときは故障の可能性はある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	275

再生中

こんなときは	どうするの？	📖
シーンの消去ができない。	● 他機で記録・編集したシーンは消去できないことがある。	—
シーンの消去に時間がかかる。	● シーン数が多いとこのようになることがある。動画と静止画をバックアップしてカードを初期化する。	40 158 160 164 167
シーンを分割できない。	● 他機で記録・編集したシーンは分割できない。 ● カードに空き容量がない。不要なシーンや静止画を消す。	— 139 155
シーンまたは静止画をコピーできない。	● 他機で記録したシーンや静止画はコピーできないことがある。	—
シーンまたは静止画を選択できない。	● シーンや静止画は、100個を超えて選択できない。「選択」ではなく、「全シーン」または「すべての静止画」を使う。	—

表示やランプ

こんなときは	どうするの？	📖
画面で🔴が赤く点灯する。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。	20
画面に🔴が出る。	● 本機と通信できないバッテリーが取り付けられているため、使用可能時間を表示できない。	—
タリーランプが点灯しない。	● メニューの「タリーランプ」を「入」にする。	214
タリーランプが早く点滅する。 1秒間に4回の点滅	● バッテリーが消耗している。十分に充電されたバッテリーと交換する。 ● カードに空き容量がない、別のカードと入れ換えるか、不要なシーンや静止画を消す	20 139 155
🔴または🔴が赤く点灯する。	● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要なシーンや静止画を消す。	37 40 139 155
🔴または🔴が赤く点灯する。	● カードエラー。電源を切り、カードを出し入れする。それでも赤く点灯しているときは、カードを初期化する。	139 155
撮影を中断してもACCESSランプが点灯している。	● 撮影したシーンをメモリーに書き込んでいる。故障ではない。	—

こんなときは	どうするの？	📖
充電中にCHGランプが速く点滅する。 (0.5秒に1回の点滅)	<ul style="list-style-type: none"> ● バッテリーの温度が使用温度(約0℃～40℃)の範囲外になったため充電を停止した。バッテリーを取り外し、温めるかまたは放置して使用温度の範囲内になってから、充電を行う。 ● 周囲の温度が約0℃～40℃のときに充電する。 ● バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。 ● コンパクトパワーアダプター(ACアダプター)、バッテリーに異常があるため、充電が中止される。カメラ修理受付センターにご相談ください。 	275

画面や音

こんなときは	どうするの？	📖
画面が暗い。	● 「有機ELパネル明るさ」で明るさを調整する。	214
画面がついたり消えたりを繰り返す。	<ul style="list-style-type: none"> ● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。 	20
画面に通常出ない文字が出たり、正常に動作しない。	● 電源を取り外し、しばらくしてから取り付ける。	12 20
画面にノイズが出る。	● プラズマテレビや携帯電話などから離して本機を使用する。	240
画面に横帯が出る。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、撮影時の照明によっては横帯が見えることがある。撮影モードを TV にしているときは P に切り換えると軽減する。故障ではない。	80
ビューファインダーの画像がはっきりしない。	● 画像がはっきり見えるように視度調整レバーを動かす。	26
ビューファインダーに映像が出ない。	● ビューファインダーを引き出す。	26
音声が記録されない	<ul style="list-style-type: none"> ● INPUT端子入力切り換えスイッチが正しく切り換えられてない。 ● INPUT端子にファンタム電源が必要な外部マイクを取り付けたときに、INPUT端子感度切り換えスイッチを「MIC+48V」に切り換えていない。 ● Φ3.5mmマイク端子にマイクを取り付けているが、マイクのスイッチがOFFになっている。または、マイクの電池が切れている。 ● 音声レベルが正しく設定されていない。 	—
音がひすんだり、実際より小さく記録される。	● マイクレベルを手動で調整する。	102
映像は出るが、内蔵スピーカーから音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● スピーカーの音量が「切」になっているので、音量を調整する。 ● ステレオビデオケーブルをはずす。 	137 —

■ アクセサリー

こんなときは	どうするの？	📖
カードが入らない。	● 正しい向きでカードを入れる。	37
カードに記録できない。	● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要なシーンや静止画を消す。 ● はじめて使用するときは、カードを初期化する。 ● カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、反対側にする。 ● 動画を記録する場合は、対応しているカードを確認する。 ● MP4形式の動画や静止画に割り当てられるファイル番号が最大になったため、カードに記録できない。新しいカードを入れて、メニューの「ファイル番号」を「オートリセット」にする。	37 139 155 40 37 36 211
リモコンが動作しない。	● メニューの「リモコンセンサー」を「入」にする。 ● リモコンの電池を交換する。	214 29

■ 他機

こんなときは	どうするの？	📖
テレビの放送画面にノイズが出る。	● テレビの近くで使用するとき、テレビやアンテナケーブルからコンパクトパワーアダプター (ACアダプター) を離す。	—
再生しても、テレビに映像が出ない。	● テレビの設定を、接続した端子に切り換える。	—
ハイスピードHDMIケーブルで接続しているとき、テレビに映像や音が出ない。	● ハイスピードHDMIケーブル (付属) を抜き差しするか、本機の電源を入れ直す。 ● 「HDMI出力」で A (オート) 以外を設定しているとき、接続したモニターが、設定した出力信号形式に対応していない。対応する出力信号形式に設定する、または A (オート) にする。	148
正しく接続しているのにパソコンから本機が認識されない。	● 接続ケーブルを抜き差しし、本機の電源を入れ直す。 ● パソコンの別のUSB端子につなぐ。	—
静止画やMP4をパソコンに取り込めない。	● カードに2500枚以上 (Windows) / 1000枚以上 (Mac OS) の静止画とMP4があると、パソコンに取り込めないことがある。 ● カードリーダーなどを使って取り込む。	—

Wi-Fi 接続

お使いのアクセスポイント（無線親機）の説明書も合わせてご覧ください。

こんなときは	どうするの？	📖
アクセスポイント（無線親機）に接続できない。	● アクセスポイントが正常に起動しているか確認する。	—
	● 電波状況によっては通信可能な距離が短くなることがある。本機とアクセスポイントの距離を近づける。	—
	● コードレス電話機、電子レンジ、冷蔵庫などからの電波と干渉することがある。これらの機器から離れた場所で操作する。	241
	● Wi-Fi 設定をするとき、アクセスポイントでステルス機能を有効にしていると、アクセスポイントを検出できない。「手動設定」で接続するか、アクセスポイントのステルス機能を無効にする。	195
動画がパソコンなどからスムーズに再生されない	● 接続しているアクセスポイントの性能や設定、通信状態によっては、動画がスムーズに再生されないことがある。	—
	● パソコンとアクセスポイントは、LANケーブルを使用して有線で接続する。	—
	● 本機とアクセスポイントの間に障害物を置かない。	—
	● 本機とアクセスポイントを近づける。	—
	● 接続しているパソコンなど以外のWi-Fi機器、Bluetooth機器などの通信を切る。	187
	● 無線親機（アクセスポイント）の通信を、IEEE802.11 nに切り換える。	—
● 上記の設定を行っても、機器や環境によっては、スムーズに再生されないことがある。その場合は、付属のハイスピードHDMIケーブルをテレビに接続して再生する。	—	
ファイル転送中にWi-Fi通信が切れた。	● ファイル転送中にWi-Fi通信が切れると、転送先に不要なファイルが残ることがある。	—
	● ファイル転送が中断したときは、「未転送ファイル」を選び、あらためて転送の操作を行う。新しいファイルとして転送される。	—
	● 転送先に不要なファイルが残っている場合は、十分に内容を確認してから、削除する。	—
本機にWi-Fi接続できない	● メニューの「設定初期化」を行うと、本機のSSIDが初期設定になり、パスワードが「未設定」となるのでパスワードを再設定する。Wi-Fi機器で以前のネットワーク設定を削除したあと、本機に接続する。	176

メッセージが出たら？

本機の画面にメッセージが出たときは、次のような対処をしてください。Wi-Fi機能使用時のメッセージについては234ページをご覧ください。

メッセージ	どうするの？	📖
23.98Pと29.97P(59.94iと23.98P)(PF29.97と23.98P)のシーンは結合変換できません	● 「23.98P」と「29.97P」、「59.94i」と「23.98P」、「PF29.97」と「23.98P」のシーンは結合してMP4変換できない。結合を解除してMP4変換する。	164
59.94Pのシーンは変換できません	● 59.94Pのシーンは変換できない。	164
空き容量が不足しています	● カードの不要なシーンや静止画を消去する。 ● 「録画モード」がAVCHDの場合は「5 Mbps」、MP4の場合は「3 Mbps」に設定する。 ● カードの空き容量がコピーするデータ量より小さい。カードの不要なシーンを消すか、コピーするシーンを減らす。	139 155 52 160
カードカバーがあいています	● カードを入れたらカードカバーを閉じる。	37
カードがありません	● カードを本機に入れる。	37
カードがいっぱいです	● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要なシーンや静止画を消す。	37 139 155
カードシーン数がいっぱいです	● カードにAVCHD形式の動画が3999シーン記録されているため、動画のコピーができない。カードの不要なシーンを消す。	139
カードテレビ方式が異なります 認識できません	● カードに記録されている動画のテレビ方式が異なるため再生できない。	
カードにアクセス中です カードを取り出さない でください	● カードにアクセスしているときに、カードカバーを開けた。またはカードカバーを開けたときにアクセスし始めた。メッセージが消えるまでカードを絶対に抜かない。	—
カードA(B)に書き込み エラーがあります データの修復を試み ますか？ 最大約3分かかります	● 記録中に電源がはずれた後、電源を入れた。撮影データを修復するときは「修復する」を選ぶ。他機で記録したカードを入れたときは「いいえ」を選ぶことを推奨します。	—
カードの誤消去防止ツマミを確認してください	● カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているため、カードに書き込めない。誤消去防止ツマミを反対側にする。	37
カードの修復が必要です カードの誤消去防止ツマミを解除してください	● カードに記録中に電源が切れた後、カードの誤消去防止ツマミをLOCK側にした。誤消去防止ツマミを反対側にする。	37

メッセージ	どうするの？	📖
カードへの書き込みが間に合わないため記録を中止しました	<ul style="list-style-type: none"> ● カードの書き込み速度が遅いため、記録を中止した。SDスピードクラス4、6または10のカードを使用する。 * 録画モードを「28 Mbps LPCM (59.94P)」や「28 Mbps (59.94P)」[35 Mbps (59.94P)]に設定時はSDスピードクラス6、10のカードを使用する。 ● 「Slow & Fastモーション」記録設定時は、クラス10のカードを使用する。 ● 撮影や編集を繰り返しているカードでは、データの書き込み速度が低下して、記録が停止することがある。本機でカードを初期化してから使用する。 	36 40
カードを確認してください	<ul style="list-style-type: none"> ● カードにアクセスできない。カードが正しく入っているか、カードに不具合がないか確認する。 ● カードにエラーがあり、記録や再生ができない。カードを出し入れするか、別のカードと入れ換える。 ● マルチメディアカードを入れた。推奨のカードを入れる。 ● 「カードを確認してください」が4秒後に消えて[A]または[B]が赤く点灯するときは、電源を切り、カードを出し入れする。[A]または[B]が緑色に点灯すれば、そのまま記録や再生ができる。それでも赤く点灯しているときは、動画と静止画をバックアップして初期化する。 	37 — 36 37 40 158 160 164 167
画像がありません	<ul style="list-style-type: none"> ● 静止画を撮影する。 	44
記録できません カードを確認してください	<ul style="list-style-type: none"> ● カードに異常があるため、記録できない。 ● カードを完全初期化する。それでも解決しない場合は、別のカードと入れ換える。 	40
このカードでは動画記録できないことがあります	<ul style="list-style-type: none"> ● SDスピードクラスに対応していないカードまたはスピードクラス2のカードを入れた。SDスピードクラス4、6または10のカードを使用する。 	36
このカードでは録画モード「59.94P記録モード」以外を推奨します	<ul style="list-style-type: none"> ● SDスピードクラス4のカードには、録画モードを「28 Mbps LPCM (59.94P)」、「28 Mbps (59.94P)」または「35 Mbps (59.94P)」にすると動画が正しく記録できないことがある。 	—
このカードは動画記録できません	<ul style="list-style-type: none"> ● 64 MB以下のカードは動画の記録ができない。推奨のカードを入れる。 	36
このシーンは変換できません	<ul style="list-style-type: none"> ● 動画のテレビ方式が異なるため変換できない。 ● 他機で記録したり、パソコンで作成や加工をしたりした動画を変換できない。 ● 4MbpsのMP4は4Mbpsまたは3Mbpsにしか変換できない。 ● 3MbpsのMP4は3Mbpsにしか変換できない。 	164
再生できない画像です	<ul style="list-style-type: none"> ● 他機で記録したり、パソコンで作成や加工をしたりした静止画は再生できないことがある。 	—
再生できません	<ul style="list-style-type: none"> ● 64 MB以下のカードは動画の再生ができない。推奨のカードを入れる。 	275

メッセージ	どうするの？	📖
再生できません カードを確認してください	<ul style="list-style-type: none"> ● カードに異常があるため、再生できない。 ● カードを完全初期化する。それでも解決しない場合は、別のカードと入れ換える。 	40
再生できません 本機で初期化してお使いください	<ul style="list-style-type: none"> ● パソコンで初期化されたカードを入れた。本機で初期化する。 	40
使用するにはカメラ モードをマニュアルま たはシネマに切り換え てください	<ul style="list-style-type: none"> ● AUTO (オート)モードでは使用できないCUSTOMダイヤル&ボタンまたはアサインボタンを操作した。M (マニュアル)モードまたはCINEMA (シネマ)モードに切り換えて操作する。 	126 129
シーンがありません	<ul style="list-style-type: none"> ● 動画を撮影していないならば、撮影する。 	44
シーン数がいっぱいです	<ul style="list-style-type: none"> ● AVCHD形式の動画が記録可能なシーン数 (3999シーン)に達した。不要なシーンを消す。 	139
消去ができないシーン がありました	<ul style="list-style-type: none"> ● 他機でプロテクトや編集したシーンは消去できない。 	—
処理中です 電源をはずさないでく ださい	<ul style="list-style-type: none"> ● カードに書き込んでいる。書き込みが終わるまで、そのまま待つ。 	—
静止画とMP4動画の総 数が多すぎます USBケーブルをぬいて ください	<ul style="list-style-type: none"> ● カードに記録されているMP4形式の動画や静止画が多すぎる。USBケーブルを抜き、カードにコピーしたあと、カードリーダーなどを使用して静止画をパソコンに移動する。または総数が以下になるように消す (Windows : 2500枚未満、Mac OS : 1000枚未満)。その後、USBケーブルを接続し直す。 ● OSの設定によってはパソコンのモニターにメッセージが出ることもある。メッセージを閉じてからUSBケーブルを接続し直す。 	—
テレビ方式が異なります 認識できません	<ul style="list-style-type: none"> ● テレビ方式が異なる映像を本機に書き戻した。 ● テレビ方式が異なる映像は本機で認識できない 	
データを修復できませ んでした	<ul style="list-style-type: none"> ● 壊れたデータを修復できない。動画と静止画をバックアップして、カードを初期化する。 	40 158 160 164 167
動画/静止画データの バックアップは定期的 に行ってください	<ul style="list-style-type: none"> ● 万一の故障やデータ破損に備えて、撮影したデータを定期的にバックアップする。 	158 160 164 167
トリミングできません	<ul style="list-style-type: none"> ● MP4撮影時に使用したカードのクラスタサイズより大きなクラスタサイズのカードにコピーしたシーンはトリミングできない。 ● 他機で記録したり、コピーしたりしたシーンはトリミングできない。 	142

メッセージ	どうするの？	📖
USB接続 電源をはずさないでください パソコンで安全な取り外しをするまではUSBケーブルをぬかないでください	● 動画再生時、本機をUSBケーブルでパソコンに接続しているときは、本機の操作はできない。カードのデータが破損しないよう、パソコンで安全な取り外しのための操作を行った後、USBケーブルや電源をはずしたり、本機を操作する。	—
バッテリーと通信できません このバッテリーを使用しますか？	● キヤノンの推奨以外のバッテリーを取り付けて、電源を入れた。 ● キヤノン推奨のバッテリーを使用している場合は、ビデオカメラまたはバッテリーの故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	275
バッテリーパックを充電してください	● バッテリーが消耗している。バッテリーを充電する。	20
非対応バッテリーです 電源を切ります	● キヤノンの推奨以外のバッテリーを取り付けて、電源を入れた。4秒後に自動的に電源が切れる。	
ファイル名が作成できません	● フォルダ番号やファイル番号が最大になった。MP4形式の動画と静止画をバックアップしてから、「オートリセット」してカードを初期化するか、MP4形式の動画と静止画をすべて消す。	40 139 155 211
分割できません	● 本機の動画管理情報がいっぱいになったため、分割できない。不要な動画と静止画を消して、再度分割を行う。	40 139 155
本機で記録したシーンではありません コピーできません (分割できません)	● 他機で記録したシーンはコピー、分割できない。	—
本機で記録したシーンではないためコピーできないシーンがあります	● 他機で記録したシーンが含まれた動画はコピーできない。	—
本機で初期化してお使いください	● カードを本機で初期化する。	40

■ Wi-Fi 機能使用時

お使いのアクセスポイント（無線親機）の説明書も合わせてご覧ください。

こんなときは	どうするの？	📖
アクセスポイントが見つかりませんでした	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機に記憶されているアクセスポイントが見つからなかった。 ● コードレス電話機、電子レンジ、冷蔵庫などからの電波と干渉することがある。これらの機器から離れた場所で本機を操作する。 ● アクセスポイントのSSIDを確認して、同じSSIDを本機に設定する。 ● MACアドレスでフィルタリングしているときは、同じMACアドレスをアクセスポイントに登録する。 	— 241 194 197
カードカバーがあいています	● カードにアクセス中にカードカバーが開けられた。Wi-Fi機能を中止し、Wi-Fi接続を切断する。	—
接続できませんでした	● コードレス電話機、電子レンジ、冷蔵庫などからの電波と干渉することがある。これらの機器から離れた場所で本機を操作する。	241
設定情報にアクセスできませんでした	● 本機の電源を入れ直す。それでも解決しない場合は、お客様相談センターにご相談ください。	—
複数のアクセスポイントが検出されました もう一度操作してください	● 他のWi-Fi機器がWPSのプッシュボタン方式で接続を行っている。しばらくしてから操作するか、「WPS：PINコード」または「アクセスポイント検索」で接続する。	193
無線機能が正しく動作していません	<ul style="list-style-type: none"> ● コードレス電話機、電子レンジ、冷蔵庫などからの電波と干渉することがある。これらの機器から離れた場所で本機を操作する。 ● 本機とアクセスポイントの電源を入れ直して、再度、Wi-Fi設定を行う。それでも解決しない場合は、お客様相談センターにご相談ください。 	241 192
ワイヤレスマイクロホン接続中はWi-Fiを使用できません	● ワイヤレスマイクロホンWM-V1（別売）とWi-Fi機能は同時に使用できない。MIC端子からマイクを抜く。	—
IPアドレスが重複しています	● 同じネットワークに接続している機器とIPアドレスが重複しないよう、本機のIPアドレスを変更する。または、重複している他の機器のIPアドレスを変更する。	195

こんなときは	どうするの？	📖
IP アドレスを取得できませんでした	● DHCP サーバーを使用していないときは、Wi-Fi接続を「手動設定」で行い、IPアドレスを「マニュアル」で設定する。	195
	● DHCP サーバーを確認する。 ・ DHCP サーバーは、電源が入っていて正常に動作しているか。 ・ DHCP サーバーに割り当てられるアドレスに余裕はあるか。	—
	● DNS サーバーを使用していないときは、DNS アドレスを「0.0.0.0」に設定する。	196
	● 使用するDNS サーバーと同じIP アドレスを本機に設定する。	195
	● DNS サーバーを確認する。 ・ DNS サーバーは、電源が入っていて正常に動作しているか。 ・ DNS サーバーにIP アドレスと、そのアドレスに対応する名前が正しく設定されているか。	—
	● ゲートウェイ機能を持つアクセスポイントを使用しているときは、本機を含むすべてのネットワーク機器に、正しいゲートウェイアドレスを設定する。	196
Wi-Fi の暗号化キーが違います	● アルファベットの大きい文字／小さい文字を確認して、正しい暗号化キー（パスワード）を入力する。	195
Wi-Fi の暗号方式が違います	● 本機とアクセスポイントは同じ認証／暗号化方式で設定する。	195
	● MAC アドレスでフィルタリングしているときは、同じMAC アドレスをアクセスポイントに登録する。	197
Wi-Fiの接続が切れました	● コードレス電話機、電子レンジ、冷蔵庫などからの電波と干渉することがある。これらの機器から離れた場所で本機を操作する。	241
	● Wi-Fi 機器にほかからのアクセスが集中している場合など、接続できない状態になっている。しばらくしてから接続する。	—
Wi-Fi の認証ができませんでした	● 本機とアクセスポイントは同じ認証／暗号化方式、暗号化キー（パスワード）で設定する。	195
	● MAC アドレスでフィルタリングしているときは、同じMAC アドレスをアクセスポイントに登録する。	197
Wi-Fi の認証方式が違います	● 本機とアクセスポイントの設定を確認する。	197
	● 本機とアクセスポイントは同じ認証／暗号化方式、暗号化キー（パスワード）で設定する。	195
	● MAC アドレスでフィルタリングしているときは、同じMAC アドレスをアクセスポイントに登録する。	197
WPS で接続できませんでした	● 本機と無線親機（アクセスポイント）の電源を入れ直して、設定し直す。それでも解決しないときは、「アクセスポイント検索」で接続する。	194

こんなときは	どうするの？	
WPS で接続できません でした もう一度操作してくだ さい	<ul style="list-style-type: none"> ● 無線親機 (アクセスポイント) の説明書で指示されている時間、WPS ボタンを押し続ける。 ● 無線親機 (アクセスポイント) のWPS ボタンを長押ししてから2分以内に本機の「OK」をタッチする。 ● 無線親機 (アクセスポイント) の設定画面でPIN コードを入力してから2分以内に本機の「OK」をタッチする。 	— — —
[Wi-Fi機器の画面] Another user is already controlling the camcorder. Try again later. [Retry]	<ul style="list-style-type: none"> ● 複数のWi-Fi機器が本機に接続しようとした。本機に接続するWi-Fi機器を1台だけにして、「Retry」をタッチする。 	—

安全上のご注意

お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。

こんなときは

- 煙が出ている
- へんなおいがする
- 落として壊した
- 内部に水や異物が入った

バッテリーを外して、電源プラグをコンセントから抜く



そのまま使用すると火災や感電の原因になりますので、カメラ修理受付センター(☎ 275)にお問い合わせください。

⚠ 警告 死亡や重傷を負う恐れがある内容です。

内部に異物を入れたり、端子部に金属類をショートさせない。

▶ 火災 感電 けが

雷が鳴っているときには電源プラグに触れない。▶ 感電

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。▶ 感電

ぬらさない。▶ 火災 感電 やけど

降雨降雪時、海岸、水辺、湿度の高い場所などでの使用は特に気をつける。

液漏れしたバッテリーは使用しない。▶ 皮膚の傷害 失明 発火

液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。目に入ったときは、きれいな水で十分洗った後、すぐに医師に相談。

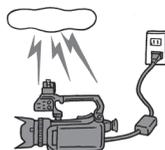
分解や改造をしない。▶ 発熱 感電 火災 けが

強い衝撃や振動を与えない。▶ 火災 やけど けが

ストラップ使用時は特に注意する。画面やレンズは割れるとけがの原因。

電源コードについて次のことを守る。▶ 火災 感電

- 傷つけない
- 加工しない
- 無理に曲げない
- 引っ張らない
- 熱器具に近付けない
- 加熱しない
- 重いものを載せない



禁止



バッテリーやコイン型リチウム電池を熱しない、火中投入しない。▶ やけど けが

バッテリー端子部に金属のキーホルダーやヘアピンなどを接触させない。▶ やけど けが
ショートして、高熱や液漏れの恐れあり。

充電中は長時間にわたる接触をしない。▶ 低温やけど

海外旅行者用の電子式変圧器や、航空機・船舶・DC/ACコンバーターなどの電源につながらない。表示された電源電圧や周波数以外では使用しない。▶ 火災 感電 けが

油煙・ほこり・砂などの多い場所や、風呂場など湿度の高い場所で使用・保管しない。

▶ 火災 感電 やけど

内部にほこりや水などが入る恐れあり。



直射日光下、ストーブ・照明器具のそばなど60℃以上になる高温の場所や、炎天下の密閉された車中に置かない。

▶ 火災 やけど けが

発熱や破裂の恐れあり。

運転中に使用しない。▶ 交通事故

不安定な場所に置かない。▶ けが

落下、転倒の恐れあり。

乳幼児の手の届くところに置かない。▶ 感電 失明 けが

ふとんやクッションなどをかけたまま使用しない。▶ 火災

内部に熱がこもる恐れあり。

病院などの医療機関内、および医療用電気機器の近くで使用しない。▶ 事故

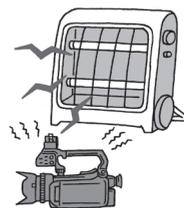
電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因となるおそれあり。

航空機内で使用しない。▶ 事故

電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因となるおそれあり。

長時間、身体と同じ箇所に触れたまま使用しない。▶ 低温やけど

熱いと感じなくても、皮膚が赤くなったり、水ぶくれができたりするおそれあり。気温の高い場所で使用する場合は、血行の悪い方や皮膚感覚の弱い方などが使用する場合は、三脚などを使う。



禁止



強制

指定された機器を使う。▶ 火災 感電 けが

電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。▶ 火災

電源プラグは根元まで確実に差し込む。▶ 火災 感電

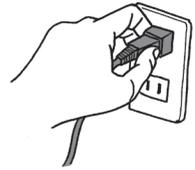
コンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜く。

▶ 火災 感電

使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

▶ 火災

撮影しているときは、周囲の状況に注意する。▶ けが 交通事故



△注意 傷害、物的損害を負う恐れがある内容です。



禁止

コイン型リチウム電池を金属ピンセットなどでつかまない。

▶ やけど

発熱の恐れあり。



コード類は、つまずかないように配置する。▶ けが

足を引っ掛けて転倒したり、製品が落下する恐れあり。



強制

バッテリー、リストストラップ、ショルダーストラップ、グリップベルトなどは脱落しないように確実に取り付ける。▶ けが

バッテリーやテレコンバーター、ワイドアタッチなどを取り外すときは、落とさないように気をつける。▶ けが

飛行機内で使用する場合は、乗務員の指示に従う。

機器から出る電磁波により、飛行機の計器に影響を与える恐れ。



注意

なるべくビデオカメラを固定して撮影する。

撮影時に不用意にビデオカメラを揺らしたり、素早いズームを多用したりすると、再生時に乗り物酔いのような症状を起こす恐れがあります。その場合はすぐに再生を中止し、休憩を取って目を休めてください。

取り扱い上のご注意

ここでは本機やバッテリーとメモリーカードなどを取り扱うときに注意していただきたいことを説明しています。

■ ビデオカメラ本体

データはバックアップする

故障などに備えて、撮影した動画や静止画はパソコンやDVD、ビデオ機器などにバックアップしてください。データ消失については、当社では一切の責任を負いかねます。



ホコリなどの多い場所で使わない

ホコリ・砂・水・泥・塩分の多い場所で使用・保管しないでください。本機は防水・防じん構造になっていませんので、これらが内部に入ると故障の原因となります。

テレビの上などで使わない

プラズマテレビや携帯電話の近くなど、電磁波の出る場所で使うと映像や音声が悪化することがあります。



強い光源にレンズやビューファインダーを向けない

カメラを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けしないでください。撮像素子やビューファインダーなどの内部の部品が損傷する恐れがあります。

有機ELパネルの画面を...

つかんでもちあげない

→ 画面の接合部が破損することがあります。

無理に閉じない

→ 正しい位置に戻してから閉じないと破損することがあります。

ボールペンなど、とがったものでタッチしない

→ タッチパネルが破損することがあります。

強くタッチしない

→ タッチパネルの表示がムラになったり、画面の接合部が破損することがあります。

保護シートなどを貼らない

→ タッチパネルは静電容量方式のため、正しく動作しなくなることがあります。

ネジの長い三脚は使わない

取り付けネジの長さが6.5 mm以上の三脚を取り付けると、本体を破損することがあります。



Wi-Fi機能について

使用可能な地域について

- 本製品のWi-Fi機能は国内でのみご使用いただけます。国外ではご使用になれません。

電波に関するご注意

- 本製品には、(財)テレコムエンジニアリングセンターの電波法に基づく認証を受けた無線装置が内蔵されており、証明ラベルは無線設備に添付されています。
- 本製品のうち、外国為替、および外国貿易法の規定により、戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

電波干渉に関するご注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- ① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- ② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、または電波の発射を停止した上、お客様相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談下さい。
- ③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様相談窓口へお問い合わせ下さい。

2.4 DS/OF 4 この表示は、2.4GHz帯を使用している無線機器であることを意味します。

本製品は、他の電波を発する機器（コードレス電話、電子レンジ、Bluetooth機器など）から、電波干渉を受ける場合があります。これらの機器からできるだけ遠く離すか、ご利用時間を分けるなどして電波干渉を避けて使用してください。

次の事項を行うと、法律で罰せられます。

本製品を分解、改造すること。本製品上の証明ラベルをはがすこと。

医療用の装置や、電子機器の近くで本製品を使用しないで下さい。医療用の装置や、電子機器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。

36-64チャンネルは、電波法により屋外での使用が禁止されています。

■ バッテリー

端子はいつもきれいに

バッテリーと本体端子（充電器の端子）の間に異物が入り込まないようにしてください。接触不良、ショート、破損の原因となります。

正しく残量表示されない場合は

バッテリーをフル充電してください。ただし、バッテリーの使用回数が多いとき、フル充電後に放置したとき、高温下で長時間使ったときは、正しく表示されないことがあります。なお、表示は目安としてご使用ください。

インテリジェントシステム非対応のバッテリーについて

- インテリジェントシステム（□ 250）に対応していないバッテリーを本機やバッテリーチャージャー CG-800D（別売）に取り付けて、充電することはできません。
- インテリジェントシステムに対応していないバッテリーを本機に取り付けて使用した場合、バッテリー残量は表示されません。

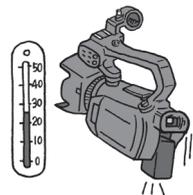


POINT 使用時間を長くするコツ

こまめに電源を切り、10℃～30℃のところで使用すると、長く使えます。スキー場などでバッテリーが冷たくなると、一時的に使用時間が短くなりますので、ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

長い間保管するとき

- バッテリーの消耗を防ぐため本体から取り外し、乾燥した30℃以下のところで保管してください。
- バッテリーの劣化を防ぐため、画面に「バッテリーパックを取り替えてください」が表示されるまで使い切ってから、保管してください。
- 1年に1回程度、充電完了まで充電してから使い切ってください。



■ カード

データはバックアップする

静電気、カードの故障などによるデータの損傷・消失に備えて、データはパソコンなどにバックアップしてください。なお、データ損傷および消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

端子に触れない

汚れが付着し、接触不良の原因となります。

磁気に注意する

強い磁気が発生する場所で使わないでください。

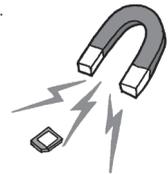
高温・多湿の場所に放置しない

シールを貼らない

カード表面にシールなどを貼ると、シールが差し込み口につまる恐れがあります。

ていねいに扱う

落とす、ぬらす、強い衝撃を与えるなどしないでください。分解は絶対にしないでください。



■ 充電式内蔵電池

本機には充電式のリチウム電池が内蔵されており、日付などの設定を保持しています。この電池は本機を使用中、自動的に充電されますが、約3か月間使わないと完全に放電してしまいます。このときは次のようにして充電してください。

充電のしかた (所要時間：24時間)

- ① 電源を切る
- ② 本機にコンパクトパワーアダプター (ACアダプター)をつなぐ



■ その他のご注意

情報漏洩に注意（譲渡・廃棄するときは）

カードに記録されたデータは、消去や初期化をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消えません。

譲渡・廃棄するときは、データを復元できないように、一度カードの完全初期化（□ 40）を行った後、本機を箱などで覆って最後まで撮影し、再度完全初期化を行います。これによって、情報漏洩を防いでください。

結露について

室温が高いとき、冷水の入ったコップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。本機が結露した場合、そのままの状態を使うと故障の原因になりますので注意してください。なお、次のような条件のときに結露が発生しやすくなります。

- 寒い所から急に暖かい所に移動したとき
- 湿度の高い部屋の中
- 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

結露したらどうする？

周囲の環境によって多少異なりますが、水滴が消えるまで約2時間程度放置してください。

温度差のある場所へ移動するときは

バッテリーを取り外し、カードを取り出して、本機をビニール袋に空気はいらぬように入れて密閉します。移動先の温度になじんだら袋から取り出します。



■ コイン型リチウム電池（CR2025）

コイン型リチウム電池はリモコンに使用されます。捨てるときは、燃えないゴミとして処理してください（地域によって異なりますので指示に従ってください）。



- 不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。
ホームページ <http://www.jbrc.com>
- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

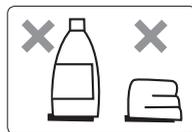
日常のお手入れ

大切なビデオカメラをより長くお使いいただくために、日常のお手入れには十分注意してください。

本体がよごれたときは

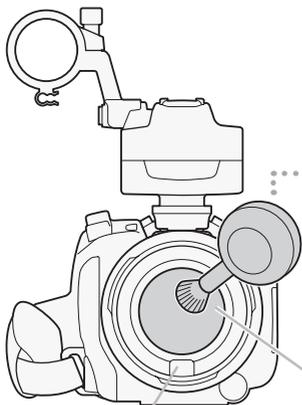
柔らかい布で拭こう

- 乾いた布で軽く拭いてください。
- 化学ぞうきんやシンナーは表面を傷めますので使わないでください。



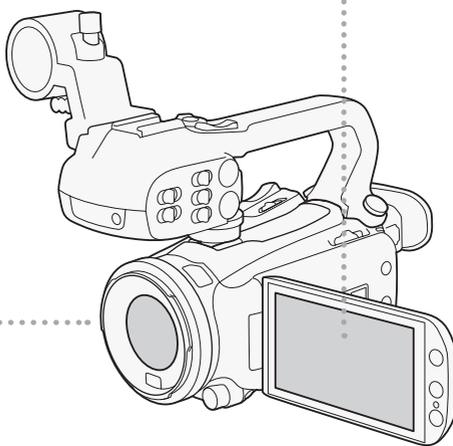
画面

市販の眼鏡クリーナー（布製）で拭きます。水滴が付着しているときは柔らかい布で拭き取ります。



ハイスピードAFセンサー

市販の眼鏡クリーナー（布製）で拭きます。



自動でピントが合わない？

レンズやハイスピードAFセンサーが汚れていると自動でピントが合わなくなることがあります。

レンズ／ビューファインダー

フロアでゴミやホコリを取ったら、市販の眼鏡クリーナー（布製）で拭きます。

海外で使う

海外で使用するときの便利機能やマメ知識です。

■ 充電する

海外でも付属のコンパクトパワーアダプター（ACアダプター）（AC100～240V 50 / 60 Hzまでの電源に対応）を使ってそのまま充電できます。コンセントの形が異なる国では、変換プラグを使用してください。コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）を変圧器に接続しないでください。故障する恐れがあります。

■ テレビで見る

本機は撮影した動画をNTSC方式で記録します。以下の国や地域ではNTSC方式を採用しているため、本機をテレビに接続するとそのまま映像を見ることができます。

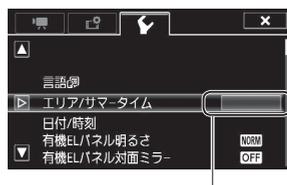
- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- 大韓民国
- キューバ
- グアテマラ
- グアム
- コスタリカ
- コロンビア
- ジャマイカ
- 台湾
- チリ
- ドミニカ
- トリニダードトバゴ
- トンガ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- フィリピン
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- ボリビア
- ミャンマー
- メキシコ

（NTSC方式を採用している国や地域 –NHK放送文化研究所発行「世界の放送2007」による–）

■ 旅行先の日時に合わせる

2つの地域の日時を登録できるため、海外旅行先の日時を設定しておく、撮影した映像を現地時間で記録できます。

1. [MENU] (メニュー) → [📄] をタッチする。
2. 上下にドラッグして、「エリア/サマータイム」をオレンジ色のバーに合わせ、オレンジ色の枠をタッチする。
3. ✖ をタッチする。
4. ▲/▼ をタッチして、旅行先を選ぶ。



旅行先がサマータイムのとき

✖ をタッチする。

5. 🏠 をタッチする。
6. 上下にドラッグして、「日付/時刻」をタッチする。
7. 「日付/時刻を合わせる」(📅 35)の操作2を行う。
8. ✖ をタッチする。

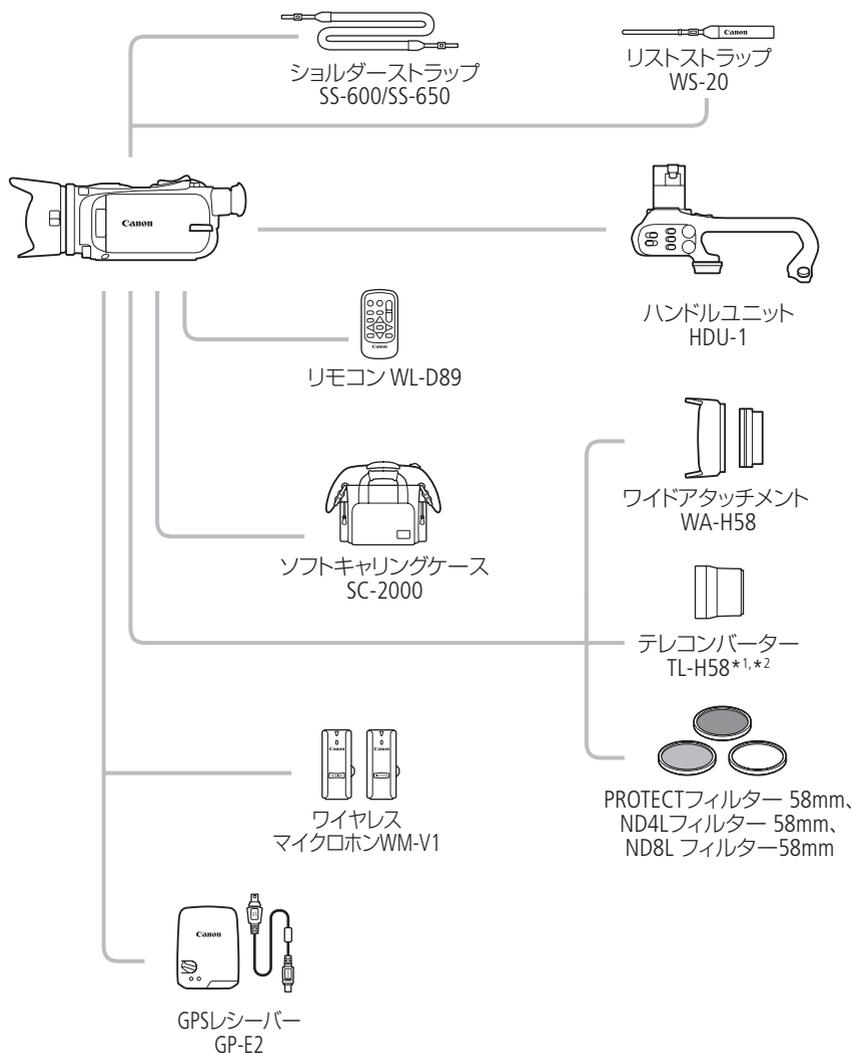


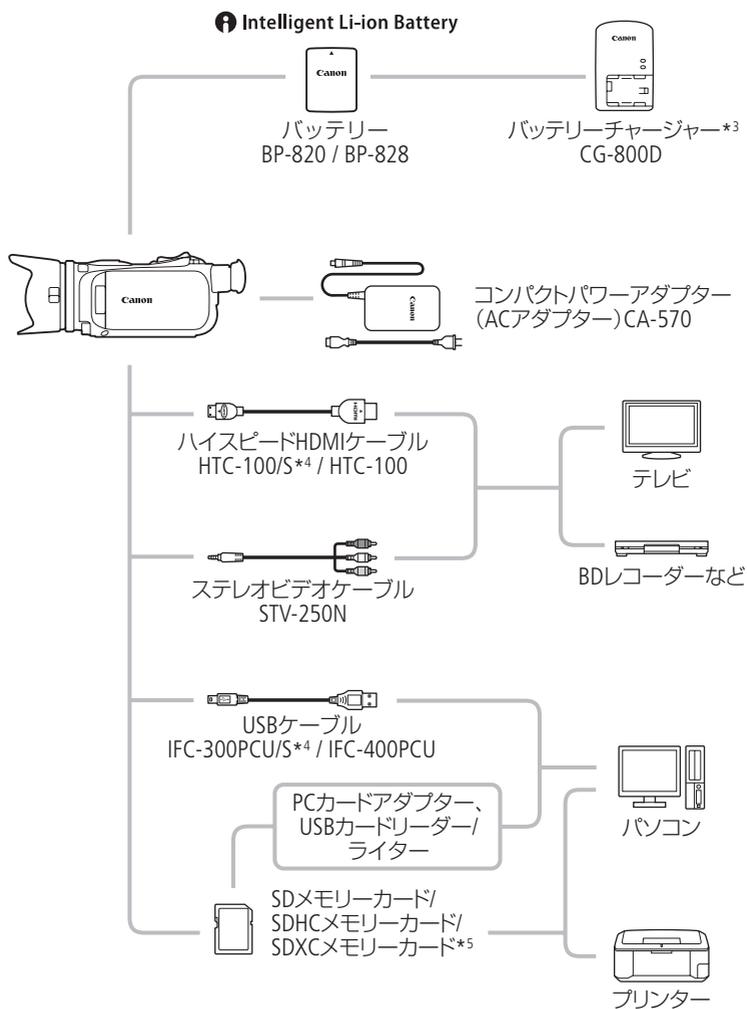
旅行から帰ってきたら

1. 上記の操作3で、🏠 をタッチする。
2. ✖ をタッチする。

アクセサリ紹介

本機の付属品または別売品について紹介しています。





*1 本機に付属のレンズフードと同時に使用できません。

*2 本機に取り付けると、ピントの合う距離はズームのT端で約1.3 mとなります。

*3 改正電気用品安全法の要求により、これ以外のバッテリーチャージャーは本機で使用できません。

*4 本機の付属品です。別売していません。

*5 ご使用の場合は、「SDXCメモリーカードをお使いになるときは」(□36)をあらかじめご確認ください。



● **ご注意**

アクセサリはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリのご使用をおすすめいたします。なお、純正品以外のアクセサリの不具合（例えばバッテリーの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。



MEMO

インテリジェントリチウムイオンバッテリーについて

バッテリーパックBP-820/BP-828(別売)は、ビデオカメラと通信することにより、バッテリー残量を分単位で確認できるインテリジェントリチウムイオンバッテリーです。インテリジェントシステムに対応したビデオカメラかバッテリーチャージャー CG-800D (別売)でのみ使用/充電できます。



このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

主な仕様

XA20 / XA25

システム

カード記録	動画： AVCHD規格 Ver.2.0準拠 映像： MPEG-4 AVC/H.264 音声： リニアPCM 2ch *1 / Dolby Digital 2ch MP4準拠 映像： MPEG-4 AVC/H.264 音声： MPEG-2 AAC-LC (2ch) 静止画： DCF準拠、Exif Ver2.3準拠 画像タイプ： JPEG
-------	---

*1 メニューの「録画モード」で「28 Mbps LPCM (59.94P)」または「24 Mbps LPCM」を設定しているとき。

信号方式	AVCHD、MP4
記録メディア	SD / SDHC / SDXCメモリーカード (2スロット)
記録時間	16GB SDカード AVCHD (28 Mbps LPCM (59.94P)、28 Mbps (59.94P)、24 Mbps LPCM、24 Mbps、17 Mbps、5 Mbps) : 1時間15分、1時間15分、1時間25分、1時間25分、2時間05分、6時間05分 MP4 (35 Mbps (59.94P)、24 Mbps、17 Mbps、4 Mbps、3 Mbps) : 1時間、1時間25分、2時間05分、8時間40分、11時間25分 32GB SDカード AVCHD (28 Mbps LPCM (59.94P)、28 Mbps (59.94P)、24 Mbps LPCM、24 Mbps、17 Mbps、5 Mbps) : 2時間30分、2時間30分、2時間55分、2時間55分、4時間10分、12時間15分 MP4 (35 Mbps (59.94P)、24 Mbps、17 Mbps、4 Mbps、3 Mbps) : 2時間、2時間55分、4時間10分、17時間20分、22時間55分
撮像素子	1/2.84型、CMOS、総画素数 約309万画素 有効画素 約291万画素
パネル	有機ELパネル (3.5型、約123万ドット相当、視野率100%)、タッチパネル
ビューファインダー	0.24型ワイドカラー液晶 (約156万ドット相当、視野率100%)
マイク	ステレオエレクトレットコンデンサーマイク
レンズ	f=3.67 - 73.4 mm F=1.8 - 2.8 光学20倍ズーム 8枚羽根円形絞リ 35 mmフィルム換算時の焦点距離 ● 約28.8 - 576 mm (手ブレ補正、ダイナミック設定時) ● 約26.8 - 576 mm (手ブレ補正、ダイナミック設定時以外)
レンズ構成	10群12枚、非球面2面使用
焦点調整	TTL自動焦点 (TTL + 外部測距：ハイスピードAF、ミディアムスピードAF選択時)、マニュアル調整可

フィルター径	58 mm
最短撮影距離	ワイド端1 cm、ズーム全域60 cm
ホワイトバランス	オート、太陽光、日陰、くもり、蛍光灯、蛍光灯H、電球、色温度、セット1 / セット2(白取り込み)
最低被写体照度	0.1ルクス (ローライト(シーンモード)、シャッタースピード1/2秒時) 1.2ルクス (P(プログラムAE)モード(オートスローシャッターオン)、シャッタースピード1/30秒時)
推奨被写体照度	100ルクス以上
手ブレ補正機能	光学式
動画サイズ	AVCHD 1920 x 1080 : 28 Mbps、24 Mbps、17 Mbps 1440 x 1080 : 5 Mbps MP4 1920 x 1080 : 35 Mbps、24 Mbps、17 Mbps 1280 x 720 : 4 Mbps 640 x 360 : 3 Mbps
静止画サイズ	1920 x 1080 : AVCHD/MP4(35 Mbps / 24 Mbps / 17 Mbps)記録時 1280 x 720 : MP4(4 Mbps)記録時 640 x 360 : MP4(3 Mbps)記録時 1920 x 1080 : あとからフォト

入・出力端子

XA25 HD/SD-SDI端子	BNCジャック (出力のみ)、0.8 Vp-p / 75 Ω、不平衡 HD-SDI (SMPTE 292M準拠) : 映像 (1080i/720P)、エンベデッドオーディオ、タイムコード (VITC/LTC) SD-SDI (SMPTE 259M準拠) : 映像 (480i)、エンベデッドオーディオ、タイムコード (VITC/LTC)
HDMI OUT端子	HDMIミニコネクタ、出力のみ
USB端子	mini-B Receptacle、Hi-Speed USB (出力のみ)
映像 / 音声出力端子 (AV OUT端子)	Φ3.5 mm4極ミニジャック、1 Vp-p / 75 Ω -10 dBv(47 kΩ負荷時) / 3 kΩ以下
MIC端子	Φ3.5mm ステレオミニジャック (不平衡)、 -65dBV(ボリウムオート、フルスケール-12dB) / 5kΩ 以上 Att : 20dB

ハンドルユニットHDU-1*3	INPUT端子：INPUT(3ピンジャック) (①シールド、②ホット、③コールド)、 2系統、平衡 感度 (MIC時)：-60 dBu(マニュアルボリュームセンター、 フルスケール-18 dB) / 600 Ω 感度 (LINE時)：+4 dBu(マニュアルボリュームセンター、 フルスケール-18 dB) / 10kΩ Att：20dB
ヘッドホン端子	Φ3.5mmステレオミニジャック -29dBV(16Ω負荷、ボリューム最大) / 100 Ω
REMOTE端子	Φ2.5mm ステレオミニジャック (入力のみ)

電源その他

電源電圧	DC7.4V(バッテリーパック)、DC8.4V(DC IN)
消費電力 (17 Mbps、AF合焦、明るさ 「通常」時)	有機ELパネルのみ使用時： XA20 約4.7W XA25 約4.8W ビューファインダーのみ使用時： XA20 約4.7W XA25 約4.9W
動作温度	約0℃～+40℃
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	約109×84×182 mm (レンズフード、ハンドルユニットHDU-1*3、グリップ ベルト含まず) 約115×84×231 mm (レンズフード含み、ハンドルユニットHDU-1*3、グ リップベルト含まず) 約131×180×231 mm (レンズフード、ハンドルユニットHDU-1*3含み、グ リップベルト含まず)
撮影時総質量	XA20 約1155g XA25 約1160g (レンズフード、ハンドルユニットHDU-1*3、BP-820、メモリーカード(1枚)含む) XA20 約905g XA25 約910g (レンズフード、BP-820、メモリーカード(1枚)含む) XA20 約770g XA25 約775g (グリップベルト含む)

*3 ハンドルユニット HDU-1は別売です。

■ 付属品

コンパクトパワーアダプター (ACアダプター) CA-570

電源	AC 100 V-240 V、50 / 60 Hz
出力/消費電力	公称DC8.4 V、1.5 A/29 VA(100 V) ~ 39 VA(240 V)
使用温度	約0 °C ~ +40 °C
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	約52×29×90 mm
本体質量	約135 g

バッテリーパック BP-820

使用電池	リチウムイオン (インテリジェントリチウムイオンバッテリー)
使用温度	約0 °C ~ +40 °C
公称電圧	DC7.4 V
公称容量	1780 mAh
定格 (最小) 容量	13 Wh / 1700 mAh
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	約30.7×39.4×40.2 mm
質量	約85g

■ バッテリーの充電時間／使用時間の目安

付属のバッテリー BP-820と別売のBP-828をフル充電したときの使用時間の目安は、次のとおりです。

XA20

AVCHD形式

録画モード	使用時間	使用画面	BP-820	BP-828
28 Mbps LPCM (59.94P) / 28 Mbps (59.94P)	連続撮影時間	有機ELパネル	2時間25分	3時間35分
		ビューファインダー	2時間25分	3時間35分
	実撮影時間	有機ELパネル	1時間25分	2時間10分
		ビューファインダー	1時間25分	2時間10分
再生時間	有機ELパネル	3時間50分	5時間50分	
24 Mbps LPCM / 24 Mbps	連続撮影時間	有機ELパネル	2時間35分	3時間50分
		ビューファインダー	2時間30分	3時間45分
	実撮影時間	有機ELパネル	1時間30分	2時間20分
		ビューファインダー	1時間30分	2時間20分
再生時間	有機ELパネル	4時間0分	6時間5分	
17 Mbps	連続撮影時間	有機ELパネル	2時間35分	3時間50分
		ビューファインダー	2時間35分	3時間50分
	実撮影時間	有機ELパネル	1時間30分	2時間20分
		ビューファインダー	1時間30分	2時間20分
再生時間	有機ELパネル	4時間5分	6時間5分	
5 Mbps	連続撮影時間	有機ELパネル	2時間35分	3時間55分
		ビューファインダー	2時間35分	3時間55分
	実撮影時間	有機ELパネル	1時間35分	2時間25分
		ビューファインダー	1時間30分	2時間25分
再生時間	有機ELパネル	4時間10分	6時間10分	

MP4形式

録画モード	使用時間	使用画面	BP-820	BP-828
35 Mbps (59.94P)	連続撮影時間	有機ELパネル	2時間25分	3時間35分
		ビューファインダー	2時間20分	3時間35分
	実撮影時間	有機ELパネル	1時間25分	2時間10分
		ビューファインダー	1時間25分	2時間10分
	再生時間	有機ELパネル	3時間50分	5時間50分
24 Mbps	連続撮影時間	有機ELパネル	2時間45分	4時間5分
		ビューファインダー	2時間45分	4時間5分
	実撮影時間	有機ELパネル	1時間40分	2時間30分
		ビューファインダー	1時間35分	2時間30分
	再生時間	有機ELパネル	4時間5分	6時間10分
17 Mbps	連続撮影時間	有機ELパネル	2時間45分	4時間5分
		ビューファインダー	2時間45分	4時間5分
	実撮影時間	有機ELパネル	1時間40分	2時間30分
		ビューファインダー	1時間40分	2時間30分
	再生時間	有機ELパネル	4時間10分	6時間10分
4 Mbps	連続撮影時間	有機ELパネル	2時間55分	4時間20分
		ビューファインダー	2時間50分	4時間20分
	実撮影時間	有機ELパネル	1時間40分	2時間35分
		ビューファインダー	1時間40分	2時間35分
	再生時間	有機ELパネル	4時間20分	6時間30分
3 Mbps	連続撮影時間	有機ELパネル	2時間55分	4時間30分
		ビューファインダー	2時間55分	4時間30分
	実撮影時間	有機ELパネル	1時間45分	2時間40分
		ビューファインダー	1時間45分	2時間35分
	再生時間	有機ELパネル	4時間25分	6時間40分

XA25

AVCHD形式

録画モード	使用時間	使用画面	BP-820	BP-828
28 Mbps LPCM (59.94P) / 28 Mbps (59.94P)	連続撮影時間	有機ELパネル	2時間20分	3時間30分
		ビューファインダー	2時間20分	3時間30分
	実撮影時間	有機ELパネル	1時間25分	2時間10分
		ビューファインダー	1時間25分	2時間10分
	再生時間	有機ELパネル	3時間40分	5時間40分
	24 Mbps LPCM / 24 Mbps	連続撮影時間	有機ELパネル	2時間30分
ビューファインダー			2時間30分	3時間40分
実撮影時間		有機ELパネル	1時間30分	2時間15分
		ビューファインダー	1時間30分	2時間15分
再生時間		有機ELパネル	3時間50分	5時間50分
17 Mbps		連続撮影時間	有機ELパネル	2時間30分
	ビューファインダー		2時間30分	3時間40分
	実撮影時間	有機ELパネル	1時間30分	2時間20分
		ビューファインダー	1時間30分	2時間15分
	再生時間	有機ELパネル	3時間55分	5時間50分
	5 Mbps	連続撮影時間	有機ELパネル	2時間35分
ビューファインダー			2時間35分	3時間50分
実撮影時間		有機ELパネル	1時間30分	2時間20分
		ビューファインダー	1時間30分	2時間20分
再生時間		有機ELパネル	4時間0分	5時間55分

MP4形式

録画モード	使用時間	使用画面	BP-820	BP-828
35 Mbps (59.94P)	連続撮影時間	有機ELパネル	2時間20分	3時間30分
		ビューファインダー	2時間20分	3時間30分
	実撮影時間	有機ELパネル	1時間25分	2時間10分
		ビューファインダー	1時間25分	2時間10分
	再生時間	有機ELパネル	3時間40分	5時間40分
	24 Mbps	連続撮影時間	有機ELパネル	2時間40分
ビューファインダー			2時間40分	3時間55分
実撮影時間		有機ELパネル	1時間35分	2時間25分
		ビューファインダー	1時間35分	2時間25分
再生時間		有機ELパネル	3時間55分	5時間55分
17 Mbps		連続撮影時間	有機ELパネル	2時間40分
	ビューファインダー		2時間40分	4時間0分
	実撮影時間	有機ELパネル	1時間35分	2時間25分
		ビューファインダー	1時間35分	2時間25分
	再生時間	有機ELパネル	3時間55分	5時間55分
	4 Mbps	連続撮影時間	有機ELパネル	2時間50分
ビューファインダー			2時間50分	4時間10分
実撮影時間		有機ELパネル	1時間40分	2時間30分
		ビューファインダー	1時間40分	2時間30分
再生時間		有機ELパネル	4時間5分	6時間10分
3 Mbps		連続撮影時間	有機ELパネル	2時間50分
	ビューファインダー		2時間50分	4時間20分
	実撮影時間	有機ELパネル	1時間40分	2時間35分
		ビューファインダー	1時間40分	2時間35分
	再生時間	有機ELパネル	4時間15分	6時間15分

* 実撮影時間とは撮影、撮影一時停止、電源の入/切、ズームなどの操作を繰り返したときの撮影時間です。

* 画面を明るくしていると、バッテリー使用時間が少し短くなることがあります。

* 低温下で使用すると、使用時間が短くなります。

バッテリーは予定撮影時間の2～3倍分をご用意ください

ビデオカメラの消費電力はズームなどの操作によって変化します。そのため、上記の使用時間より短くなることがあります。

■ Full HD 1080について

Full HD 1080とは垂直画素（走査線）数1080画素（本）のHD（High Definition）映像に対応しているキヤノン製ビデオカメラを示しています。



「XA20 / XA25」は、DCFに準拠しています。DCFは、(社)電子情報技術産業協会 (JEITA) で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

「XA20 / XA25」は、Exif 2.3(愛称「Exif Print」)に対応しています。ExifPrintは、ビデオカメラとプリンターの連携を強化した規格です。ExifPrint対応のプリンターで印刷することで、撮影時のカメラ情報を生かし、それを最適化して、よりきれいな印刷出力が得られます。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

索引

ア

アサインボタン	129
あとからフォト	138
アフターサービス	274
安全上のご注意	237
インデックス画面	135
打上げ花火 (シーンモード)	89
エリア	247
オーディオシーン	100
オートスローシャッター	207
おしらせ音	214
お手入れ	245
音量	
: 再生時	137
: 撮影時	102, 112

カ

カードを入れる	37
海外で使う	246
外部マイク	98
画質	52
カメラモード切り換えスイッチ	15, 32
画面の見かた	218
カラーバー & テストトーン	117
強制逆光補正	85
記録先	42
グリップズーム	69
グリップベルト	27
結露	244
こだわりオート	47
コピー	
: 静止画	161
: 動画	160
コンパクトパワーアダプター	10, 20

サ

サイズ (静止画)	50
再生する	
: 静止画	152
: 動画	136
撮影する	
: 静止画	46
: 動画	45
撮影モード	80, 89
サマータイム	247
三脚	30, 240
シーンモード	89
シーンを消す	139
シーンを分割する	141
自動逆光補正	205
シネマルックフィルター	58
しぼり	80
シャッタースピード	80
充電	20
ジョイスティック	34
消去する	
: 静止画	155
: 動画	139
初期化する	40
ショルダーストラップ	28
ズーム	68
ズームスピードレベル	69
ストラップ	28
スノー (シーンモード)	89
スポーツ (シーンモード)	89
スポットライト (シーンモード)	89
赤外撮影	122
赤外撮影色	122
ゼブラパターン	86

タ	
タイムコード	92
タッチ (操作)	33
タッチパネル	33
データコード	121, 209
デジタルテレコン	76
手ブレ補正	77
テレビタイプ	209
動画形式	41
同時記録	55
ドラッグ (操作)	33
トラブルシューティング	224
取り扱い上のご注意	240
トリミング	142

ナ	
内蔵マイク	15, 96

ハ	
ハイスピードAF	64
ハイスピードズーム	71
ハイライトAE	84
バッテリーの残量表示	23
バッテリーの使用時間 (目安)	255
パスワードIS	78
ハンドルズーム	72
ハンドルユニット	17, 24
ピーキング	62
ビーチ (シーンモード)	89
ピクチャー設定	91
日付・時刻	35
ビデオスナップ	119
ビューファインダー	26
ファイル番号	211
ファンタム電源	111

フェイスオンリー AF	67
フェイスキャッチ&追尾	66
フォーカスアシスト	207
フォーカス/ズームリング	12, 60, 68
フォーカス (ピント合わせ)	60
フォーカスプリセット	61
プレREC	120
フレームレート	56
ヘッドホン	115
ポートレート (シーンモード)	89
ホワイトバランス	87

マ	
マーカー	208
マニュアルフォーカス	60
マニュアル露出	82
マルチシーンIS	48
メッセージ	230
メディアサーバー	187
メニュー一覧	205
メニューを設定する	38

ヤ	
夜景 (シーンモード)	89
有機ELパネル	14, 27
ユーザービット	94
夕焼け (シーンモード)	89

ラ	
リモートブラウズ	183
リモコン	18, 29
リレー記録	55
レックレビュー	51
レベルメーター	102
レンズフード	25

ローライト (シーンモード)	89	Ω(ヘッドホン)端子	115
録画モード	52		
露出	83		

ワ

ワイヤレスマイクロホン	123
-------------------	-----

その他

AGCリミット	79
AUTO(オート)モード	32
AV OUT端子	144, 147
Av(絞り優先AE)	80
CAMERAモード	31
CINEMA(シネマ)モード	32
CUSTOMダイヤル&ボタン	126
FTP転送	189
FUNC.ボタン	34
FUNC.メニュー	202
HDMI OUT端子	145
HD/SD-SDI端子 XA25	145
ID-1方式	147
INPUT端子	17, 96
MEDIAモード	31
MIC(マイク)端子	97, 123
Movie Uploader	185
MP4変換	164
M(マニュアル)モード	32
NDフィルター	207
P(プログラムAE)	80
SD / SDHC / SDXCメモリーカード	36
Slow & Fastモーション	57
Tv(シャッター優先AE)	80
Wi-Fi	172
Wi-Fi Remote	176
WPS	193

商標について

- SD、SDHC、SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Mac OS、App Store、iTunes、iPhone、iPad、iPod touchは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfacelは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- “AVCHD”、“AVCHD Progressive”、および“AVCHD Progressive”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- DCFロゴマークは、(社) 電子情報技術産業協会 (JEITA) の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- Google、Android、Google Play、YouTube は、Google Inc. の商標です。
- FacebookおよびFロゴはFacebook Inc.の商標です。
- iOSは、米国およびその他の国における Cisco社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED、WPA、WPA2とWi-Fi CERTIFIEDロゴは、Wi-Fi Allianceの商標です。
- ビデオカメラの設定画面と本書内で使用されている「WPS」は、Wi-Fi Protected Setupを意味しています。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、キャノンはこちら商標を使用する許可を受けています。
- JavaScriptは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。



本機器は、MicrosoftからライセンスされたexFAT技術を搭載しています。

MPEG-4使用許諾について

This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.

保証書とアフターサービス

本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスはご容赦ください。

■ 保証書

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保管してください。

■ アフターサービス

製品の保証について

- 使用説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間中に本製品が万一故障した場合は、本保証書を製品に添付のうえ当該保証期間内に弊社修理受付窓口までご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理いたします。この場合の交通費、送料および諸掛かりはお客様のご負担となります。修理受付窓口については、カメラ修理受付センター（☎275）にお問い合わせ頂くか、弊社ホームページでご確認ください。
- 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容をご覧ください。
- 保証期間はご購入日より1年間です。
- 保証期間経過後の修理は有料となります。
- 本製品の故障または本製品の使用によって生じた直接、間接の損害および付随的損害（録画再生に要した諸費用および録画再生による得べかりし利益の喪失、記録されたデータが正常に保存・読み出しができないことによって発生した損害等）については、弊社ではその責任を負いかねますのでご了承願います。

修理を依頼されるときは

- 故障内容を明確にご指示ください。また、修理品を送付される場合は、十分な梱包でお送りください。

アフターサービス期間について

- ビデオカメラのアフターサービス期間は、製造打ち切り後8年です。なお、弊社の判断により保守サービスとして同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。その場合、旧製品でご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。

修理料金について

- 故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。
- 窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。

修理について

■ 修理に出すまえに

- 不具合症状の再現・確認のために、記録メディアをお預かりすることがあります。その場合、修理の前に必ずデータをバックアップしてください。なお、修理によってデータが消去された場合の補償についてはご容赦ください。
- 修理の際、必要最小限の範囲で記録メディア内のデータを確認させていただくことがあります。ただし、データを弊社が複製・保存することはありません。



■ 修理のお問い合わせは

カメラ修理受付センター

050-555-99077(全国共通)

平日・土曜日 9:00～18:00

日曜日、祝日、年末年始、弊社休業日はお休みさせていただきます。

電話番号はよくご確認の上、おかけ間違いのないようお願いいたします。

上記電話番号をご利用になれない場合は、043-211-9316をご利用ください。

- 購入年月日、型名「XA20 / XA25」、故障内容を明確にお伝えください。不具合内容を確認の上、修理方法をご案内いたします。
- 修理を承る窓口（サービスセンター、修理センター）をご案内いたします。
- 修理品の引き渡し方法（宅配便発送／弊社によるお引き取り）やお届けについてご案内いたします。



ビデオカメラの使用方法やData Import Utilityに関するご相談窓口は

キヤノンお客様相談センター

050-555-90004 (全国共通)

平日 9:00～12:00 / 13:00～17:00 (土日祝は休業)

※上記番号をご利用になれない方は043-211-9790をご利用ください。

※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってつながらないことがあります。

■保証書は製品の箱に添付されています

保証書は必ず「購入店・購入日」等の記入を確かめて、購入店よりお受け取りください。

キヤノン業務用デジタルビデオカメラホームページ

キヤノンデジタルビデオカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されておりますので、インターネットをご利用の方はぜひお立ち寄りください。

デジタルビデオカメラ製品情報

<http://canon.jp/prodv>

キヤノン サポートページ

<http://canon.jp/support>

■本書の記載内容は2016年4月現在のものです

製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。ご了承ください。

Canon

キヤノン株式会社 / キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6



Li-ion

リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。